

# かやの実保育園

## 令和6（2024）年度 福祉サービス第三者評価結果報告書

1. 東京都第三者評価推進機構提出内容（公表対象）
2. 利用者調査結果（非公表）
3. 職員自己評価結果（非公表）

株式会社 学研データサービス





## **1. 東京都第三者評価推進機構提出内容**



1	<b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b>
	<p>事業者が大切にしている考え方(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、特に重要なものの(上位5つ程度)を簡潔に記述  <b>(関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)</b></p> <p>1)運営原則 本園では、ご両親にとって大切なお子さんたちの心と体と知恵が健やかに育つよう努めている。      2)基本理念 人間らしく健やかに育てる日本民族の文化を伝える。      3)保育方針 子どもの心と体と知恵が偏りなく成長・発達するよう日常の保育を進める。      4)給食業務の理念 調理保育、食材量紹介、行事食などを通じて日本人の「食」の原風景を伝えると共に、在園児諸国の中食文化、日本の地方の食文化を給食メニューに取り入れ、異文化、地方文化の一端に触れ、相互理解を図る。      5)保育管理の目標 保育、給食部門と協働で日常の健康管理を行い、保護者に情報提供・啓蒙活動を行う。疾病の予防と早期発見を行う。心身の発達を助長する。</p>
2	<b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b>
	<p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>日々学習、研究し、保育を追求するプロ意識を持ってほしい</p>
	<p>(2)職員に期待すること(職員に持つて欲しい使命感)</p> <p>子どもの命を預かっている事の重要性を認識してほしい</p>

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	保育士の業務内容を分析し働き方改革に取り組み、職員の活動は充実し円滑に進んでいます
	内容	職員が安心して働き続ける事ができる安定した職場にしていくため、働き方改革に取り組んでいます。保育士の業務内容を分析し、職員配置においては担当フリーの職員を増員したこと、園全体の事を考えサポートする余裕が生まれています。また、勤務時間の見直しを行い、遅番職員は午前中に事務時間が確保できています。業務効率化のためにデジタル化に取り組み、職員連絡用アプリ導入やSNSでの情報発信などを積極的に推進し、保護者も含め園全体で情報共有を図り、協力体制が一層進み、職員の活動は充実し円滑に進んでいます。
2	タイトル	わらべうたや、絵本、和太鼓、和食中心の給食、味噌作り体験など、原風景の文化や知恵に触れ、生涯にわたる心と体の基礎作りをしています
	内容	乳幼児期の今だからこそ触れさせたい文化や知恵を大切に、子どもの心と体の基礎作りをしています。日本の伝統文化であるわらべうたでは、0～2歳児は人との温かで心地良い関わりを楽しみ、3歳児からは子ども同士で集団遊びやリズムを楽しんでいます。絵本は慣れ親しんだ職員に読んでもらい想像力を膨らませ、和太鼓で躍動感を体感します。和食中心の給食の提供があり、地域の人々に味噌作りや干し柿作り、うどん作りも教えてもらう機会もあります。温かな雰囲気の中、様々な伝承遊びなどを園生活で体験し、子どもにとっての原風景となっていきます。
3	タイトル	経営層や職員の明るく気さくな対応と、様々な取り組みにより利用者の満足度が高い園となっています
	内容	経営層をはじめ職員の雰囲気は明るく、子どもの園内での様子を保護者と気さくに話をしています。クラスだけではなく園全体で子どもを見守り、成長と共に喜んでいます。保護者の様々な意見や要望に丁寧に対応し、利用しやすく安心して働くことができています。保育活動の内容は子どもたちが楽しめることや経験すると良いことを常に考えて実行し、遊びを継続的に展開する中で主体性や協調性などの力が育っています。行事については伝統文化の継承や今までになかった移動水族館なども実施しています。利用者の共感や満足度の向上に努めています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	事業継続計画において休園からの復旧活動について、さらに具体的に示すことを期待します
	内容	大災害などの発生時に子どもや職員の安全を確保し事業を継続することや早期に復旧するため、事業継続計画の策定が求められており、今年度においては現計画を再確認し、近年の気候変化などにも対応できるように検討を続けています。現状の計画は保育時間中に災害が発生した場合の行動基準や総指揮責任者を定め、自衛消防組織が避難誘導など安全で迅速な組織行動に取り組む計画となっています。さらに通信インフラが機能しないことを想定した休園時からの復旧について、特に初期活動を誰がどのように取り組むのか具体的に示しておくと良いでしょう。
2	タイトル	発達に応じた保育形態をとっていますが、担当制保育から異年齢保育への移行の準備段階については、さらに検討を重ねてはいかがでしょうか
	内容	発達段階に適した保育形態をとっていますが、担当制保育から異年齢保育への移行の準備段階については、さらに検討を重ねてはいかがでしょうか
3	タイトル	職員との個別面談や個人別研修計画の明示により、さらにキャリアパスへの理解が図れるでしょう
	内容	職員は毎年10月～11月に実施する園長との個別面談で自身が学びたいと思っている内容と、園が期待する職員像を確認していきます。その上で資質向上となる研修を関連保育団体、行政、大学、民間機関などから選択し、研修計画を打ち合わせています。しかし、第三者評価の職員自己評価においてはキャリアパスの取り組みについてや理解不足となっていると感じられます。改善点として、年度初めに個別面談を実施し、個人別研修計画を明確に示してはどうでしょうか。お互いの認識をさらに深め、共有していくことでキャリアパスへの理解が図れるでしょう。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもの興味に沿い、継続的に遊びが広がるようテーマ遊びを展開しています	
内容①	<p>絵本や興味に沿ったテーマを決め、時間をかけて遊びを継続的に展開します。例えば、回転寿司ごっここのテーマでは小さなレンガ型積み木で大きな寿司レーンを作り、紙粘土や細かいブロックでイクラやエビ、玉子などの寿司も個々で創意工夫して作り出します。また、宇宙ごっこでは、課題達成者は宇宙飛行士になれて写真を撮り掲示し惑星やロケットも作ります。それらの遊びに対して興味を深められるよう移動水族館や移動プラネタリウムを招く配慮があります。イメージを共有していき、月単位で遊び込み、好奇心を伸ばし、探究を重ねじっくり思考します。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べができる食事を提供している
タイトル②	日本の食の恵みを五感を通して体験し、食を楽しめるよう取り組んでいます	
内容②	<p>和食を中心とした献立で、調理保育や楽しい食育活動を展開しています。旬の素材の提供で四季を感じられて、新入園・進級式や、七五三は赤飯で祝い、十五夜には月見団子作りをします。日常は職員が個々に合わせ、丁寧に盛り付け配膳し、きょうだいグループで食卓を囲みます。時に、人気メニュー3品を子どもたちで店員や客の役割を交互に行い、レストランごっこの楽しみもあります。そして、絵本の中に登場する料理を再現した絵本給食や、味噌作り、うどん作り、干し柿作りも恒例です。日本の食の恵みを五感を通して、忘れられない体験としています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	ミーティングを数多く実施し、保育の質向上のため業務改善に組織的に取り組んでいます	
内容③	<p>クラス内のミーティングを数多く実施し、話し合った内容を乳児会議や幼児会議、給食保健会議で提案し、職員の共通理解ができた上で月次会議や運営委員会での検討を行い、案件によっては法人理事会の承認を得ていきます。業務改善に対しての職員の意識は高く、保育の質の向上に向け職種や雇用形態に関わらず取り組み、職員連絡用アプリ導入によって情報共有が効率的に進んでいます。活動の推進役としてリーダー層が職員一人ひとりとコミュニケーションを取り、相談しやすい環境を作り経営層との橋渡し役となり、組織的な活動となっています。</p>	

## I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目 カテゴリー1								
	サブカテゴリー1(1-1) 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7							
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		評点(○○)							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あり</td><td>◆1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている</td></tr> <tr> <td>あり</td><td>2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目	あり	◆1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	あり	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている		
評価	標準項目								
あり	◆1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている								
あり	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている								
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		評点(○○)							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あり</td><td>◆1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている</td></tr> <tr> <td>あり</td><td>2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目	あり	◆1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	あり	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している		
評価	標準項目								
あり	◆1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている								
あり	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している								
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点(○○○)							
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あり</td><td>1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている</td></tr> <tr> <td>あり</td><td>◆2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している</td></tr> <tr> <td>あり</td><td>3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目	あり	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	あり	◆2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	あり	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
評価	標準項目								
あり	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている								
あり	◆2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している								
あり	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている								
カテゴリー1の講評									
園の保育理念などについて各種会議などで理解を深め、一体感ある園運営となっています 全ての職員が園の保育理念や基本方針について理解を深めていくため、年度初めに雇用形態別に職員会議を開催し、目指す姿や取り組みを明確に示しています。その後、各種会議を定期的に開催し話し合いを重ね、職員間の情報共有には連絡用アプリを導入し職員が一丸となって園運営に関わる環境を作っています。また、職員の入職時研修は園長が各種資料を基に随時実施しています。保護者に対しては入園説明会や懇談会で入園のしおりや映像を用いた資料によって伝え、玄関スペースには保育理念を掲示し、来園者や職員が常に意識できるようにしています。									
園経営層は基本方針と役割分担を明確にし、全職員の意見を園運営に反映しています 園の経営層は運営委員である園長、事務長、主任、看護師、乳児保育リーダー、幼児保育リーダー、給食担当リーダーの7名で構成され、事業計画策定に関する話し合いの中心となり、3月に開催する事業計画方針会議で基本方針を発表するなどリーダーシップを発揮しています。年度初めには職員全員に辞令を交付し、職員の役割分担と経験年数が少ない職員も責任者としての業務を明確にしています。また非常勤職員も含め職員は全員自己評価をし、個人の課題や組織の課題など個々に考えをレポートとしてまとめ、全員で共有検討し園運営に反映しています。									
案件は内容などにより検討や決定手順が定められ、決定事項は速やかに周知しています 園内の案件について検討や決定の手順は、案件の内容によってミーティング、クラス会議、乳児・幼児会議、リーダー会議、運営委員会などで話し合い、様々な状況や意見などを勘案し、最終的な決定は運営委員会で行っています。決定事項や経緯については該当する会議で伝え、全職員にもれなく周知する場合には連絡用アプリを使用し迅速に発信しています。保護者に伝える必要がある場合は、保護者連絡用アプリによって速やかに発信し、送迎時に口頭で丁寧に伝えています。また、保護者が参加する懇談会や行事などにおいても伝えています。									
カテゴリー1の講評補足									

		カテゴリー2
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
	サブカテゴリー1(2-1)	
	事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	6 / 6 サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
	評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	評点(○○○○○○)
		標準項目
あり	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	
あり	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	
あり	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	
あり	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	
あり	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	
あり	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	
	サブカテゴリー2(2-2)	
	実践的な計画策定に取り組んでいる	5 / 5 サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している	評点(○○○)
		標準項目
あり	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	
あり	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	
あり	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	
	評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる	評点(○○)
		標準項目
あり	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	
あり	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	

	カテゴリー2の講評
公表コメント	<p><b>保護者アンケートなどから得た多様な意見を開示し、開かれた園経営に取り組んでいます</b></p> <p>運動会、親子遠足などの行事後には保護者アンケートを実施し意見や情報を把握し、可能な対応策は検討の後に保護者に周知していきます。第三者評価の利用者調査における自由意見についても全保護者に開示し、多様な意見があることを伝え、開かれた園運営に取り組んでいます。職員の意向や要望は毎年10月に実施する園長との個別面談で確認していきます。具体的には半日休暇が取得しやすくなるよう勤務体制表などの整備に結びつきました。地域の状況などについては行政の担当者、市保育園協議会や福祉施設との情報交換によって把握しています。</p>
長期計画と単年度計画は連動し、課題や環境変化に対応し安定した経営を目指しています	<p>長期計画については法人が中心となり、2024年度から5年間の計画を策定しています。計画の内容は少子化傾向が続いている状況の中、魅力ある園づくり、保育内容のアピール、職員の待遇や意識改革、園舎や設備修繕、法人事務体制強化などに取り組み、環境変化に対応し安定した経営を目指しています。単年度事業計画は長期計画に連動し、2月から職員個々が担当する行事や係、クラスなどで前年度の反省を踏まえ実践的な計画原案をまとめ、予算編成も含め運営委員会などの話し合いの後、3月の方針会議で園長が事業計画として発表しています。</p>
非公表コメント	会議や担当する係のミーティングによって課題を把握し、計画は着実に進捗しています

#### カテゴリー2の講評補足

カテゴリー3										
3	経営における社会的責任									
	サブカテゴリー1(3-1)									
	社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2								
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる										
	評点(○○)									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あり</td><td>◆1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる</td></tr> <tr> <td>あり</td><td>◆2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目	あり	◆1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	あり	◆2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している		
評価	標準項目									
あり	◆1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる									
あり	◆2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している									
	サブカテゴリー2(3-2)									
	利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている									
	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4									
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている										
	評点(○○)									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あり</td><td>1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている</td></tr> <tr> <td>あり</td><td>2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目	あり	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	あり	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		
評価	標準項目									
あり	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている									
あり	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある									
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている										
	評点(○○)									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あり</td><td>1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している</td></tr> <tr> <td>あり</td><td>2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目	あり	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	あり	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		
評価	標準項目									
あり	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している									
あり	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている									
	サブカテゴリー3(3-3)									
	地域の福祉に役立つ取り組みを行っている									
	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5									
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる										
	評点(○○)									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あり</td><td>1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる</td></tr> <tr> <td>あり</td><td>2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目	あり	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	あり	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		
評価	標準項目									
あり	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる									
あり	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している									
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている										
	評点(○○○)									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あり</td><td>1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている</td></tr> <tr> <td>あり</td><td>2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している</td></tr> <tr> <td>あり</td><td>3. 地域ネットワーク内の共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目	あり	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	あり	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	あり	3. 地域ネットワーク内の共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる
評価	標準項目									
あり	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている									
あり	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している									
あり	3. 地域ネットワーク内の共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる									

	<p><b>カテゴリー3の講評</b></p> <p><b>入職時に守るべき法や規範などを説明し、職員会議などでも必要に応じ伝えています</b></p> <p>職員が守るべき法や規範などについては、入職時に就業規則や入園のしおりに明記している保育理念を基に、園長から個別説明をして理解を深めています。また、方針を総括する年3回の職員会議などの会議やミーティングの中で必要に応じて伝えています。特に保育計画や振り返りを行う月案会議では必要に応じて責任者やクラスリーダーに伝え、乳児・幼児会議などでリーダーから非常勤職員を含めた全職員に伝達しています。職員連絡用アプリとミーティングノートを使用し、個人情報に配慮した上で職員全員に一斉に配信し、情報共有をしています。</p> <p><b>利用者の権利擁護に取り組み、苦情解決は仕組みを整え組織的に対応しています</b></p> <p>利用者の権利擁護は児童憲章などを原則にして取り組んでいます。保護者の苦情などの解決の取り組みについては、入園のしおりに記載し、入園説明会や懇談会で周知し、園内に資料を掲示しています。また、ご意見箱と園からの回答方法を選択できる苦情申出書を設置し、保護者の意見や要望に対しては、運営委員会などで検討し速やかに対応しています。職員による子どもの気持ちを傷つける不適切な言動を感じた場合は、主任やリーダーに伝え、乳児・幼児会議でお互いの言動について話し合い意識を高めています。行政からの情報には連携し対応しています。</p> <p><b>保育の専門性を発揮した地域貢献の様々な取り組みは、地域との関係を深めています</b></p> <p>地域との関係を深めるため、例年多くの実習生や職場体験を受け入れています。今年度は実習生を約20名受け入れ、小学生の職場体験は10名、中学生の職場体験は約2~5名を5回、夏季に受け入れています。さらに保育の専門性を発揮し、高齢者施設や老人会との交流、親子育て広場「花いちもんめ」なども行っています。市内全園が協力して保育展を実施するなど、園長は市私立保育園協議会に参画し、各園との情報交換などを行い、幼保小の連携などの課題に取り組んでいます。協議会からも行政主催の各会議へ出席し、様々な意見具申をしています。</p>
非公表コメント	カテゴリー3の講評補足

		カテゴリー4
4	リスクマネジメント	
	サブカテゴリー1(4-1)	
	リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる	5/5 サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
	評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる	評点(○○○○○)
		標準項目
	あり	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている
	あり	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている
	あり	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している
	あり	◆4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる
	あり	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる
		サブカテゴリー2(4-2)
	事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	4/4 サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
	評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	評点(○○○○)
		標準項目
	あり	◆1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている
	あり	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している
	あり	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている
	あり	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している
		カテゴリー4の講評
	行政機関と連携し、想定されるリスクに対して年間を通じ災害時訓練を実施しています	
	消防計画を策定し、地震、火災、台風、豪雨など想定されるリスクに遭遇した時にどう動くのか、人命の安全を最優先し職員としてとるべき行動を状況別に示しています。災害時の訓練として、消火、通報、避難誘導などを毎月実施し、予防のため日常の点検事項を定めています。警察署とは連携し交通安全と不審者対応訓練を実施し、不審者対応として警備保障会社導入、園周辺への防犯カメラ設置をしています。感染症については保健所から指導を受け、定められた基準に沿って消毒や保護者への周知などを行い、行政と連携しリスク対策を講じています。	
	事業継続計画は気候変化などにも対応し、安全で迅速な組織行動計画となっています	
	事業継続計画については従来の計画を2022年に一部改定し、今年度においてはその計画を基に再確認し、近年の気候変化などにも対応できるように検討を続けています。内容は保育時間中に災害が発生した場合の行動基準や総指揮責任者を定め、自衛消防組織が編制され避難誘導など安全で迅速な組織行動に取り組む計画となっています。平常時から避難用備蓄品を3か所に分散保管し、自家発電の設備を活用しシェルター機能も想定しています。さらに休園時からの復旧活動を充実していくと良いでしょう。保護者にはプリントや懇談会などで周知しています。	
	情報管理については園の方針を示し、個人情報の取り扱いは慎重に取り組んでいます	
	ICT機器の導入と書類の電子化が進み、情報管理については慎重に取り組んでいます。職員は入職時に守秘義務等誓約書を交わし、就業規則、危機管理マニュアル、個人情報保護の方針を遵守しています。重要書類は事務室の鍵のかかるキャビネットに保管され、鍵は園長と事務長が管理しています。パソコンから基幹システムへのアクセス権限は経営層の7名に付与されパスワードを設定しています。職員は各クラスの共有パソコンを使用しパスワードを設定し漏えい防止対策に取り組んでいます。保護者とは個人情報取り扱い同意書及び誓約書を結んでいます。	
		カテゴリー4の講評補足
非公表コメント		

	カテゴリー5	
5	職員と組織の能力向上	
	サブカテゴリー1(5-1)	
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・ 育成・定着に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	12 / 12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成について る	評点(○○)	
評価	標準項目	
あり	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	
あり	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している	評点(○○)	
評価	標準項目	
あり	◆1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	
あり	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでい る	評点(○○○○)	
評価	標準項目	
あり	◆1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	
あり	◆2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	
あり	◆3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	
あり	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる	評点(○○○○)	
評価	標準項目	
あり	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と待遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	
あり	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	
あり	◆3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	
あり	◆4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる	評点(○○○)	
評価	標準項目	
あり	◆1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	
あり	◆2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	
あり	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	

	<p><b>カテゴリー5の講評</b></p> <p><b>人材募集は保育士養成校から実習生を受け入れ、就職に結びつける活動が基本です</b></p> <p>従来の人材の募集活動は、法人のホームページやインターネット求人サイトへの掲載などで行っていましたが、現在の募集活動は保育士養成校から実習生を受け入れる活動に特化しています。学生は実習によって本園保育への興味関心を持ち、園は学生の適性などをより知ることができます。結果としてミスマッチがなく、人材確保に結びついています。異動や配置については、本人の意向を基に、能力などを勘案して行います。法人内の2園間で、経験年数のバランスや将来の入材構成、各園の課題を見据えて、職員の育成につながるよう配慮しています。</p>
公表コメント	<p><b>職員は園長との個別面談や研修計画を認識し、キャリアパスに取り組んでいます</b></p> <p>長期的な展望を描き保育人材としての資質を向上していくため、職員は毎年10月に実施する園長との個別面談で自身が学びたいと思っている内容と、園が期待する能力を確認していきます。その上で能力開発となる研修を関連保育団体、行政、大学、民間機関などから選択し研修計画などを打ち合わせています。受講した研修については報告書を作成し職員間で共有し、これらの一連の取り組みによって職員がキャリアパスを描ける環境になっています。また講師を園に招く研修もあり、非常勤職員の研修受講を推奨するなど積極的に成長を支援しています。</p>
非公表コメント	<p><b>活発な話し合いを大切にし、ワークライフバランスに配慮した職場環境になっています</b></p> <p>園長は各会議やミーティングの位置付けを明確にし、機能していくためにはコミュニケーションが十分に取れる状態が不可欠だと考えています。日々の業務改善の意見などをざっくばらんに話し合える雰囲気をつくり、クラス内の話し合いが充実するように会議運営にも一工夫しています。ディスカッションする場合には、年齢別や少人数のグループに分けて話しやすい環境を作っています。就業状況については、ワークライフバランスを意識し、十二分な配慮をしています。残業ゼロを実現し、有給休暇取得を推進、定時退園、シフト調整も要望に対応しています。</p> <p><b>カテゴリー5の講評補足</b></p>

7 カテゴリー7	
事業所の重要課題に対する組織的な活動	サブカテゴリー1(7-1)
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	<p>前年度における重要課題として、園の基本方針に掲げている日本の伝統文化を子どもたちに伝えるため、わらべうたや和太鼓の指導について新型コロナウイルス感染症対策の工夫をしながら継続して取り組むこととしました。背景として感染防止のため保育環境は大きく制約され、従来通りの指導が難しい状況となっていました。課題達成のため話し合いを重ね検討しましたが、完全に元の状態には戻せず、子どもの命と健康を最優先し、わらべうたはマスクを着用し全クラスで1日10分の取り組みに変更し、保育士は口形が見えるよう透明なマウスピアノを使用していました。和太鼓は年長児20名を2つのグループに分け、指導時間を60分から30分に短縮して行いました。取り組みの結果、感染者ではなく指導時間や取り組みが減少ましたが、わらべうたや和太鼓のレベルは上がり、11月の発表会で披露できました。園における思わぬ効果は、コロナ禍の特別な環境において「これって必要なこと?」と話し合うことが多くなり、必要のないことをなくすなど職員の考える習慣が身についてきました。今年度においては引き続き様々な工夫をし、日本の伝統文化を子どもたちに伝える取り組みを展開しています</p>
目標の設定と取り組み	具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
取り組みの検証	目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
検証結果の反映	次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	日本の伝統文化を子どもたちに伝えるため、わらべうた指導は職員の園内学習会を年間3回実施し、講師が実践状況を見て、評価、講評をするOJT研修を実施しました。和太鼓は年長児を対象に月2回、年明けの2月からは4歳児も対象に加わり専門講師が指導しました。しかし、地域支援事業として実施している小学生対象の和太鼓サークルなごみについては、コロナ禍の影響や夜の活動であることから、希望者がいなくななり解散としました。2023年5月に新型コロナウイルス感染症が2類からインフルエンザ同様の5類に変更となったため、マスク着用については本人の意思を尊重し、2023年9月には従来の指導方法に戻す事ができました。職員からは口形を見せられず大変だった、子どもの覚えた歌が少ない、口頭指導ができず動きやジェスチャーで指導することの難しさなどの意見がありました。その解決のために各担当者間、リーダー会議、運営委員会での話し合いが頻繁に行われ、園の指導方針を具体的な形にして迅速に対応していました。今年度においては指導についてさらに工夫し、流行する感染症などの対策をして、11月の発表会「かやの実っ子祭り」に向けて日々の指導充実に取り組んでいます。
非公表コメント	カテゴリー7評価項目1の講評補足

## 評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

## 前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度の重要課題として運動会などの大きな行事については、保護者会の意見を反映して開催することとしました。課題とした背景には、コロナ禍の期間には運動会への保護者参加者人数を2名までとする制限を行い、観覧だけにしたため保護者から多くの意見が寄せられていました。そのため、5類移行後の開催方法は保護者会の総意を反映していきたいと考えたからです。課題への取り組みは保護者会三役と園長で運動会について利用者を限定した対話型アプリを使用して相談をしてきました。前年度と同じ観覧だけにするのか参加型にするのかなどを話し合い、保護者会役員会として園の連絡用アプリを使用して全保護者の意見を確認してきました。その結果、保護者会としては参加型を希望しますが、園の考えを尊重するとの回答が保護者会会長からありました。しかし、園としては大勢の人が集まり感染リスクなどが避けられないことから高齢者への対応が必要であり、祖父母の競技参加や高齢者施設の招待は来年度に見送ることにしました。取り組みの結果、保護者会役員会や保護者会の意見は短期間に集約され、市総合スポーツ施設において保護者の参加人数制限をなくし6月に運動会を開催することができました。

目標の設定と取り組み	具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った
取り組みの検証	目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った
検証結果の反映	次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた

## 評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

前年度の運動会についての保護者意見は、時間や会場を決め対面で保護者総会を開催することはせず、園の連絡用アプリを活用し保護者会役員や保護者から確認していました。保護者会役員だけで話し合いたい時は対話型アプリを活用し実施し、保護者会役員会内での理解や連携ができ、効率良く意見などを集約していました。取り組みの結果、保護者会の意見や意向を確認し反映することができ、より充実した運動会となりました。この取り組みを通じて、保護者会の存在により保護者の意見が集約でき、協力体制を構築することを確認できました。一方では保護者は就労し、時間的な制約がある方が多く負担をかけないことが必要だと感じました。その結果、保護者会は残しますが総会や会費ではなくし、保育園に協力するボランティア団体として活動することになりました。今後も継続し、保護者参加の大きな行事については終了後に保護者連絡用アプリでアンケート調査をし、次年度の運営に反映するようにしています。具体的には今年度の運動会について前年度の保護者アンケート調査結果を反映し、2階席を観覧する子どもたちが走り回り危険な状況があるため、保護者会が係を出し観覧者の安全や誘導を行っています。

## カテゴリー7評価項目2の講評補足

非  
公  
表  
コ  
メ  
ン  
ト

## II サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No.	共通評価項目	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー1 サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している	評点(○○○○)
	評価	標準項目
	あり	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	あり	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている
	あり	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	あり	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	サブカテゴリー1の講評	
公表コメント	ホームページを更新し、園情報を提供しています ホームページをリニューアルし、園の情報を詳しく提供しています。園舎内外の様子は冒頭のスライドショーで伝え、保育方針として、一人ひとりを大切に、子どもの尊厳や個性を尊重し、「私は大切にされた」と実感できる保育をすることを掲げています。そして、園の特色である担当制の保育や、異年齢保育、わらべうた、伝統文化などの保育内容についても説明があります。また、園の概要や各保育室のコーナー保育環境、健康に育つために重要な食事、四季を感じさせる行事の数々を掲載する他、園の状況を知らせた各種便りは毎月更新しています。	
	地域子育て支援やSNSも活用するなど、様々な方法を工夫し園情報を発信しています 地域活動事業にも力を入れ、特に未就園親子を対象として、わらべうた遊びの広場「花いちもんめ」を開催しています。毎月1回午前10時30分から11時30分まで、わらべうた遊びをはじめ、身長体重測定、園の食事体験などを看護師や保育士、栄養士が行い、園の専門性と保育内容を伝えています。さらに、地域関係機関に園便りを配付し、市の保育展では情報誌「わらべうたと遊びの広場」を渡し、地域に園の情報をわかりやすく対面で伝えています。また、SNSを活用し、園の献立内容や保育内容を子育ての参考になるよう広く発信に努めています。	
	入園希望の見学者には園の特色を説明し、映像をまじえて保育内容を伝えています 入園希望の見学者には個別に対応して保護者の立場に立った案内をしています。SNSでは冒頭にパンフレットも載せており、保育園の様子をカラー写真で一覧にし雰囲気を伝え、より興味を持ってもらえるようにしています。見学の希望はホームページの問い合わせフォームや、電話連絡などで随時対応し見学者の希望日時を優先していますが、園としては10時頃を勧めています。当日は園長が主任が園の特色などを伝えながら案内し、プレゼンテーション用ソフトの映像で保育内容を具体的に伝え、利用者からはわかりやすいと好評を得ています。	
非公表コメント	サブカテゴリー1の講評補足	

サブカテゴリー2														
2 サービスの開始・終了時の対応		6 / 6 サブカテゴリー毎の標準項目実施状況												
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(○○○)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あり</td><td>1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している</td><td></td></tr> <tr> <td>あり</td><td>2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている</td><td></td></tr> <tr> <td>あり</td><td>3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している</td><td></td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		あり	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		あり	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		あり	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	
評価	標準項目													
あり	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している													
あり	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている													
あり	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している													
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(○○○)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あり</td><td>1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している</td><td></td></tr> <tr> <td>あり</td><td>2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している</td><td></td></tr> <tr> <td>あり</td><td>3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている</td><td></td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		あり	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		あり	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		あり	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	
評価	標準項目													
あり	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している													
あり	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している													
あり	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている													
サブカテゴリー2の講評														
<p><b>入園前に園のしおりに基づき、重要事項や園のルールを説明しています</b></p> <p>入園内定後に新入園児説明会を実施し、個別面談を行っています。入園説明会は、園のしおり(重要事項・保育理念説明書)に基づき、保育理念と保育内容については園長が伝え、苦情解決の仕組みなども説明します。次に、持ち物や具体的な園の取り組みについて主任から伝えます。そして、個人面談は説明会の直後または後日行っており、成育歴や、子どもの生活状況、家族の状況について児童票などを様式に沿い確認し、保護者の要望や質問にも応え記録します。また、重要事項・保育理念の説明を受け、同意したことを書面にて確認をしています。</p> <p><b>入園直後は慣れ保育の期間を柔軟にもち、子どもと保護者の不安のないよう努めています</b></p> <p>入園による環境の変化が子どもにとって過剰な負担やストレスとなるよう慣れ保育を行っています。入園前の個人面談の際に、慣れ保育について説明し、スケジュールは保護者の就労などの事情も考慮し1週間をめどにしています。可能であれば0、1歳児は保育室で親子が一緒に過ごします。徐々に園に慣れていく親子登園も勧めており、ほとんどの親子が活用し保護者同士も知り合い、安心しています。その後、子どもには不安のないよう担当職員が個々の関わりを大切にし、家庭と園の子どもの様子について保護者とコミュニケーションを多く持ちます。</p> <p><b>幼児期にふさわしい生活を支え、就学への不安の軽減や継続した支援に努めています</b></p> <p>就学に向けて主体的な生活習慣を身に付け、創造的な思考となるような保育を心がけています。そして、「私は大切にされた」と実感できる保育活動になるよう努めています。子どもは小学校見学などを通してますます就学に期待し、保護者には懇談会や個人面談を実施し、市からの就学に備えるための冊子を渡し不安を軽減しています。さらに、「生きていることを素晴らしいと思う大人になってください」と卒園証書にメッセージを書き送り出しています。また、1年生を対象にわらべうた教室「わらべの実」を実施し、卒園後も継続した支援に努めています。</p>														
サブカテゴリー2の講評補足														
非公表コメント														

## 3 個別状況の記録と計画策定

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

13/13

## 評価項目1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

評点(○○○)

評価	標準項目
あり	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している
あり	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している
あり	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている

## 評価項目2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

評点(○○○○○)

評価	標準項目
あり	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している
あり	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている
あり	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている
あり	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している
あり	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している

## 評価項目3

子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

評点(○○)

評価	標準項目
あり	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある
あり	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している

## 評価項目4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

評点(○○○)

評価	標準項目
あり	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している
あり	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている
あり	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている

	サブカテゴリー3の講評
公表コメント	<p>各指導計画はクラスの状況を踏まえ、3歳児以上は異年齢クラスでの計画も立てています</p> <p>全般的な計画を踏まえ養護と教育の領域を考慮して「年間保育指導計画」を作成しています。0歳児は月齢により3か月程度の期間ごとに計画し、1歳児からは年間を4期に分けて養護と教育の内容を立案しています。その上で、クラスごとに月間指導計画を作成し、3~5歳児は異年齢クラスを「むら」と称し2クラス設置し、それぞれねらいや配慮の他、わらべうた、童謡、美術・造形、絵本などの具体的教材や題材を記載しています。週案は2歳児まではクラスごとに、3歳児以上は異年齢クラスの遊びへの配慮やわらべうた、絵本の計画を立案しています。</p> <p>各指導計画は評価反省を基に総括報告し、職員間で共有し次の計画を確実なものとします</p> <p>日々のクラスの様子は週案日誌に記載しており、日々のねらいに対する記録と考察も記載しています。そして、個人記録として1歳児まで日々記載し、週ごとの発達記録は担当制保育を実施している担任職員が記録します。また、評価反省については、年間指導計画はクラス担任間で話し合い、半期に一度ずつ記載し、職員会議などで総括報告をしています。月間指導計画は「〇月の状況」の様式に、各々適した項目ごとにクラスの様子や反省、課題などを記述し、月案会議資料を作成、全クラスの内容を月案会議にて共有して翌月の計画を確実なものとします。</p> <p>子どもや保護者の状況の変化については、全職員が把握する仕組みがあります</p> <p>子どもや保護者の状況に変化があった場合は、職員用の申し送り連絡ノートに記載し、職員用連絡アプリで確認事項があることを周知しています。各クラスでは職員用の申し送り連絡ノートに子どものけがや変化、保護者への申し送りなどを、午睡の時間や職員が帰宅する際に記載し、担任間やシフト担当者に引き継ぎができるようにしています。また、全員に緊急に伝える場合も職員用連絡アプリで知らせ、その際は、個人情報は載せず、詳細は全職員用の申し送り連絡ノートに記載します。そして、必要に応じて月案会議などでクラスから報告します。</p>
非公表コメント	サブカテゴリー3の講評補足

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

5/5

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

## 評価項目1

子どものプライバシー保護を徹底している

評点(○○)

## 評価

## 標準項目

あり

1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている

あり

2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている

## 評価項目2

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

評点(○○○)

## 評価

## 標準項目

あり

1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している

あり

2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている

あり

3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている

## サブカテゴリー5の講評

## 子どものプライバシーを保護し、羞恥心を意識できるような保育実践があります

子どものプライバシー保護と、羞恥心に配慮した保育を行っています。入園の際に園における個人情報保護の方針を書面を基に説明し、写真データの取り扱いについても同意ならびに誓約書にて確認しています。誕生日表や下駄箱等には下の名前のみを記載することを基本とし、プライバシー保護に努めています。また、子どもが羞恥心を持つてゐる場合、2歳児まではできる限り決まった担当職員がオムツ交換や着替えなどを行っています。特に5歳児は市の助産師によるプライベートゾーンの話を聞き、裸にならないような手順で、男女別で着替えを行っています。

## 子どもが「私は大切にされた」と実感できる保育実践に努めています

保育理念の一つに「人間らしく健やかに育てたい」があり、方針は「ひとりひとりを大切にする」と掲げています。特に、担当制保育により特定の大人が関わることで信頼関係が形成され、人間関係の基礎となり安定して過ごせるようにします。その後の保育でも一人ひとりを尊重し、気持ちを大事にした保育となるよう、職員は関わりや言葉がけを配慮し具体的な環境改善につなげています。常日頃から園長や主任は人権を踏まえて保育を語っているため、職員も園の理念や方針をよく理解し、子どもが「私は大切にされた」と実感できる保育実践に努めています。

## 虐待防止に向けて、子どもの様子の変化に敏感に気づけるよう職員は理解を深めています

虐待防止や育児困難家庭の支援に向けて園内研修を実施し理解を深めるようにしています。市役所が開催する虐待防止研修に職員の代表が参加し、受講内容を職員会議などで報告し周知しています。その際には、早期発見の必要性を知り園内を振り返るようにしている他、連携している子ども家庭支援センターからの資料も閲覧できるようにしています。また、子どもを巡る事件や事故など社会でのニュースについても常に話題にしており、クラスからは月ごとに詳細なクラスの状況報告をし合いながら、子どもの様子の変化に敏感に気づけるよう心がけています。

公表コメント

## サブカテゴリー5の講評補足

非公表コメント

		サブカテゴリー6	
6	事業所業務の標準化		5 / 5 サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている			
評点(○○○)			
		標準項目	
評価			
あり	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		
あり	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		
あり	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている			
評点(○○)			
		標準項目	
評価			
あり	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		
あり	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		
サブカテゴリー6の講評			
<b>法人のマニュアルに沿い、質の高い保育を目指しています</b> 法人は各種マニュアルを整備し業務の標準化を図りながら質の高い保育を目指しています。例えば保育業務では、保育の方法や計画、記録、健康安全配慮、その他に勤務の心得や登降園時の対応、環境整備、行事マニュアルがあります。そして、園外保育や緊急時の対応、給食、健康管理、危機管理、地域支援マニュアルなど業務全般について明文化しています。それらを所定の位置に保管いつでも閲覧でき、データ化もして各クラスの端末でも確認できるようにしています。さらにマニュアルの見直しを環境変化に対応し使いやすく充実していくと良いでしょう。			
<b>基本事項や手順が相応するようにチェックし、指導の際に根拠を示すようにしています</b> 日々の活動を通じて基本事項や手順が相応するようにチェックしています。特に、災害時の避難用具や警報設備の不具合や、避難の際の障害物の有無を「非常災害自主点検表」を用いて毎日チェックし、施設内の安全を保っています。不備があれば、迅速に対応するように努めています。また、主任や各部リーダー、クラスリーダーが職務を理解し実践しているため、職務経験の浅い職員を指導して円滑な業務にあたれるようにしています。その際、園長や主任は手順書ファイルから根拠資料を示すなどして明確に伝え、特色ある園の保育内容の継承に努めています。			
<b>保護者の意見や職員の提案を大切にして保育の質の向上を図っています</b> 保護者の意見や職員の提案を大切にして業務改善し、保育の質の向上を図っています。保護者からは日々の連絡帳や個人面談、行事後にはアンケートをとるなど、意見や要望を受け付ける姿勢を大事にしています。例えば、保護者の会から、運動会での小学生の安全確保のため、見回りの申し出があり、園は保護者への腕章を作り、係の保護者が声をかけやすくできるようにしました。また、職員の提案により、保育動線を考慮し、2歳児の手洗い場増設や、子どもが米とぎをしやすいようシンクと水道蛇口の変更をするなど、保育環境改善を図っています。			
		サブカテゴリー6の講評補足	
公表コメント			
非公表コメント			

### III サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4 サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 36／36													
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(○○○○○)													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th><th>標準項目</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あり</td><td>1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている</td></tr> <tr> <td>あり</td><td>2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している</td></tr> <tr> <td>あり</td><td>3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している</td></tr> <tr> <td>あり</td><td>4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している</td></tr> <tr> <td>あり</td><td>5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている</td></tr> <tr> <td>あり</td><td>6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している</td></tr> </tbody> </table>		評価	標準項目	あり	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	あり	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	あり	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	あり	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	あり	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	あり	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している
評価	標準項目														
あり	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている														
あり	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している														
あり	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している														
あり	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している														
あり	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている														
あり	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している														
評価項目1の講評		年齢発達に応じて担当制保育や、異年齢保育を基本とした保育実践を重ねています 歴史ある園としての実績を基に年齢発達を十分考慮し、2歳児までは担当制保育を、3歳児からは異年齢保育を基本とした保育実践を重ねています。2歳児までは担当制保育として、特定の職員が関わり、信頼関係、愛着関係を基に安定した中、主体的に生活し活動するようになります。そして、その安心感と主体性を糧に3歳児からは3～5歳児の6人構成できょうだいグループを作り、深い関りの中で様々な経験と感情をはぐくんでいきます。発達に応じた保育の仕組みにより、一人ひとりが周りと無理なく関わり持てるような保育実践があります。													
公表コメント	<p>子どもがじっくりと遊べるよう配慮し、環境を工夫しています 好きな遊びを選んで遊び込めるようコーナー設定し、どのクラスも低い棚にわかりやすく配置しています。特に、ままごとと人形のお世話コーナーを隣り合わせて遊びの広がりを持たせる配慮があります。0歳児は粗大運動のためのトンネルやソフトマットの斜面などを常設します。1、2歳児も雨天時などは廊下やホールにてサークル遊びを少人数グループで行います。3歳児からは、選んだ遊びを六角形のテーブルごとにを行い、細かいブロックや、緻密なピースでモザイク柄になるよう工夫し、カードゲームや木製積み木も仲間と知恵と想像力を出し合います。</p> <p>小学校や他の施設と連携して、子どもたちが就学に期待できるよう取り組んでいます 就学への円滑な接続のため、小学校や他の施設と連携して援助しています。リーダー層の職員が園の代表として幼保小連絡会議に定期的に出席し、各施設と意見交換や研修を通して就学にあたっての共通認識をもっていきます。情報交換した内容から、就学前の今しかできない体験を大事にする園の保育内容を確信する一方、生活習慣を身に付け、自分の名前を読み書きできるよう工夫して保育に生かしています。そして、その中で、5歳児が学校見学できる機会を持ち、子どもたちは一層就学に期待します。</p>														
非公表コメント	評価項目1の講評補足														

2	評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている	評点(○○○○)
	評価	標準項目
	あり	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している
	あり	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している
	あり	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している
	あり	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている
		評価項目2の講評
公表コメント	登園時には保護者との対話を大切にし、その情報を保育に生かしています  登園の際は、子どもが快適に一日を過ごせるよう保護者との対話を大切にしています。連絡帳には年齢に応じて食事や排泄などの情報を記載し、家庭と園との連続性を大事にしています。そして、前日の体調の変化やけがなどの状態も確認します。保護者からの伝言なども受け、クラスごとの職員用申し送り連絡ノートに記載し職員間で共有し、保育に生かします。また、朝の合合同時間では、0、1歳児と2歳児以上とがホールで二手に分かれていますが、特にきょうだいはそれぞれ仕切りの一角の透明丸窓越しに、顔を見合わせ楽しんでいる姿もあります。	
	わかりやすいよう毎日同じリズムでの生活を心がけ、子どもの主体的生活を支えています  担当職員はオムツ交換を個々との関わりの時間とし、食事も個々の状態を把握し、離乳食介助や授乳は座位が安定するまで職員がゆったりと椅子に座り一人ずつ抱っこで行います。目を合わせ温かい言葉を届け、食でお腹と心も満たす経験を毎日繰り返しています。その満足感の上で、3歳児からは園での生活リズムや一日の流れを子どもがよくわかるようになり主体的に生活をしています。また、家庭との連携を密に基本的生活習慣を身に付けられるようにしており、排泄間隔など個々の状態をよく観察し、タイミングを見計らい保護者に伝え無理なく進めます。	
非公表コメント	降園時には、その日の子どもの様子を伝えるように心がけ、写真の配信も実施しています  降園時には、その日の子どもの様子を伝えるように心がけています。引き渡しの際、担当職員が一日の様子やエピソードを伝えています。勤務の都合上、担当職員でない場合は申し送りをしています。2歳児までは個々の様子を連絡帳に記載し、クラスの様子は毎月連絡用アプリにて写真を配信しています。そして、3歳児以上は毎日主活動の内容と、写真をボードに掲示し、アプリで配信もします。個々の様子を伝えるよう努めていますが、お迎え時間が集中した時や、シフト職員の場合は保護者に詳しく伝えられないことについては、園は課題だと考えています。	
	評価項目2の講評補足	

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(○○○○○○)		
評価	標準項目			
あり	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている			
あり	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している			
あり	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や唔語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している			
あり	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている			
あり	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるように視点を取り入れている			
あり	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している			
評価項目3の講評				
<b>興味に応じじっくり遊ぶ一方、テーマ遊びで思考し創意工夫をし遊びを発展させています</b> 好きな遊びを選択じっくり遊び、遊びが発展するよう援助します。年齢発達に応じた遊びの提供で、年下の子どもは部屋のコーナーからおもちゃを出し、分散し落ち着いて遊びます。異年齢クラスでは、興味に応じ3~5歳児は混合で各コーナーで遊び、刺激を受け、遊び方を教えるなどして、一日だけでなく継続して遊び、完成品や途中のものを取り置くスペースも確保し探究心を満たします。一方で、例えば、水族館ごっこや絵本の世界の再現ごっこなどは、共通認識を持ったテーマに沿い、好奇心を持ち月単位で時間をかけ思考し創意工夫をしていきます。				
<b>わらべうたや絵本を通して愛着関係を築き、様々な表現活動に興味を示しています</b> わらべうたでは温かな応答関係を感じ、愛されている自信につなげ、3歳児以上では歌いながらみんなで遊ぶ楽しさを知ります。絵本は、0、1歳児は「よんで」と指差し要求するようにし、職員に受容された嬉しさをもって読み聞かせをしています。また、2歳児以上では厳選された同じ絵本を1週間毎日読み聞かせをします。それにより、絵本の世界観に違う発見や捉え方を日々楽しめるようにしています。イメージすることや想像することが楽しくなり、個性あふれる造形活動や身体表現となっていき、5歳児の和太鼓で躍動感を持ち協同的な活動とします。				
<b>自然物を通して四季折々の多くの気づきにつなげています</b> 園庭では稻、スイカ、キュウリ、ナス、トウモロコシなどを栽培し、その観察によって植物の不思議を実感しています。散歩では起伏のある林道や芝生のグラウンドで風を感じます。1歳児は虫探しに集中しヤモリを見つけた時には「あっ！」と声を発し、部屋の虫かごで飼い「やもさん、モーリーさん」と2匹に名前を付け親しんでいます。暑い夏はミストの出る園庭で水遊びをし快適を感じ、秋はイチョウ並木で落ち葉の舞う美しさに心を動かし、落ち葉を集め焼き芋屋さんごっこが自然に始まります。木の実の製作など五感を通して多くの体験をしています。				
非 公 表 コ メ ント	評価項目3の講評補足			

4	評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(○○○)
	評価	標準項目	
	あり	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	
	あり	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	
	あり	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	
評価項目4の講評			
子どもたちが伝統文化や季節を感じられるよう行事を大切にしています 行事に関して園が大切にしていることは、子どもたちに日本の季節の習慣や文化を伝えていくことです。園の基本的な行事として運動会はみんなで楽しく、遊ぶ日と位置付けて子どもたちが話し合いながら、準備も係も子どもたちが主体的に行えるようにしています。また、職員が伝統的手法を用い、季節ごとに行事の世界観を小さな壁面棚に飾っており、子どもや保護者は興味津々です。その行事に関連し、調理保育にも力を入れ、芋を洗い切り刻んで一週間かけて芋煮会を盛り上げ、干し柿作りや餅つきもするなど、食を通じ日本の伝統文化を印象付けています。			
子どもたちが達成感を持ち、大きな成長となるような行事の実施をしています 行事を通し、友達と一緒に乗り越えられる姿を職員は見守っています。運動会では前年度にみんなの前で走ることを嫌がった子どもは、今年度は走ることができ、大きな自信となりました。リレーで悔しい思いをした子どもたちはその気持ちをバネにして、また遊びに向かいます。5歳児の宿泊保育は保護者の元を離れ、友達と昼夜を過ごす不安と期待が子どもにありました。川遊びや、絵本の世界に入ったかのような指令書を達成していく冒険に心躍らせました。帰園すると出迎えの保護者が涙するほど、子どもたちは一層たくましさを見せていました。			
行事までのプロセスや当日の様子も写真で伝え、親子で期待できるよう取り組んでいます 保護者が行事に興味を持ち、子どもが行事を楽しみにできるようにしています。年間行事予定表を年度初めに配付し、懇談会でも特色ある園の行事について説明があります。特に、運動会は進級して間もない6月実施であるため、保護者の関心が高く行事までの子どもたちの準備のプロセスを配信し、口頭でも伝えています。そして運動会や宿泊保育については毎月のお便りの他に、それぞれ臨時号を出し、その時の様子を伝えています。季節の行事や動物との触れ合いなどの行事も写真で見せ、親子で振り返り、季節が巡る楽しさを感じられるようにしています。			
非公表コメント	評価項目4の講評補足		

5	評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(○○)
	評価	標準項目	
	あり	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	
	あり	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	
評価項目5の講評			
一日を通して受容され、ゆったりと無理なく過ごせるような環境を作り上げています 一日を通して負担なく過ごせるような配慮と環境があります。木の温もりを感じさせ、良質なおもちゃも備えており、何より担当制保育で子どもの気持ちをしっかり受容し、自我の芽生えを豊かにしています。玄関の絵本コーナーやホール、小ホールと称した多目的スペースではゆったり少人数で遊びを楽しめます。3歳児からもきょうだいグループをつくり、年下の子どもは年上の子どもに午睡明けには起こしてもらい、着替えも手伝ってもらいます。年上の子どもは年下の時にしてもらってきたので自然に優しい気持ちをもち、ゆったりと温かな継承があります。			
合同保育はホールで行い、発達や興味、安全を考慮して楽しく遊べる工夫をしています 長い保育時間となつても、楽しく過ごせるように配慮があります。おやつ後もメリハリをもたせテラスなどを活用して気分転換し、夕方の保育を落ち着いた雰囲気にしています。早朝や延長の合同保育ではホールを0・1歳児と2~5歳児に分け、発達や興味に応じ、安全を考慮しています。ホールにはそれぞれ専用の木製積木や絵本、カードゲーム、パズルなどがおもちゃ棚に配置され、机上で遊んでいます。常に一角にはじゅうたんを敷き、その周りを低い木製ベンチで囲んで中でくつろいだり、ベンチ越しに同年代や異年齢との関わりも楽しんだりしています。			
非公表コメント	評価項目5の講評補足		

6 評価項目6  
子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(○○○○○)

評価	標準項目
あり	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している
あり	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている
あり	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している
あり	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている
あり	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている

評価項目6の講評

食を楽しみ、食から日本の食文化を感じられることを大切にしています

職員が個々の食べ具合や嗜好を把握し盛り付け、食器の置き方や配膳も日本の食文化や伝統を意識し、丁寧な配慮があります。そして、きょうだいグループで揃って「いただきます」をして家庭のような雰囲気です。時に、公園で思い切り遊んだ後には給食の弁当が届く青空給食や、自分たちで店員と客を交代しながらハンバーガーやパスタ、サンドイッチなどを食べるレストランごっこを実施します。また、2歳児は粘土でアイスクリームを作り盛り上がっていた活動を受けて、本物のアイスクリームの提供もあるなど遊びと食のつながりも大切にしています。

安全で旬の野菜を利用して、季節感や伝統的な風習も大事にした献立を工夫しています

旬の野菜を利用して季節感を出すように工夫し、出汁で素材本来の味を引き出した幅広く豊かな献立を心がけています。そして、行事にちなんだ献立や、絵本に出てくる料理を再現し盛り上げ、郷土料理の「東京」は海苔の佃煮やすき焼き、のらぼう菜の和え物などの提供があります。伝統的な風習も大事にし、入園・進級祝いでは赤飯を炊いて祝い、土用の丑の日は3~5歳児のおやつにウナギのおにぎり、シロップをかけてかき氷で暑さしのぎもします。また、食物アレルギーのある子どもにはマニュアル通りに誤食対応をし、代替食の提供を行っています。

食に興味をもてるよう食育活動を実施し、食文化を伝える保育に取り組んでいます

子どもが食に興味をもてるよう、様々な食育活動に取り組んでいます。食材については栄養教育を調理職員が実施し、1歳児はキャベツちぎりや、2歳児がカボチャの種取りなどで実際の野菜に触れ、ホットケーキ作りも楽しめます。そして、年上のクラスは栽培活動や、5歳児は米とぎ活動も行います。また、自分たちでイワシの内臓を取り、筋分のヒイラギイワシ作りの他、地域の魚店の人が魚や貝を目の前でさばいて、命をいただいていることも感じられるよう支援もします。地域の人との関わりで食作りも経験し、食べることと保育をつなげています。

公表コメント

評価項目6の講評補足

非公表コメント

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(○○○)		
評価	標準項目			
あり	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している			
あり	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている			
あり	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている			
評価項目7の講評				
<b>健康や生活習慣に関心を持ち自分の体を大事にできるよう、保健教室を実施しています</b> 子どもの様子や感染症流行の前などを考慮し看護師と担任で検討し、手洗いやうがい、朝のウンチの大切さなどの話をする保健教室を実施しています。そして、消費者センターの職員の話を聞く機会を持ち、寸劇を交えて楽しみながら食べ物の通る道・バランスよく食べようとのテーマで、子どもたちは興味津々で学びます。また、性教育と生教育については市役所の助産師より水遊び時期前に話があり、プライベートゾーンの大切さや着替え方など実際の方法を知ると同時に、自分も相手も大事に尊重し合い、命の大切さを学び自己肯定感につなげています。				
<b>嘱託医と連携し、職員は緊急時に備えた訓練を実施し子どもの健康維持に努めています</b> 嘱託医と連携して子どもの健康維持を図っています。嘱託医により毎月0歳児の健康診断があり、その際は地域の感染症情報を知らせてもらったり、園からは発達上の相談をし、保護者からの質問にもアドバイスをもらったりして良好な関係を築いています。また、職員は消防庁の上級救急講習を受講し、上級救命技能認定証の取得をしています。さらに、看護師を中心に嘔吐処理や、AED(自動体外式除細動器)の確認、プールでの事故に備え対応策を書き出しシミュレーションをするなど万が一にも備え、職員は子どもの健康維持に努めています。				
<b>子どもの健康状態を保護者と共有して連携し、子どもの健康維持に取り組んでいます</b> 子どもの健康状態を保護者と共有し、連携をしています。登降園時には、健康状態について連絡帳や口頭で連絡をとり、感染症が園内で発生した場合は玄関にて掲示をし、アプリでも配信するなど保護者と協力して拡大防止に努めています。入園の際にはSIDS(乳幼児突然死症候群)予防のため、6か月未満児には午睡センサーを活用し午睡チェックなどの園の取り組みを知らせると共に、行政からの啓発リーフレットを渡しています。うつぶせ寝になりやすい状態であれば保護者に再度仰向け寝の推奨をして、家庭と園とで習慣付けていくようにしています。				
非 公 表 コ メ ント	評価項目7の講評補足			
非 公 表 コ メ ント				

8評価項目8  
保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(○○○○○)

評価	標準項目
あり	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている
あり	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている
あり	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている
あり	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている
あり	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している

評価項目8の講評

保護者同士が交流する機会を設け、安心した子育てとなるよう支援しています

安心した子育てとなるよう様々な方向から保護者を支援しています。個々の家庭の状況を把握し、就労のみならず家庭の事情への配慮も行います。そして、保護者同士の交流もできるよう懇談会ではわらべうたを通してリラックスし、園からの説明後は、少しでも保護者同士が話せるような時間を設けています。自己紹介をし、名前の由来や、子育ての悩みなどを共有し合えるよう配慮があります。年度初めには親子写真を掲示し、親子遠足を設け楽しい時を過ごし交流を深めています。子育て仲間作りを支援し、安心した子育てとなるよう取り組んでいます。

子どもに対する共通認識を持てるよう、コミュニケーションを大切にしています

園は、保護者と子どもに対する共通認識を持つよう心がけており、登降園時の対話や、連絡帳などで保護者とのコミュニケーションを大切にしています。そのなかでも、初めての歩行や発語は保護者が感動できるように、「初は、お家で」を保護者への配慮の基本としており、子どもをよく観察して「そろそろ歩きそうですね」と声をかけるようにします。また、個人面談は5歳児は期間を設け、就学の話題を中心にしており、その他の学年は随時希望により日時を調整し、保護者と園とで子どもの様子を伝え合っています。

保護者に子どもの様子や、保育内容を様々な方法で発信するよう努めています

行事への参加や、希望により保育参加なども実施して保育内容を保護者に伝えています。日々、調理室前の廊下側に各食の展示をしているため、降園時は子どもが「これおいしかった！」と献立を紹介し親子の会話のきっかけとなっています。そして、各種便りでは毎月の様子や担当部署の想いが伝わるように記載し、連絡アプリで配信しています。また、子どもへの性教育・生教育の様子を参観でき、その後保護者対象に同テーマの勉強会を実施しています。さらに5歳児親子には木育活動で着作り体験を実施し、保育内容に触れられる機会を設けています。

評価項目8の講評補足

9評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(○○)

評価	標準項目
あり	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している
あり	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している

評価項目9の講評

地域にて様々な体験ができるよう取り組んでいます

地域で子どもたちが様々な体験ができるよう努めています。天候の良い時には公園を利用したり、散策をして多くの発見を重ね、虫やヤモリを飼育するなど、その後の保育につなげています。そして、ジャガイモ掘りを楽しんで、芋煮会の材料を八百屋に行き買い物をして、ダイコンやニンジンを自分たちで選び会計もするなど貴重な体験をしています。また、地域の警察署職員の来園で、5歳児は交通安全教室で学び、消防訓練の一環で消火訓練や消防車を見学するなど、地域で様々な体験ができ好奇心を広げていけるよう取り組んでいます。

地域のなかで、子どもが地域の温かさを感じ、自分を大切にできるよう支援しています

地域から見守られ、多くの協力を得ています。移動水族館や移動プラネタリウム、ボニーと遊ぼうなどを園に招き入れる一方、系列園を訪ねて多くの子どもたちとの交流も経験します。特に、歴史ある園として地域との関わりも強く、高齢者施設との交流があり、「老人会」の人に紙飛行機作りや伝承遊びを教えてもらっています。その他、毎年うどん作りや、干し柿作り、味噌作りと一緒に楽しむを分かち合っています。園は子どもたちが地域の温かさを感じ、多くのことを吸収し、互いに喜び合い、互いに大切にし合える関係となるよう支援しています。

評価項目9の講評補足

## 調査対象

保育園を利用している84世帯を対象に調査を実施しました。在園児は113名で、兄弟姉妹が同園に通う世帯は年齢の一番低い子どもについて回答してもらいました。

## 調査方法

アンケート調査は、Webアンケートシステムを使用し、無記名方式で行いました。案内は施設を通じて利用者へ配付し、集計は評価機関が行いました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、施設に報告しました。

利用者総数	113
利用者家族総数(世帯)	84
共通評価項目による調査対象者数	84
共通評価項目による調査の有効回答者数	48
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	57.1%

## 利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が27人(56.3%)、「満足」が19人(39.6%)で「満足」以上の回答は合計46人(95.8%)でした。

自由意見には、「先生方の雰囲気が明るく、皆さんが子どもたちのことをよく覚えてくださっているので安心して預けられています」「毎日一日の様子を細かく教えていただくので、小さな変化でもすぐ気づくことができます」「職員の入れ替わりが少なく、園児たちの好きな事や苦手な事を把握、周知しています」「子どもも嫌がらず毎日楽しそうに通園していて安心です」「園全体が落ち着いた雰囲気で良いです」「子どもたちが裸足で過ごせる環境が良いです」「アプリが導入されて連絡がスムーズになりました」と园への信頼と感謝を寄せる声が多く見られました。

項目別に見ますと、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか」で97.9%、「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか」「施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか」で95.8%の保護者がそれぞれ「はい」と回答し、とても満足度が高い様子が読み取れます。

## 利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	47	1	0	0
<p>「はい」が97.9%、「どちらともいえない」が2.1%でした。</p> <p>自由意見には、「成長や発達に関して、小さな変化もしっかりと把握し、教えてくださるためとても助かっています」「活動を通して大人の人や友達との関わりにより心身の発達が促されているように感じています。今までできなかつたことが園に行くことによってできていることがあります」「縦割り保育が良いです」「年齢相応以上の心身が発達しています」「食育に力を入れています」などの声がありました。</p>				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	46	1	1	0
<p>「はい」が95.8%、「どちらともいえない」が2.1%、「いいえ」が2.1%でした。</p> <p>自由意見には、「子どもの反応をとても大切にし、さまざまな工夫や改善をしてくださっています」「園での活動を家に帰ってから楽しそうに話してくれます。子どもの興味や関心がある取り組みをされているのだと思います」「季節行事や絵本を展開しての活動が良いです」「園で遊んだ事を自宅でもまねています」「レストランごっこや動物との触れ合い、調理体験など子どもたちが楽しく参加できる行事がたくさんあります」などの声がありました。</p>				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	42	5	1	0
<p>「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が10.4%、「いいえ」が2.1%でした。</p> <p>自由意見には、「家で食べないものでも保育園の給食は全部食べているようです」「食材のお話や調理の体験などもしていただけてありがとうございます」「至る所に配慮が行き届いていると感じます。園のおかげでおいしく食べられるようになったものも多々あります」「栄養バランス、味付けもちょうど良いです」「食育をしてくださり、野菜嫌いだった子どもが自分の育てた野菜だからと、食べられるようになりました」などの声がありました。</p>				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	43	4	1	0
「はい」が89.6%、「どちらともいえない」が8.3%、「いいえ」が2.1%でした。 自由意見には、「動物との触れ合いやお芋掘りがあり良いです」「公園で木の実を拾って見せてくれたり、話を聞かせてくれるので、子どもも楽しんで参加していること思います」「外で遊ぶことが好きになりました」「自宅ではなかなかできない事を経験させていただいている」となどの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	41	4	0	3
「はい」が85.4%、「どちらともいえない」が8.3%、「無回答・非該当」が6.3%でした。 自由意見には、「とても配慮していただいており感謝しております」「急に土曜に預けないといけなくなった時も、嫌な顔せず預かってくださいました」となどの声がありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	38	9	0	1
「はい」が79.2%、「どちらともいえない」が18.8%、「無回答・非該当」が2.1%でした。 自由意見には、「とても迅速で丁寧かつ、しっかりと対応されていると思います」「とても配慮されていると思います。懇親会でも細かく説明してくださいますし、アプリなどでもお知らせしてください」「コロナ禍が明けて外遊びなども増え、熱中症対策をしてくれるようになったと思います」となどの声がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	44	4	0	0
「はい」が91.7%、「どちらともいえない」が8.3%でした。 自由意見には、「考えられていると思います。実際にアンケートをもとに保護者に合わせてお祭りの日程などを変更されるなどしていました」となどの声がありました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	42	6	0	0
「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が12.5%でした。 自由意見には、「変化や小さな気付きも話してください、こちらからも相談しやすい環境づくりをくださっています」「一人ひとりの子どものベースで保育をしてくださっているようで、お迎えの時に園での様子を話してくださったり気にかけて声をかけていただけたりするので安心です」「何かあった時にきちんと知らせてくれるので安心感があります」「経営層をはじめ、スタッフの方々もとても親身になってくださいます」となどの声がありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	46	2	0	0
「はい」が95.8%、「どちらともいえない」が4.2%でした。 自由意見には、「とても清潔で整理されています。子どもも自然と整理が身についています」「廊下などいつも綺麗だと思っているので、頻繁に清掃されているのだと思います」となどの声がありました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	42	6	0	0
「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が12.5%でした。 自由意見には、「とても丁寧かつ親しみやすい方々です」「全ての職員さんが本当によくしてくれています。安心して預けられ、働くことができます。ありがとうございます」「大体の職員の方は接しやすく、挨拶も笑顔でしてくれて印象がいいです」「保育に関わる皆さんの人柄が良いです」「先生方がみんな親切です」「他のクラスの先生も優しく接してくれます」「経営層はじめ職員の方がみなさんとても気さくで子どもの話をよくしてくださいます」となどの声がありました。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	47	1	0	0
<p>「はい」が97.9%、「どちらともいえない」が2.1%でした。 自由意見には、「発熱した時の子どものケアをしてくださるとともに、仕事をしている保護者の立場も考えて対応してくださり、とても助かりました」「迅速で丁寧な対応です」「発熱したらすぐではなく、しばらく様子を見ての連絡なのでとても助かります」などの声がありました。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	35	11	0	2
<p>「はい」が72.9%、「どちらともいえない」が22.9%、「無回答・非該当」が4.2%でした。 自由意見には、「状況及び対応を詳しく教えてください」「子どもと真摯に向き合っている様子を見て信頼できると感じています」などの声がありました。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	44	4	0	0
<p>「はい」が91.7%、「どちらともいえない」が8.3%でした。 自由意見には、「子ども一人ひとりに対して真剣に向き合われていると感じます」「がんばっていることに対してたくさん褒めてくれているのでそう感じます」「子どものやりたい事を尊重してくれているように思います」「個性を尊重し、いつしょに成長を喜んでくださる園だと思います」などの声がありました。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	42	5	0	1
<p>「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が10.4%、「無回答・非該当」が2.1%でした。 自由意見には、「登降園時間や、迎えの一覧表により、他の人の状況がわかつてしまう」という意見がありました。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	44	3	0	1
<p>「はい」が91.7%、「どちらともいえない」が6.3%、「無回答・非該当」が2.1%でした。 自由意見には、「懇親会やアプリで説明されています」「いつも細かく園での状況を教えていただき、日々安心して預けています」「聞けば教えてくれます」などの声がありました。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	38	8	0	2
<p>「はい」が79.2%、「どちらともいえない」が16.7%、「無回答・非該当」が4.2%でした。 自由意見には、「改善点はすぐに対応してくださり、その結果をいつも報告してくださっています。対応や報告も丁寧でアナウンスもしっかりされているように思います。対応が不可能なことも理由を説明してくださいます」「行事ごとにアンケートを取ってくださり意見を聞いてくれる姿勢があります」などの声がありました。</p>				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	38	7	2	1
<p>「はい」が79.2%、「どちらともいえない」が14.6%、「いいえ」が4.2%、「無回答・非該当」が2.1%でした。 自由意見には、「懇親会の時に説明してくださいました」などの声がありました。 その一方で、「今まで教えていただいたことがありませんでした」という意見もありました。</p>				



## **2.利用者調査結果**



# 福祉サービス第三者評価 利用者調査結果 (東京都)

《事業所名：かやの実保育園》

## 調査対象と方法

調査対象	保育園を利用している全世帯を対象に調査を実施しました。兄弟姉妹のいる世帯は1世帯として扱い、一番年齢の低いお子さんを対象として、回答してもらいました。	
調査方法	実施期間：2024年7月12日～2024年7月26日 アンケート調査は、Webアンケートシステムを使用し、無記名方式で行いました。案内は施設を通じて利用者へ配付し、集計は評価機関が行いました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、施設に報告しました。	
	利用者総数(在園児数)	113
	利用者家族総数(世帯)	84
	共通評価項目による調査対象者数	84
	共通評価項目による調査の有効回答者数	48
	利用者家族総数に対する回答者割合(%)	57.1%

## 本書の構成

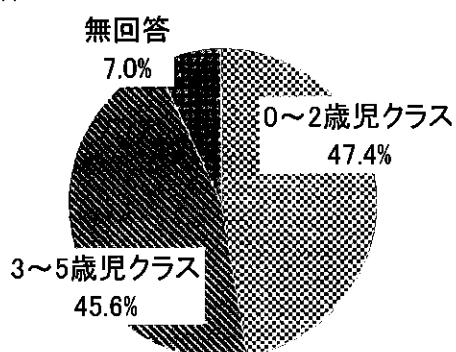
保育園を利用しているお子さんのクラス年齢の内訳	保育園を利用しているお子さんのクラス年齢の内訳表です。複数のお子さんがいらっしゃる場合は、該当する全部に回答をいただいているので、合計数と有効回答者数は必ずしも一致しません。
質問別及び総合的な感想について回答比率の比較グラフ	質問別及び総合的な感想についての回答比率帯グラフです。
質問別及び総合的な感想について回答者数の内訳表	質問別及び総合的な感想についての回答者数の内訳表です。
年齢層別の満足度回答比率の比較	年齢層別に各質問の「はい」「満足」以上の回答率を比較したレーダーチャートです。
東京都認可保育所2022年度平均との比較	2022年度に東京都認可保育所で実施した利用者調査の結果の平均との比較レーダーチャートです。
利用者アンケート調査・自由意見(質問別/[2][3][4])	質問別及び総合的な自由意見です。(各質問及び総合満足度への回答内容も示しています)
質問別総合満足度の割合	「各質問について回答した方が総合満足度でどのように回答したか」「総合満足度の各回答者が質問に対してどのように回答したか」を示すグラフです。各質問項目が総合満足にどのように影響しているかを示しています。
質問別回答結果の過去対比グラフ	質問別の過去の結果との比較グラフです。(過去に弊社で第三者評価または利用者に対するアンケート調査を実施している場合のみ)
総合満足度回答結果の過去対比グラフ	総合満足度の過去の結果との比較グラフです。(過去に弊社で第三者評価または利用者に対するアンケート調査を実施している場合のみ)
質問別回答結果の過去対比レーダーチャート	質問別の「はい」の回答率を過去の結果と比較したレーダーチャートです。(過去に弊社で第三者評価または利用者調査を実施している場合のみ)

### ■ 保育園を利用しているお子さんのクラス年齢の内訳

※複数のお子さんがいらっしゃる場合は、該当する全部について回答

0～2歳児クラス	27	47.4%
3～5歳児クラス	26	45.6%
無回答	4	7.0%
合計	57	100.0%

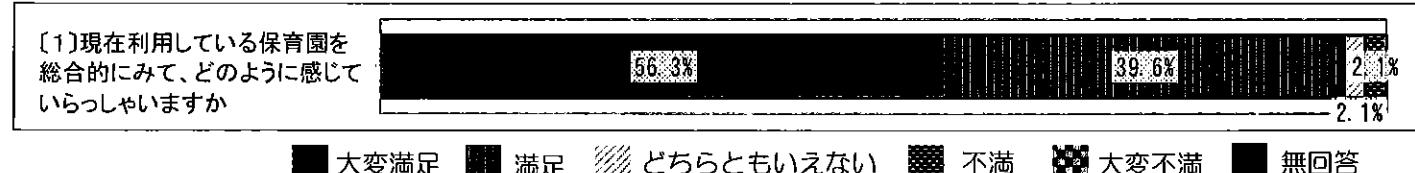
(単位:人)



## ■ 質問別及び総合的な感想について回答比率の比較グラフ



## 総合的な感想



■ 質問別及び総合的な感想について回答者数の内訳表

(単位:人)

		はい	どちらともいえない	いいえ	無回答/非該当	合計
保育園の理念・方針について	問1. 保育園運営の基本的な考え方(理念・方針)をご存じですか	41 85.4%	5 10.4%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%
毎日の保育サービスについて	問2. 園での活動は、子どもの心身の発達に役立っていると思いますか	47 97.9%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0% ★★★
	問3. 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか	46 95.8%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0% ★
	問4. 提供される食事・おやつは、子どもの状況に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	42 87.5%	5 10.4%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
	問5. 戸外遊びや行事などにより、子どもが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか	43 89.6%	4 8.3%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
	問6. 急な残業などで、あらかじめ取り決めた保育時間を変更したい場合、園は状況に合わせて柔軟に対応していると思いますか	41 85.4%	4 8.3%	0 0.0%	3 6.3%	48 100.0%
	問7. 安全対策が十分取られていると思いますか(事故、設備、感染症、災害、不審者対応、緊急時の対応など)	38 79.2%	9 18.8%	0 0.0%	1 2.1%	48 100.0% △
	問8. 行事日程の設定は、保護者の状況に十分配慮されているだと思いますか	44 91.7%	4 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%
	問9. 子どもの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか	42 87.5%	6 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%
	問10. 登園時に、子どもの家庭での様子について、園からの声かけはありますか	37 77.1%	8 16.7%	3 6.3%	0 0.0%	48 100.0% △△
	問11. お迎え時に、その日の子どもの状況が個別に伝えられていますか(担任以外からの伝達なども含む)	39 81.3%	7 14.6%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0% △△△
安心・快適性	問12. 保育園内は清潔で整理、整頓された空間になっていますか	46 95.8%	2 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0% ★
	問13. 職員の接遇・態度は適切だと思いますか	42 87.5%	6 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%
	問14. 保育中の発熱やケガなど、子どもの体調変化への対応(処置・連絡など)は、十分されていると思いますか	47 97.9%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0% ★★★
	問15. 子ども同士のトラブルがあった場合の職員の対応は、信頼できますか	35 72.9%	11 22.9%	0 0.0%	2 4.2%	48 100.0% △△△
個人の尊重	問16. あなたは、職員が子どもの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか	44 91.7%	4 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%
	問17. あなたや子どものプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を職員は守ってくれていると思いますか	42 87.5%	5 10.4%	0 0.0%	1 2.1%	48 100.0%
	問18. 子どもの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか	44 91.7%	3 6.3%	0 0.0%	1 2.1%	48 100.0%
不満・要望の対応	問19. 保育園は、不満に思ったことや要望を伝えたとき、きちんと対応していると思いますか	38 79.2%	8 16.7%	0 0.0%	2 4.2%	48 100.0% △
	問20. 要望や不満があったときに、職員以外の人(役所や第三者委員など)にも相談できることを、園はわかりやすく伝えてくれていますか	38 79.2%	7 14.6%	2 4.2%	1 2.1%	48 100.0% △

\*※★★★★、★★、★は「はい」回答比率の高い順に第三位までにマーキングされています。  
\*※△△△、△△、△は「はい」回答比率の低い順に第三位までにマーキングされています。

## 総合的な感想の回答内訳

大変満足	満足	どちらともいえない	不満	大変不満	無回答	合計
27	19	1	1	0	0	48
56.3%	39.6%	2.1%	2.1%	0.0%	0.0%	100.0%

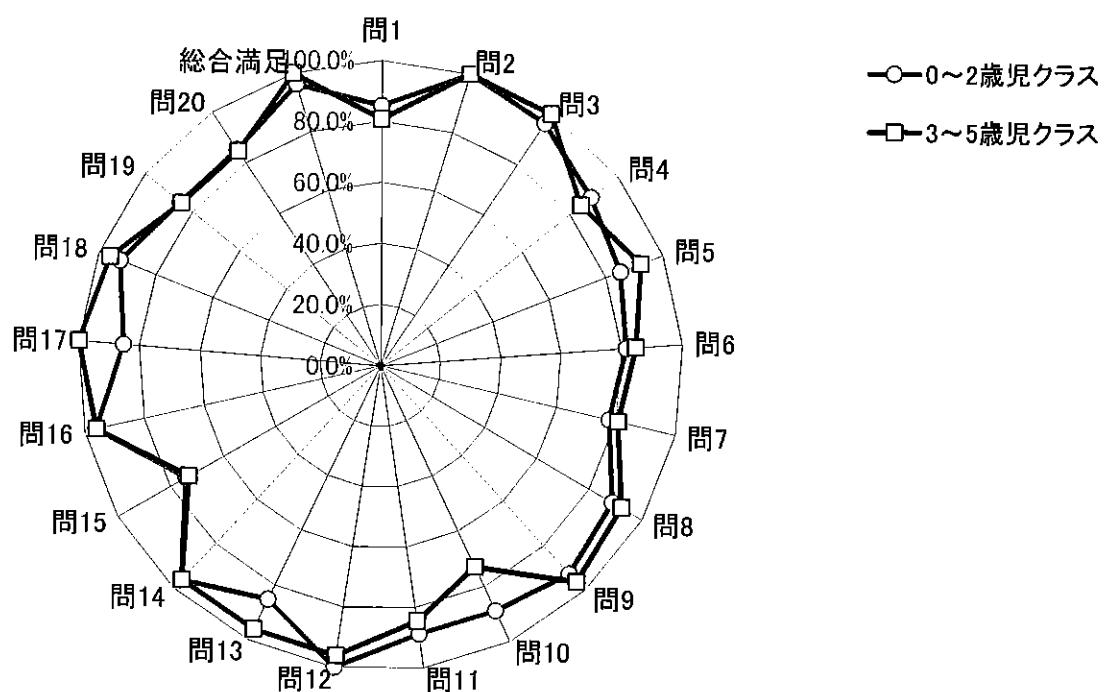
(単位:人)

## ■ 年齢層別満足度回答比率の比較

0~2歳児クラス、3~5歳児クラスの年齢層別の回答率を比較したレーダーチャートです。

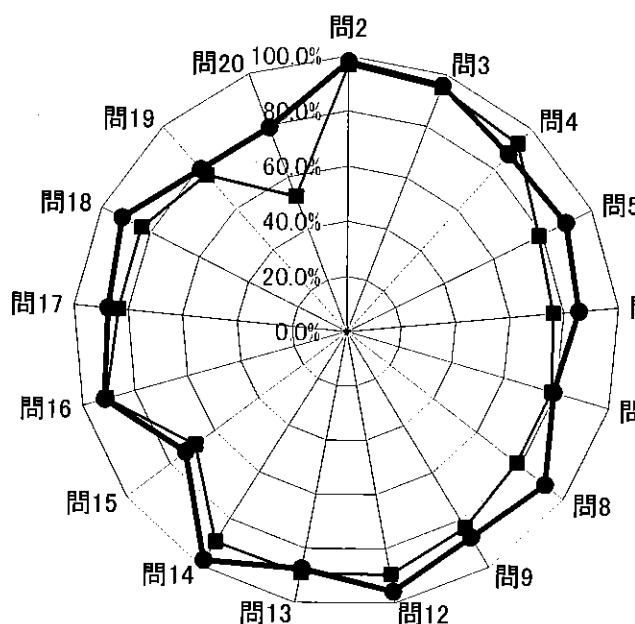
問1~20は「はい」と回答した人の比率です。

総合満足度は総合的な感想に「大変満足」「満足」と回答した人の合計の比率です。

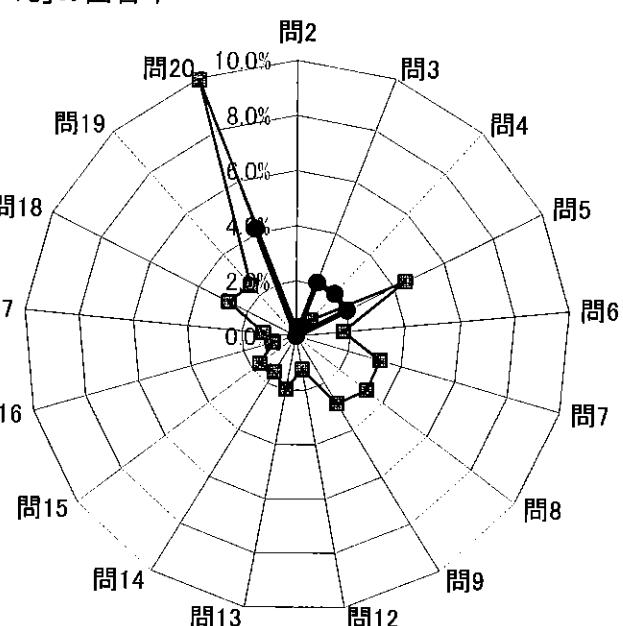


## ■ 東京都認可保育所2022年度平均との比較

「はい」の回答率



「いいえ」の回答率



—■—都2022年度認可保育所平均

●貴園

## ■ 利用者アンケート調査・質問別自由意見

自由記述については、基本的に原文そのままにしていますが、読みやすさに配慮して誤字・脱字などの修正を行っています。また、個人が特定できそうな文章は削除し、主旨が伝わるように修正を加えている部分があります。

自由意見の右側に記載している数字は、質問への回答内容です。それぞれ以下を示しています。

【 1…はい 2…どちらともいえない 3…いいえ 9…無回答/非該当 】

### 問1. 保育園運営の基本的な考え方(理念・方針)について

1 絵本やわらべうたを大切にしているところがとても良いと思います。	1
2 個人のマークを卒園するまで使用するのは良いと思う。ある程度の年齢になつたら字にも興味をもってもらいたいので記名を名前にしたら良いのではないかと思う。	2
3 自分達(親)の教育方針と合っています。	1

### 問2. 園での活動は、子どもの心身の発達に役立っていると思いますか

1 年少からの縦割り保育園は良いのですが、村が固定されると横(同じ年)の繋がりが薄くなるので一年に1回混せて分けると良いと感じます。	1
2 成長や発達に関して、小さな変化もしっかりと把握し、教えて下さるためとても助かっています。	1
3 活動を通して大人の人や友達との関わりにより心身の発達が促されているように感じています。今までできなかったことが園に行くことによってできていることがたくさんあります。	1
4 縦割り保育が良いです。	1
5 年齢相応以上の心身が発達しています。	1

### 問3. 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか

1 子供の反応をとても大切にし、様々な工夫や改善をして下さっています。	1
2 園での活動を家に帰ってから楽しそうに話してくれます。子どもの興味や関心がある取り組みをされているのだと思います。	1
3 季節行事や絵本を展開しての活動が良いです。	1
4 わらべ歌はあまり興味を持っているとは言えない。	3
5 園で遊んだ事を自宅でもまねています。	1

### 問4. 提供される食事・おやつは、子どもの状況に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか

1 至る所に配慮が行き届いていると感じます。園のおかげで「おいしい」と言って食べられるようになったものも多々あります。	1
2 食育に関しては特に力が入っている園だと思います。	1
3 家で食べないものでも保育園の給食は全部食べているようです。いつも園の帰りに今日の給食見て！全部食べたと自慢してくれます。保育園の栄養ある給食を食べてくれていることで家で少しくらい食べなくても大丈夫だろうと心の負担が軽くなっています。	1
4 量が少ないので、自由におかわりできると良い。特に乳児。	2
5 食材のお話や調理の体験などもしていただけてありがとうございます。	1
6 子どもによってあらかじめ量を調節されている。特別なメニューの時に減らされてしまったようでは残念そうにしていることがあった。給食費を支払っているのだから平等にしてほしい。	2
7 食事はやや少ないと思います。	3
8 食事は美味しく食べているそうです。おやつののにぎり率が高く子どもが飽きてきていると言っている。メニューに幅があるといいと思う。	2
9 栄養バランス、味付けもちょうど良いです。	1

問5. 戸外遊びや行事などにより、子どもが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか

1	外で遊ぶことが好きになりました。	1
2	コロナ禍が明けて、園がいろいろな取り組みをしてくれていると思う。助かっている。	1
3	公園で木の実を拾って見せてくれたり、話を聞かせてくれるので、子どもも楽しんで参加していることだと思います。	1
4	運動会は大した競技がなく、お遊戯会はない。かやのみっこ祭りは大した展示物があるわけでもないため、今後小学校にあがった際に「発表」する機会がない保育園で育ったため心配が残る。お遊戯会はやって欲しい。行事も少ないのに、先生達の手抜きが見える。	3
5	動物との触れ合いやお芋掘りがあり良い。	1
6	自宅ではなかなか出来ない事を経験させて頂いています。	1

問6. 急な残業などで、あらかじめ取り決めた保育時間を変更したい場合、園は状況に合わせて柔軟に対応していると思いますか

1	とても配慮していただいており感謝しております。	1
---	-------------------------	---

問7. 安全対策が十分取られていると思いますか(事故、設備、感染症、災害、不審者対応、緊急時の対応など)

1	玄関ドアをちゃんと閉めない人がいて、時々開いています。誰かが気づくまでずっと開いているなら、防犯対策になっていないと思います。	2
2	とても迅速で丁寧且つしっかりと対応されていると思います。	1
3	コロナ禍が明けて、外遊びなども増え、熱中症対策をしてくれるようになったと思う。一方で、感染症(?)や風邪、その他の病気をもらってくることが増えた。	2
4	とても配慮されていると思います。懇親会でも細かく説明してくださいますし、キッズノートなどでもお知らせくださいます。	1
5	集団で生活しているので仕方ないと思いますが感染症が発生した場合、すぐにひろがってしまうなど思います。	2
6	現状を知れる機会があまりないので、知りたい。	2

問8. 行事日程の設定は、保護者の状況に十分配慮されているだと思いますか

1	考えられていると思います。実際にアンケートをもとに保護者に合わせてお祭りの日程などを変更されていました。	1
2	懇談会がもう少し夕方の時間に設定されていると良い。	2
3	もう少し乳児クラスの参加できる行事や保育参観日など通常の様子が見られる機会があると良い。	1

問9. 子どもの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか

1	変化や小さな気付きも話して下さるため、こちらからも相談し易い環境づくりをして下さっています。	1
2	一人一人の子のペースで保育をしてくださっているようでお迎えの時に園での様子を話して下さったり気にかけて声をかけていただけるので安心です。	1
3	あまり話す機会がない。積極的に話かけてくれる職員と保護者に対して全く関心のない職員の差が大きい。	2
4	人間なので仕方ないが個人差がある。親身な先生はとても寄り添ってくれる。	2
5	きちんと見てくれていると感じる先生とそうでない先生の差が激しいため、保護者も言える先生と言えない先生がいる。	2

問10. 登園時に、子どもの家庭での様子について、園からの声かけはありますか

1	声をかけて下さったり病欠したあとは色々な方から声をかけていただけます。	1
---	-------------------------------------	---

2	基本的に登園時の声掛けはない。	3
3	お声掛けはいただけますが、登園時は忙しなかったり他の園児もいるので話ができる余裕がないことが多いです。	1

問11. お迎え時に、その日の子どもの状況が個別に伝えられていますか(担任以外からの伝達なども含む)

1	必ず行って下さいます。	1
2	担任の方や他のクラスの方からも様子を聞くことがあるので、皆さんで保育をしてくださっているように感じます。	1
3	連絡帳がないので、子どもの様子をもう少し教えてほしい。こちらから聞かないと、なかなか話をしてもらえないのです。	3
4	対応してくれる職員によってかなり差がある。全くない訳ではないが、ほとんどの場合何もなく挨拶だけで帰る事の方が多い。	2
5	毎日ではないがある時もある。	2
6	伝えてくださる先生もいます。何もお話がないときもありますが、子どもからも聞けるので現状で満足しています。	1
7	乳児期は教えてくれる先生もいるが幼児クラスになるとほぼない。簡単にでも教えてくれると助かる。	3
8	いつも細かく園での状況を教えて頂き、日々安心して預けています。	1
9	毎日は伝えいただけていないです。可能な限り教えていただきたいです。	2

問12. 保育園内は清潔で整理、整頓された空間になっていると思いますか

1	網戸に穴が空いたままだったり、網戸が貼られていないのに窓を開けていて室内に蚊が入っていのが気になります。蚊に刺されると腫れて跡が残るので、対策をしてほしい。	2
2	とても清潔で整理されています。子供も自然と整理が身についています。	1
3	廊下などいつも綺麗だなあと思っているので、頻繁に清掃されているのだと思います。	1

問13. 職員の接遇・態度は適切だと思いますか

1	大体の職員の方は接しやすく、挨拶も笑顔でしてくれて印象がいい。	1
2	とても丁寧且つ親しみやすい方々です。	1
3	お子さんを注意されているところを目撃したことがあるのですが、忙しい中なのに真剣に目を合わせ、ダメなことはダメと時間をかけてお話しられているところを見て、子どもと真摯に向き合ってくれていることを感じました。	1
4	目が合っていたり、こちらの姿が見えているはずなのに挨拶すらない場合や、職員同士での話に夢中になっていて保護者の存在に気づいていない事も多々あり気分はよくない。全体的に元気もない。もちろん全員ではないし気持ちの良い対応をしてくれる方もいますが、上記は大体いつも同じ方。	2
5	全ての職員さん本当によくしてくれています。安心して預けられ、働くことができています。ありがとうございます。	1
6	・はじめは職員なのか保護者の方なのか区別がつかなくて困った。顔を合わせても挨拶されないこともよくある。 ・いまだに職員の呼び方がわからない。	2

問14. 保育中の発熱やケガなど、子どもの体調変化への対応(処置・連絡など)は、十分されていると思いますか

1	迅速且つ丁寧な対応です。	1
2	発熱した時の子どものケアをしてくださいとともに、仕事をしている保護者の立場も考えて対応してください、とても助かりました。	1

問15. 子ども同士のトラブルがあった場合の職員の対応は、信頼できますか

1	何かされた子の親には話があるが、した子の親に話をしてるのか疑問に思う。	2
2	状況及び対応を詳しく教えて下さいます。	1
3	子どもと真摯に向き合っている様子を見て信頼できると感じています。	1
4	話をする機会がそもそもあまりないので、何があったのかやどんな対応をしてくれているのかも分からず。	2
5	トラブルに対して、やられてしまった時は状況説明があるが、やってしまった時は特になし。	2

問16. あなたは、職員が子どもの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか

1	とても丁寧な対応です。	1
2	子ども一人一人に対して真剣に向き合われていると感じます。	1
3	個人差があるように感じる。	2
4	先生によって差があるように見える。	2
5	がんばっていることに対してたくさん褒めてくれているのでそう感じる。	1

問17. あなたや子どものプライバシー(他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと)を職員は守ってくれていると思いますか

1	登降園時間や、迎えの一覧表により、他の人の状況がわかつてしまう。	2
---	----------------------------------	---

問18. 子どもの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか

1	懇親会やキッズノートで説明されています。	1
2	聞けば教えてくれる。	1
3	具体的にどんな流れで生活しているのか気になる。	2

問19. 保育園は、不満に思ったことや要望を伝えたとき、きちんと対応していると思いますか

1	運動会の会場が非常に暑かった。来年は、もっと施設側と連携して、対策して欲しい。祖父母も来れるようになったので、より一層の配慮が必要だと思った。施設や保育園では対応できないのであれば、保護者会や一個人・一家庭から寄付をするなどでもいいので、対策したい。保育園が寄附金受領証明書を発行してくれるならふるさと納税ではなく、保育園へ寄付したい。	1
2	改善点はすぐに対応してくださりその結果をいつも報告してくださっています。対応や報告も丁寧でアナウンスもしっかりされているように思います。対応が不可能なことも理由を説明してくださいます。	1
3	不満を直接伝える場がない。伝えたところで変わるのか?とも思ったりする。	2
4	職員間で伝達されていない時があった。	2

問20. 要望や不満があったときに、職員以外の人(役所や第三者委員など)にも相談できることを、園はわかりやすく伝えてくれていますか

1	懇親会の時に説明して下さいました。	1
2	伝えてはくれるが、わざわざ役所まで相談に…とは思わない。	1
3	今まで教えていただいたことがありませんでした。	2

## ■ 利用者アンケート調査・[2][3][4] 自由意見

自由記述については、基本的に原文そのままにしていますが、読みやすさに配慮して誤字・脱字などの修正を行っています。また、個人が特定できそうな文章は削除し、主旨が伝わるように修正を加えている部分があります。

自由意見の右側に記載している数字は、総合的な満足度への回答内容です。それぞれ以下を示しています。

【 1…大満足 2…満足 3…どちらともいえない 4…不満 5…大不満 9…無回答 】

### [2] 日頃お感じになっている保育園に対するご意見・ご要望など、ご自由にお書きください。

1	とても素敵な園です。	1
2	駐輪場に屋根をつけてもらえるとありがたい。	1
3	急に土曜に預けないといけなくなった時も、嫌な顔せず預かってくださり、発熱も出たらすぐではなく、しばらく様子を見ての連絡なのでとても助かります。	1
4	春先の話。長袖で登園した際、昼間に汗ばむくらいの気温に上がっていたので、さすがに半袖に着替えているかと思ったら、園の様子の写真を見ると長袖のままだった事に驚いた。	1
5	とてもよく見ていただいています。アプリが導入されて連絡がスムーズになりありがとうございます。	1
6	先生によって、子どもの様子が、分かる時と、わからない時がある。	2
7	子どもにとってはこの保育園は合っていると思うが、職員の対応色々で改善した方が良いと思う点は多々ある。	2
8	保育や職員の対応には概ね満足しています。子どもも楽しんでいるようです。保育園の思い出として写真など購入できる機会もあると嬉しい。保護者も参加できる行事、乳児クラスも参加できる行事や参観日などあると嬉しいです。	2
9	食後に果物を出してもらえるとよいと思います。	1
10	先生方が明るく穏やかで、園児へ細やかなケアをしてくれないと感じ、信頼しています。	2
11	いつも大変お世話になっています。感染症などに子供が罹った時に病院に行かなければいけないことは十分理解していますが、病院の先生が検査後に確定診断をしてくれないことが度々あります。色々な可能性があることもわかりますが、そうなった時はそのまま保育園に伝えたら良いのでしょうか？	2
12	年齢が上がってくると保育園での様子がなかなか分からない(食事の状況や排便等)ので、教えていただける方法があれば幸いですが、先生方も少ない人数で大勢見て頂いているので、何か良い方法があればありがたいです。	1

### [3] この保育園の良いと思う点についてお書きください。

1	毎日1日の様子を細かく教えていただくので、ちっちゃな変化でもすぐ気づくことができる事。	2
2	担当ではない職員の方も子供の名前を覚えてくれていて嬉しい。	2
3	遊びや食、生活に至るまで古き良き物を大切にしながら個性を尊重し、一緒に成長を喜んで下さる園だと思います。経営層をはじめ、スタッフの方々もとても親身になって下さる素敵なお園です。	1
4	クラスはもちろん、園全体で子供を見ていてくれている感じがする。働く先生たちの事も色々配慮されている。何かあった時にちゃんと知らせてくれるので安心感がある。	2
5	食育に力を入れていること。自宅では食事を残すことがよくありますが保育園では滅多にないです。また、職員の入れ替わりが少なく、園児たちの好きな事や苦手な事を把握、周知している。	1
6	保育に関わる皆さんの人柄。子どもたちが裸足で過ごせる環境。	2
7	遊び込める環境が整っている。子どもに無理のない(教え込みでない)行事。	1
8	経営層はじめ職員の方がみなさんとても気さくで子どもの話をよくしてくださいますし、よく見てく れていることを実感しています。子どもも嫌がらず毎日楽しそうに通園していて私も安心して働けます。私自身忘れ物をしてしまったり、不足な点があるのですが優しく対応してくださり、いつも感謝でいっぱいです。	1

9	園の催し物の体制を他園の友達にお話しすると、本当に素晴らしい保育園だね、といわれます。まず、園児に対しての先生の割合率が最低ではなく高いですし、食育も大切にしてくださっているので、野菜嫌いの子供が自分の育てた野菜だからと、ちゃんと食べられるようになりました。平日は4時半までならお仕事でなくても預けていいといつてくださるので、普段子供がいたらできないことが済ませますし、働く親にとってはとっても良い環境です。	1
10	わらべうたや暗唱など、他の園のお子さんより色々知っている。知育ぬりえや知育玩具などたくさんある。	1
11	・先生達が穏やかな所。 ・園全体が落ち着いた雰囲気である所。	2
12	どの先生も子供の名前を呼んでよく声をかけて下さいます。子供のやりたい事を尊重してくれているように思います。行事ごとにアンケートを取ってくださり意見を聞いてくれる姿勢があります。	1
13	先生方が仲良さそう。	2
14	・他クラスの先生も優しく接してくれる。 ・食育活動が充実している。	2
15	先生たちはとても熱心です。	1
16	昔遊び(わらべうたや太鼓も)を教えてくれるところや縦割り保育によって異年齢のこどもたちとのかかわりがあるところ。	2
17	レストランごっこや動物との触れ合い、食育(調理体験)など子供達が楽しく参加できる行事がたくさんあること。	2
18	先生がよく見てくれている。	1
19	行事にしましても、先生をはじめ、園児の皆さん、保護者の皆さん、クラスを超えて1人1人への拍手や応援などがあったり、仲良くなれたり、いつも先生方が優しく迎えてくださったり少しの変化も気づいてくださったり、温かみのあるとでも素敵な園だと思います。	1
20	アプリで行事の連絡、活動で必要な持ち物など、こまかに知らせててくれて感謝しています。	2
21	発達に良い珍しいおもちゃもたくさんあり、廊下には季節ごとその時期にあったモチーフの手作りの作品が飾られていて毎回子供と楽しみに見ています。先生方も優しく熱心な方が多く安心して預けられています。	1
22	先生方がみんな親切。	2
23	全部が良いです。	1
24	先生方の雰囲気が明るく、皆さんが子どもたちのことをよく覚えて下さっているので安心して預けられています。給食も様々なメニューを提供いただき、子どもも満足しているのでありがとうございます。	1

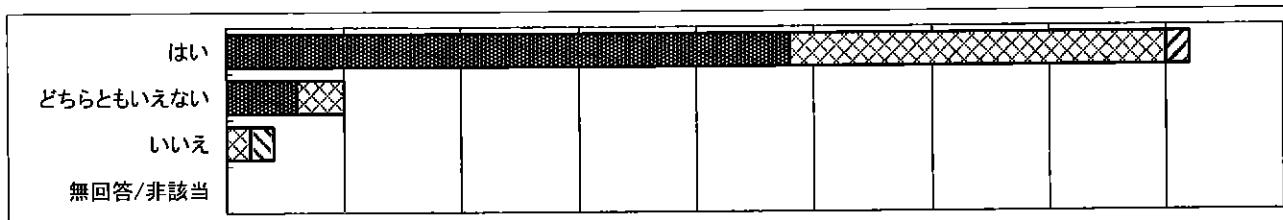
[4]今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書きください。

1	質問に答えることによって改めて満足の保育園だと気づきました。改めて感謝する機会となりました。	1
2	もっとこのような調査の頻度が高くなてもいいのでは?伝えたくても伝えられず、モヤモヤする保護者も多いと思うので。	2
3	役に立ちました。	1

## ■質問別総合満足度の割合

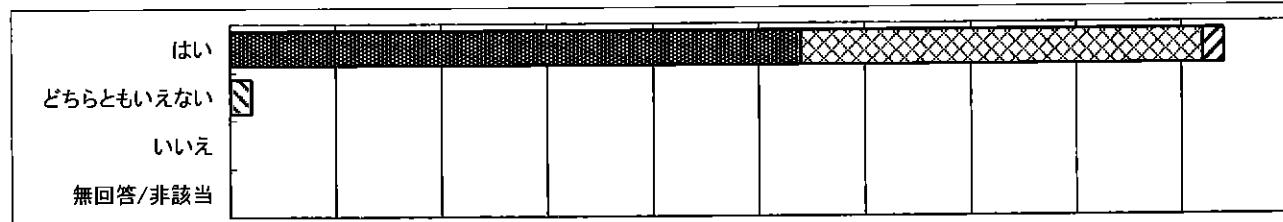
問1. 保育園運営の基本的な考え方（理念・方針）をご存じですか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	24	16	1	0	0	0
どちらともいえない	3	2	0	0	0	0
いいえ	0	1	0	1	0	0
無回答/非該当	0	0	0	0	0	0



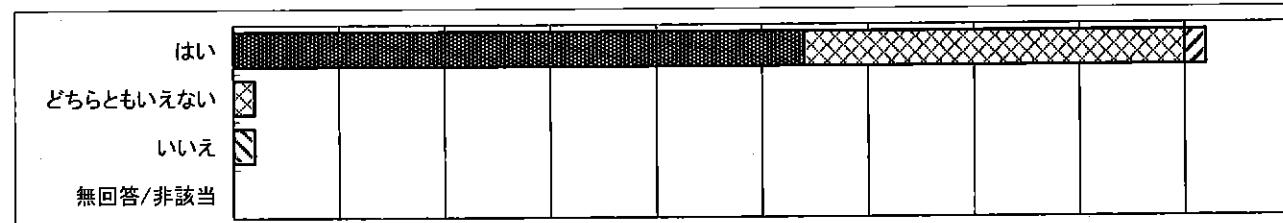
問2. 園での活動は、子どもの心身の発達に役立っていると思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	27	19	1	0	0	0
どちらともいえない	0	0	0	1	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/非該当	0	0	0	0	0	0



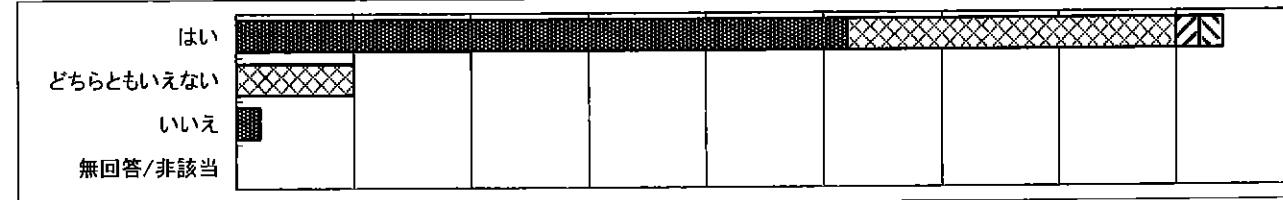
問3. 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	27	18	1	0	0	0
どちらともいえない	0	1	0	0	0	0
いいえ	0	0	0	1	0	0
無回答/非該当	0	0	0	0	0	0



問4. 提供される食事・おやつは、子どもの状況に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか

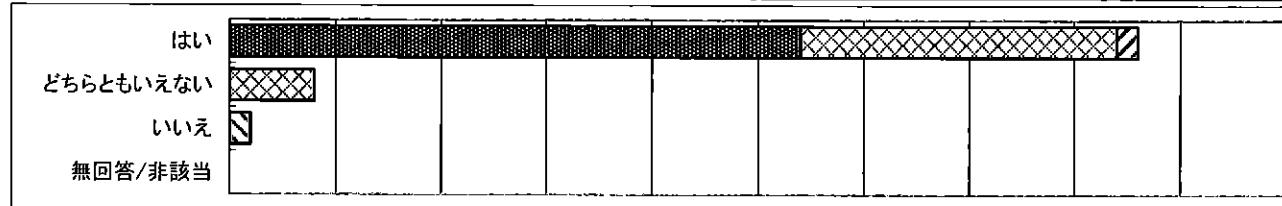
	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	26	14	1	1	0	0
どちらともいえない	0	5	0	0	0	0
いいえ	1	0	0	0	0	0
無回答/非該当	0	0	0	0	0	0



■ 大変満足 満足 どちらともいえない 不満 大変不満 無回答

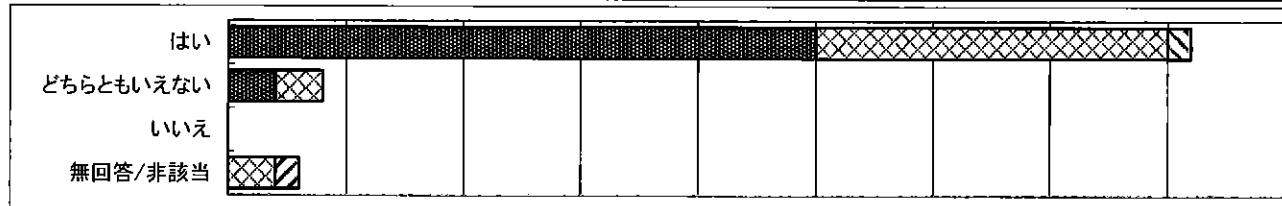
問5. 戸外遊びや行事などにより、子どもが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	27	15	1	0	0	0
どちらともいえない	0	4	0	0	0	0
いいえ	0	0	0	1	0	0
無回答/非該当	0	0	0	0	0	0



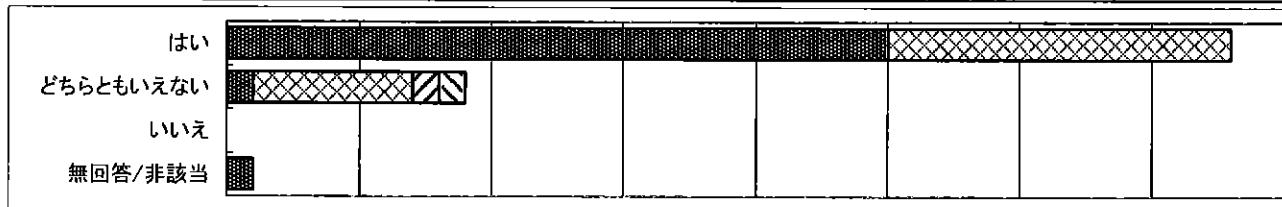
問6. 急な残業などで、あらかじめ取り決めた保育時間を変更したい場合、園は状況に合わせて柔軟に対応していると思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	25	15	0	1	0	0
どちらともいえない	2	2	0	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/非該当	0	2	1	0	0	0



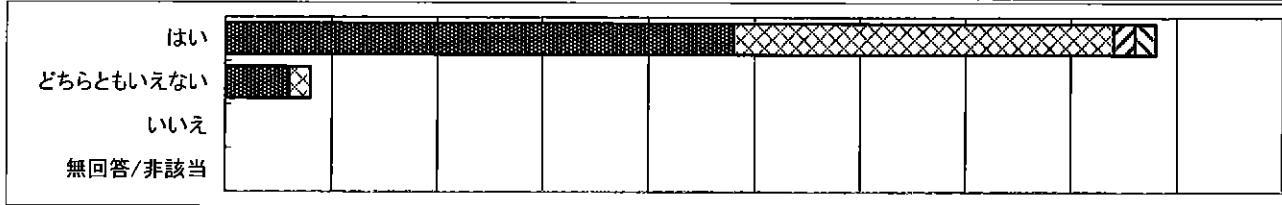
問7. 安全対策が十分取られていると思いますか（事故、設備、感染症、災害、不審者対応、緊急時の対応など）

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	25	13	0	0	0	0
どちらともいえない	1	6	1	1	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/非該当	1	0	0	0	0	0



問8. 行事日程の設定は、保護者の状況に十分配慮されていると思いますか

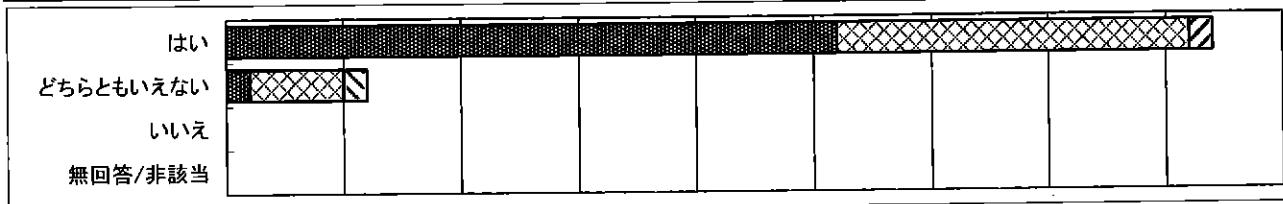
	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	24	18	1	1	0	0
どちらともいえない	3	1	0	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/非該当	0	0	0	0	0	0



■ 大変満足 △ 満足 ▲ どちらともいえない △ 不満 ■ 大変不満 △ 無回答

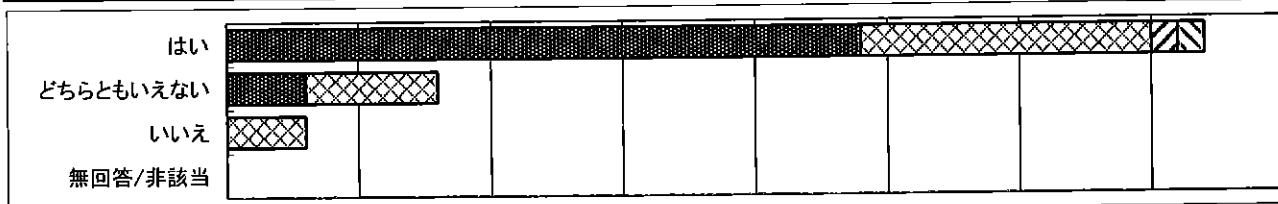
問9. 子どもの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	26	15	1	0	0	0
どちらともいえない	1	4	0	1	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/非該当	0	0	0	0	0	0



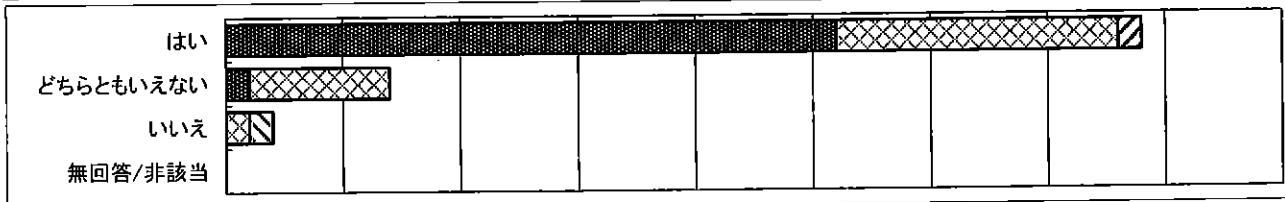
問10. 登園時に、子どもの家庭での様子について、園からの声かけはありますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	24	11	1	1	0	0
どちらともいえない	3	5	0	0	0	0
いいえ	0	3	0	0	0	0
無回答/非該当	0	0	0	0	0	0



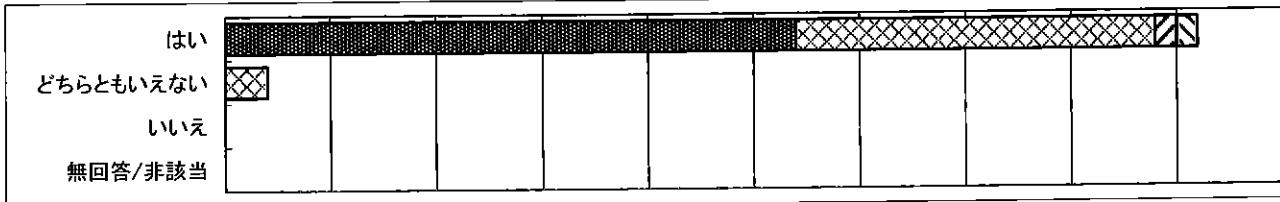
問11. お迎え時に、その日の子どもの状況が個別に伝えられていますか（担任以外からの伝達なども含む）

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	26	12	1	0	0	0
どちらともいえない	1	6	0	0	0	0
いいえ	0	1	0	1	0	0
無回答/非該当	0	0	0	0	0	0



問12. 保育園内は清潔で整理、整頓された空間になっていると思いますか

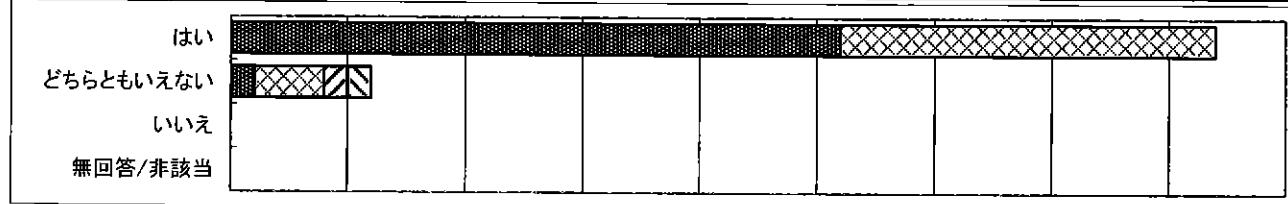
	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	27	17	1	1	0	0
どちらともいえない	0	2	0	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/非該当	0	0	0	0	0	0



■ 大変満足 ☒ 満足 ☓ どちらともいえない ☷ 不満 ☴ 大変不満 ☽ 無回答

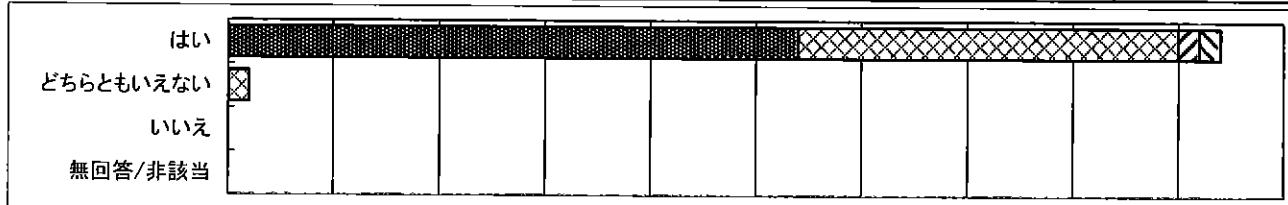
問13. 職員の接遇・態度は適切だと思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	26	16	0	0	0	0
どちらともいえない	1	3	1	1	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/非該当	0	0	0	0	0	0



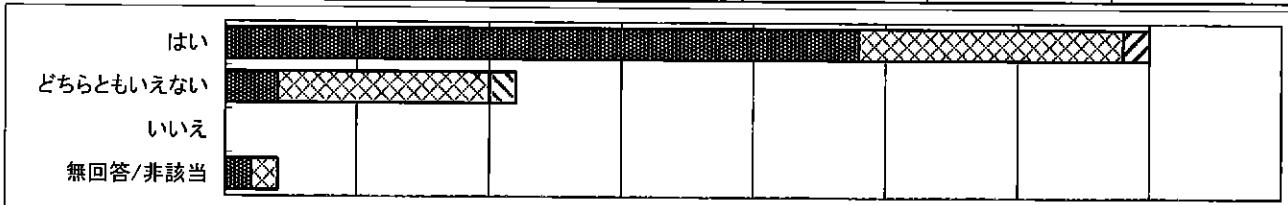
問14. 保育中の発熱やケガなど、子どもの体調変化への対応（処置・連絡など）は、十分されていると思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	27	18	1	1	0	0
どちらともいえない	0	1	0	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/非該当	0	0	0	0	0	0



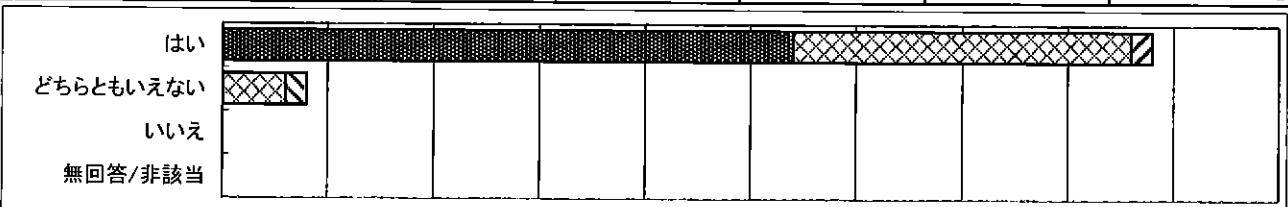
問15. 子ども同士のトラブルがあった場合の職員の対応は、信頼できますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	24	10	1	0	0	0
どちらともいえない	2	8	0	1	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/非該当	1	1	0	0	0	0



問16. あなたは、職員が子どもの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか

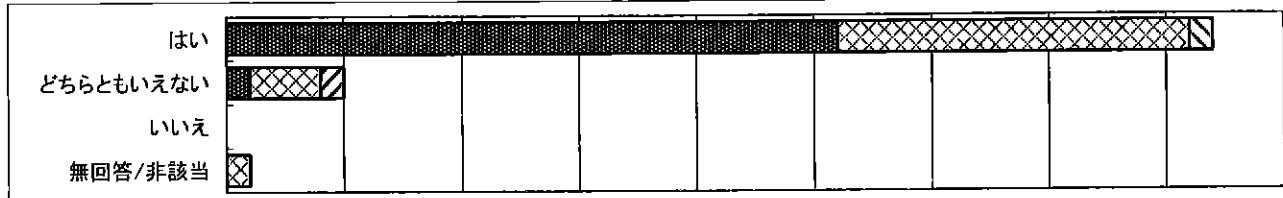
	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	27	16	1	0	0	0
どちらともいえない	0	3	0	1	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/非該当	0	0	0	0	0	0



■ 大変満足 ✕ 満足 // どちらともいえない // 不満 ■ 大変不満 ■ 無回答

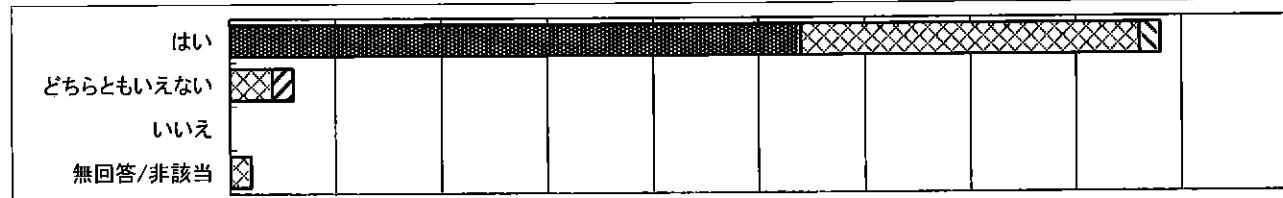
問17. あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	26	15	0	1	0	0
どちらともいえない	1	3	1	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/非該当	0	1	0	0	0	0



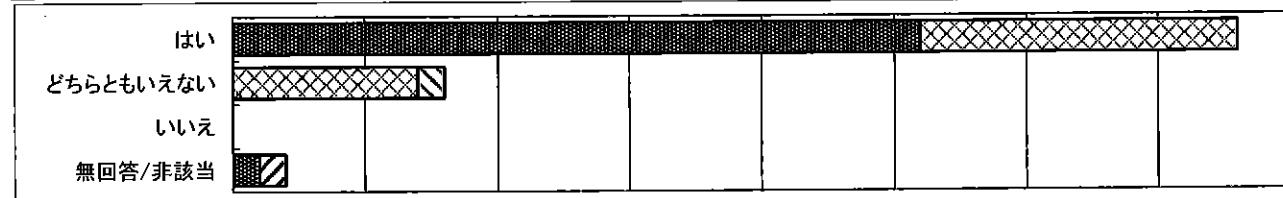
問18. 子どもの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	27	16	0	1	0	0
どちらともいえない	0	2	1	0	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/非該当	0	1	0	0	0	0



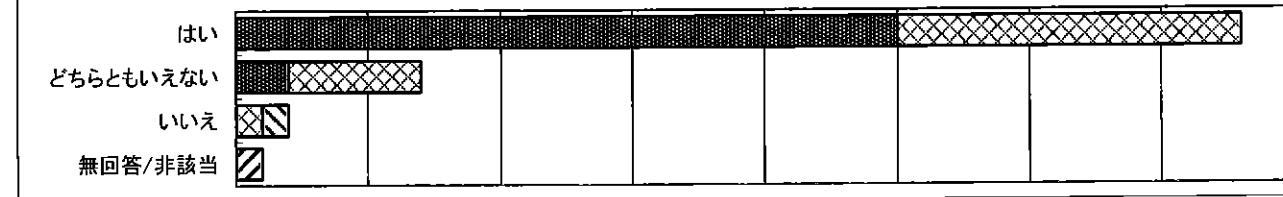
問19. 保育園は、不満に思ったことや要望を伝えたとき、きちんと対応していると思いますか

	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	26	12	0	0	0	0
どちらともいえない	0	7	0	1	0	0
いいえ	0	0	0	0	0	0
無回答/非該当	1	0	1	0	0	0



問20. 要望や不満があったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることを、園はわかりやすく伝えてくれていますか

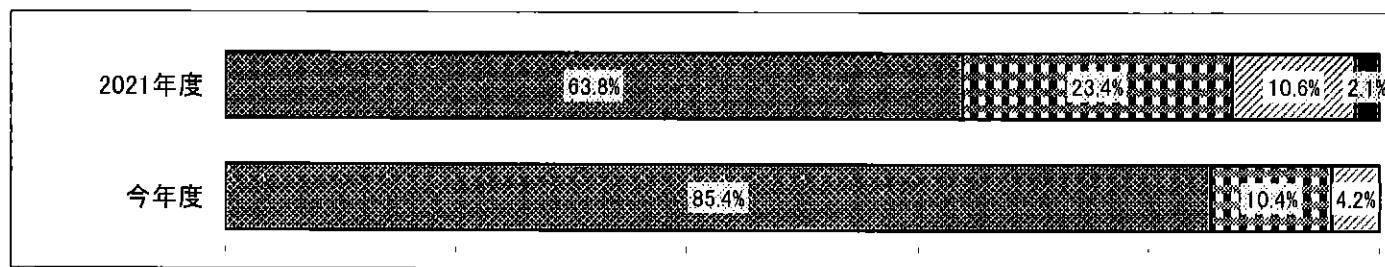
	大満足	満足	どちらともいえない	不満	大不満	無回答
はい	25	13	0	0	0	0
どちらともいえない	2	5	0	0	0	0
いいえ	0	1	0	1	0	0
無回答/非該当	0	0	1	0	0	0



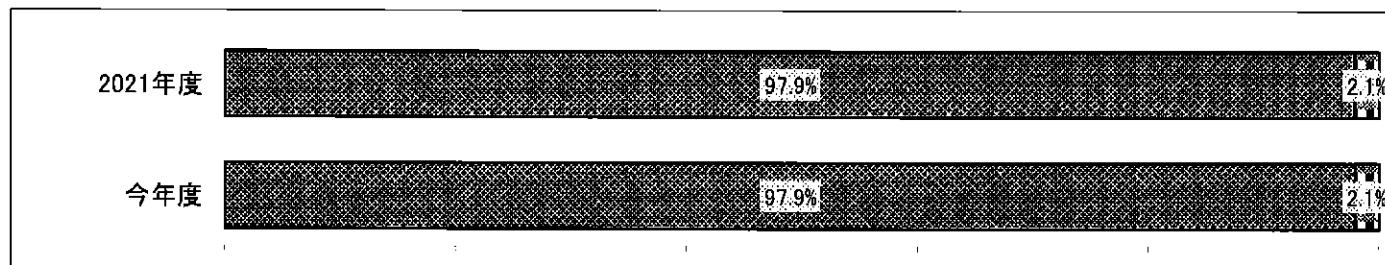
■ 大変満足 ☘ 満足 ⚡ どちらともいえない ⚡ 不満 ⚡ 大変不満 ⚡ 無回答

## ■ 質問別回答結果の過去対比グラフ

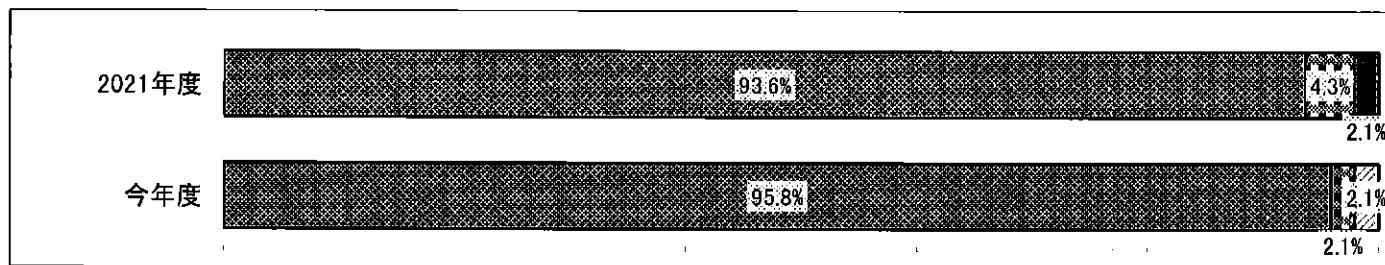
問1. 保育園運営の基本的な考え方（理念・方針）をご存じですか



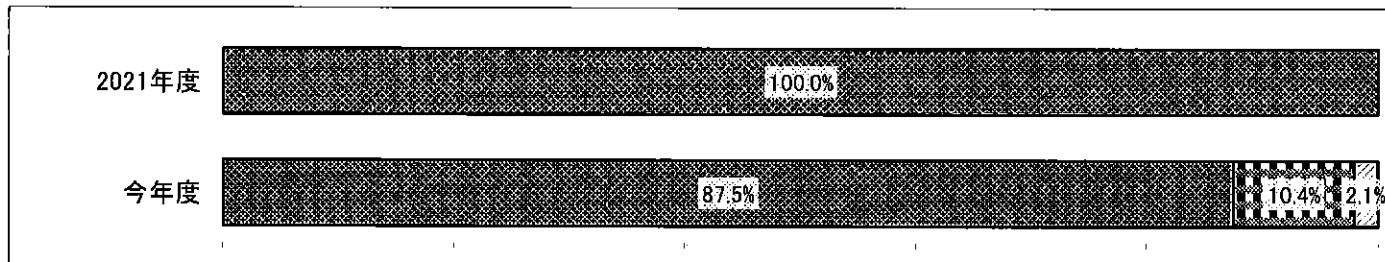
問2. 園での活動は、子どもの心身の発達に役立っていると思いますか



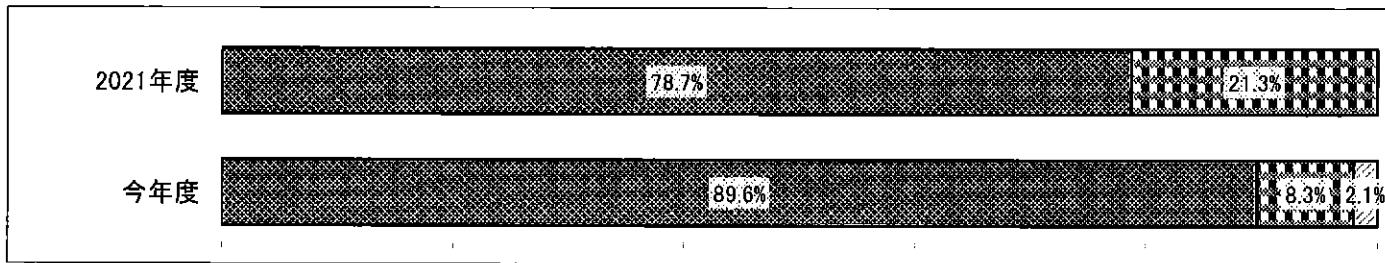
問3. 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるものになっていると思いますか



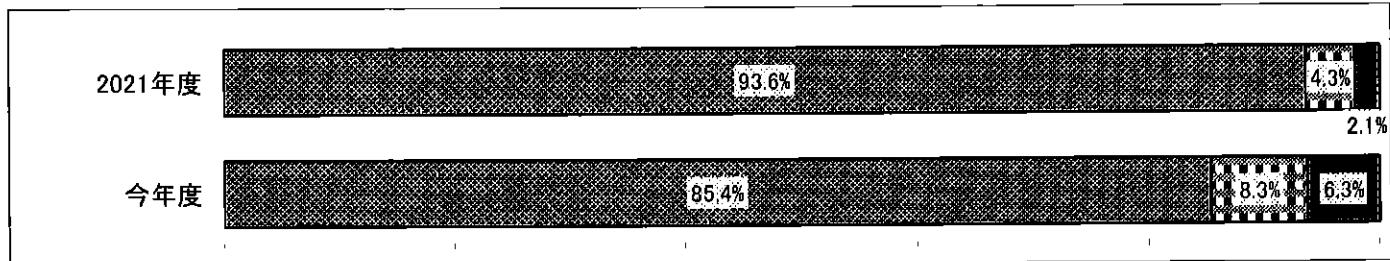
問4. 提供される食事・おやつは、子どもの状況に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか



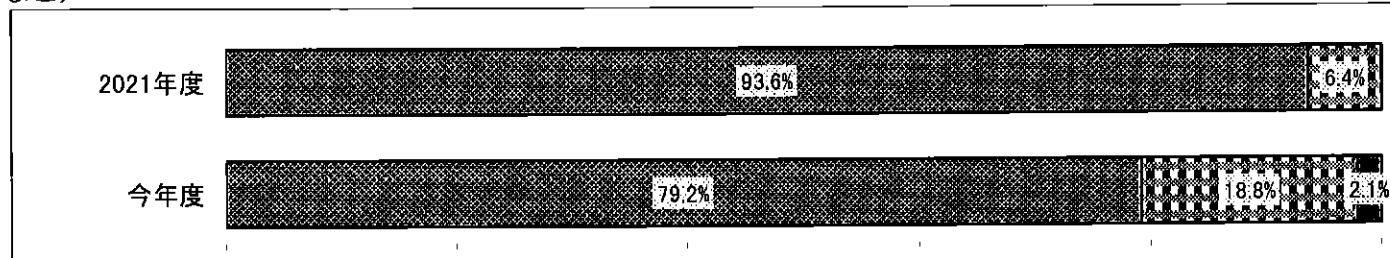
問5. 戸外遊びや行事などにより、子どもが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思いますか



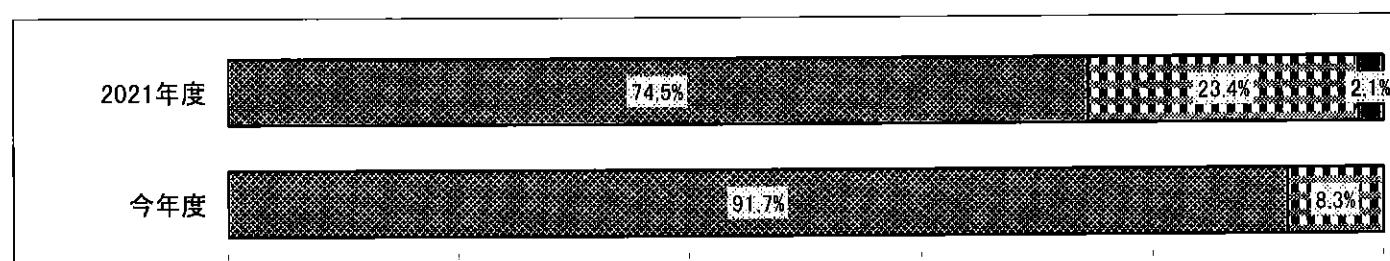
問6. 急な残業などで、あらかじめ取り決めた保育時間を変更したい場合、園は状況に合わせて柔軟に対応していると思いますか



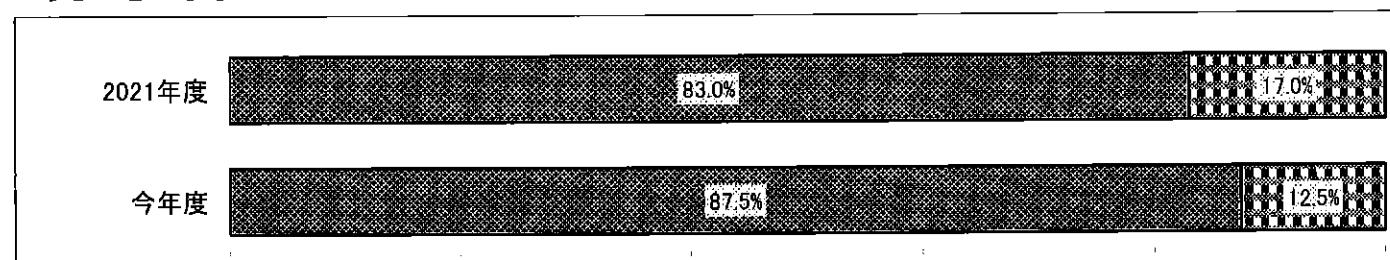
問7. 安全対策が十分取られていると思いますか（事故、設備、感染症、災害、不審者対応、緊急時の対応など）



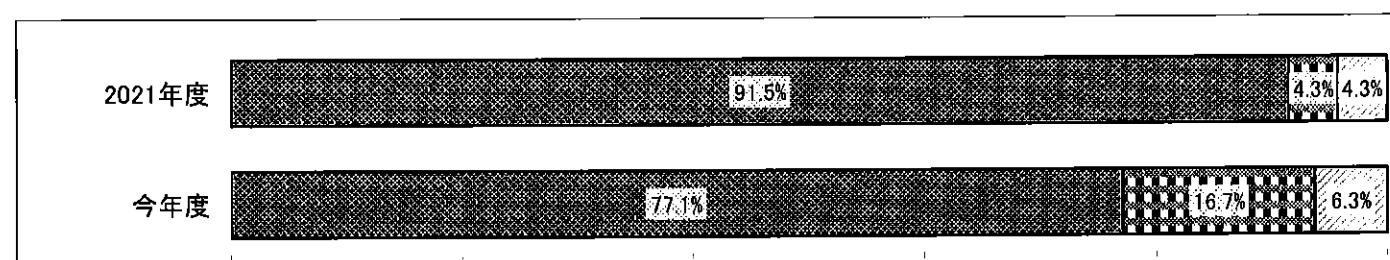
問8. 行事日程の設定は、保護者の状況に十分配慮されていると思いますか



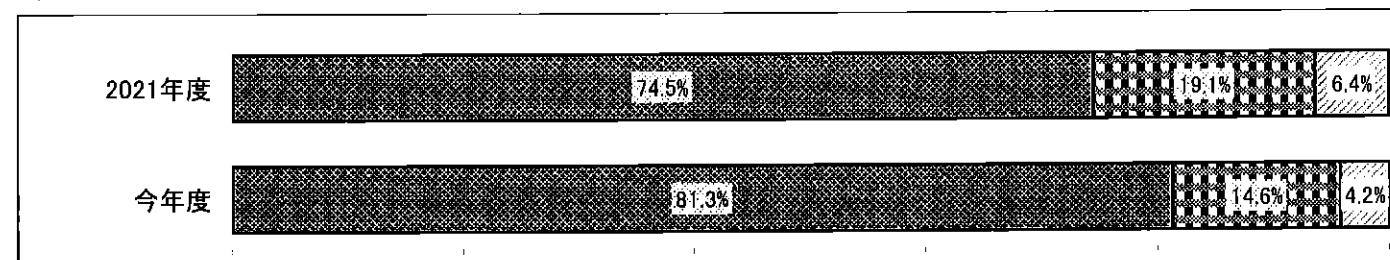
問9. 子どもの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係があると思いますか



問10. 登園時に、子どもの家庭での様子について、園からの声かけはありますか

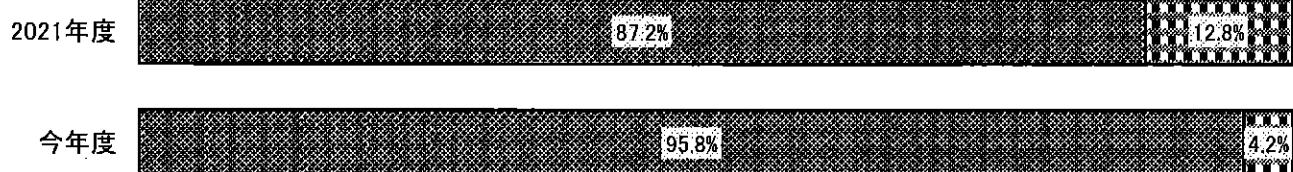


問11. お迎え時に、その日の子どもの状況が個別に伝えられていますか（担任以外からの伝達なども含む）

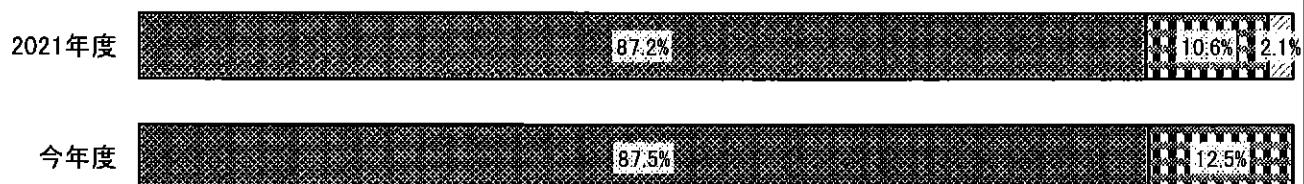


■ はい □ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答/非該当

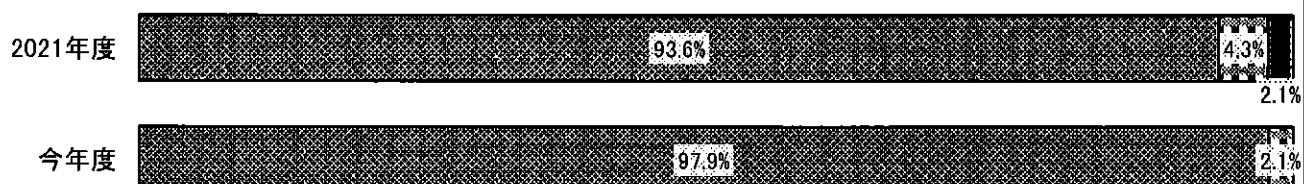
問12. 保育園内は清潔で整理、整頓された空間になっていると思いますか



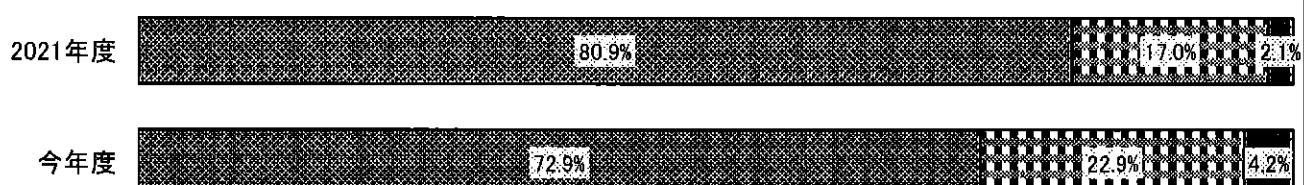
問13. 職員の接遇・態度は適切だと思いますか



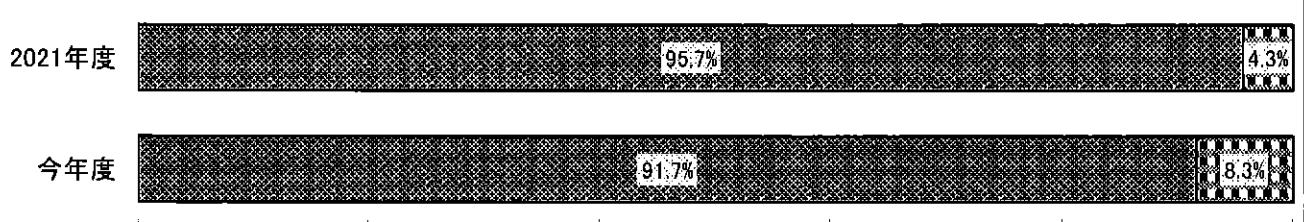
問14. 保育中の発熱やケガなど、子どもの体調変化への対応（処置・連絡など）は、十分されていると思いますか



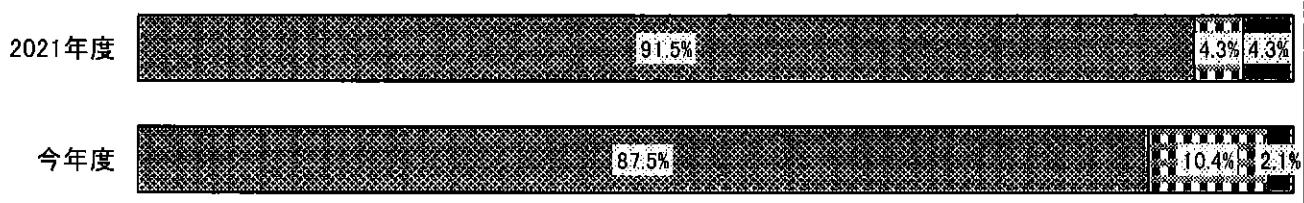
問15. 子ども同士のトラブルがあった場合の職員の対応は、信頼できますか



問16. あなたは、職員が子どもの気持ちを大切にしながら対応してくれていると思いますか



問17. あなたや子どものプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれていると思いますか



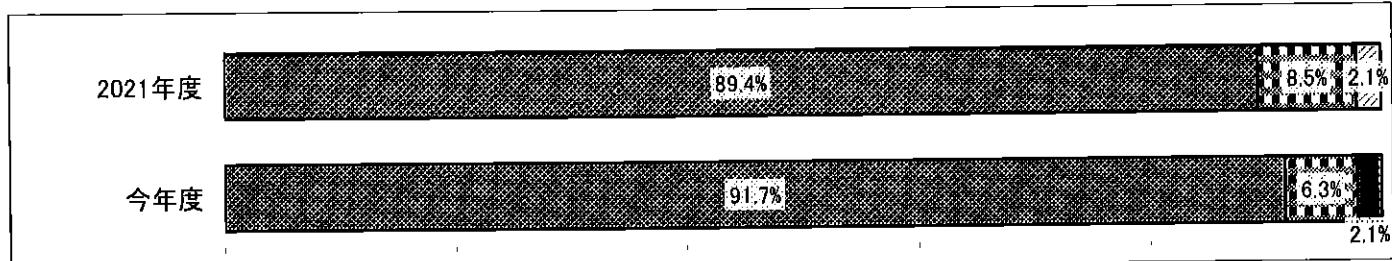
■ はい

▢ どちらともいえない

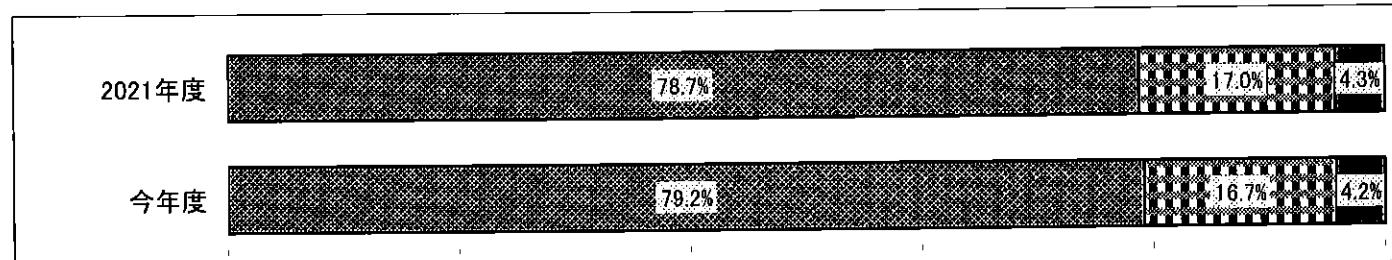
▨ いいえ

■ 無回答/非該当

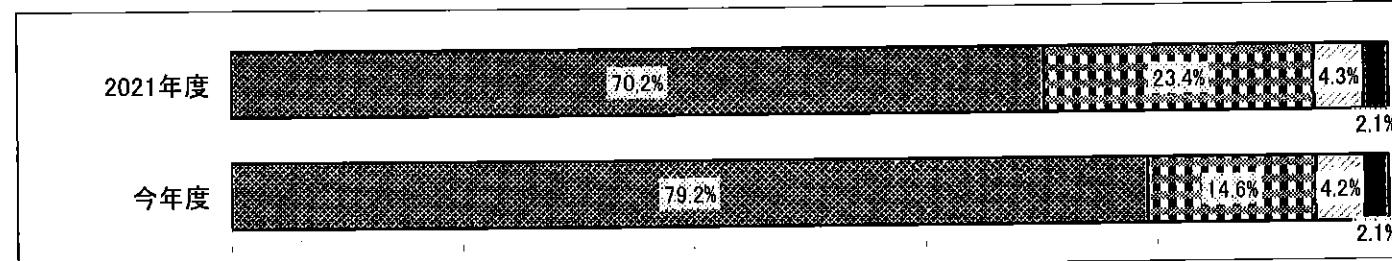
問18. 子どもの保育内容に関する説明は、わかりやすいと思いますか



問19. 保育園は、不満に思ったことや要望を伝えたとき、きちんと対応していると思いますか



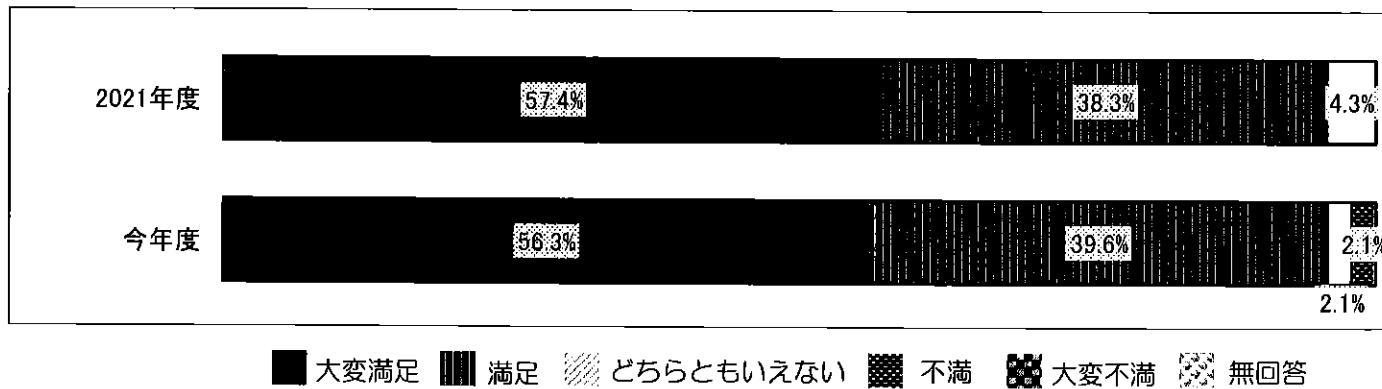
問20. 要望や不満があったときに、職員以外の人（役所や第三者委員など）にも相談できることを、園はわかりやすく伝えてくれていますか



■ はい ■ どちらともいえない ■ いいえ ■ 無回答/非該当

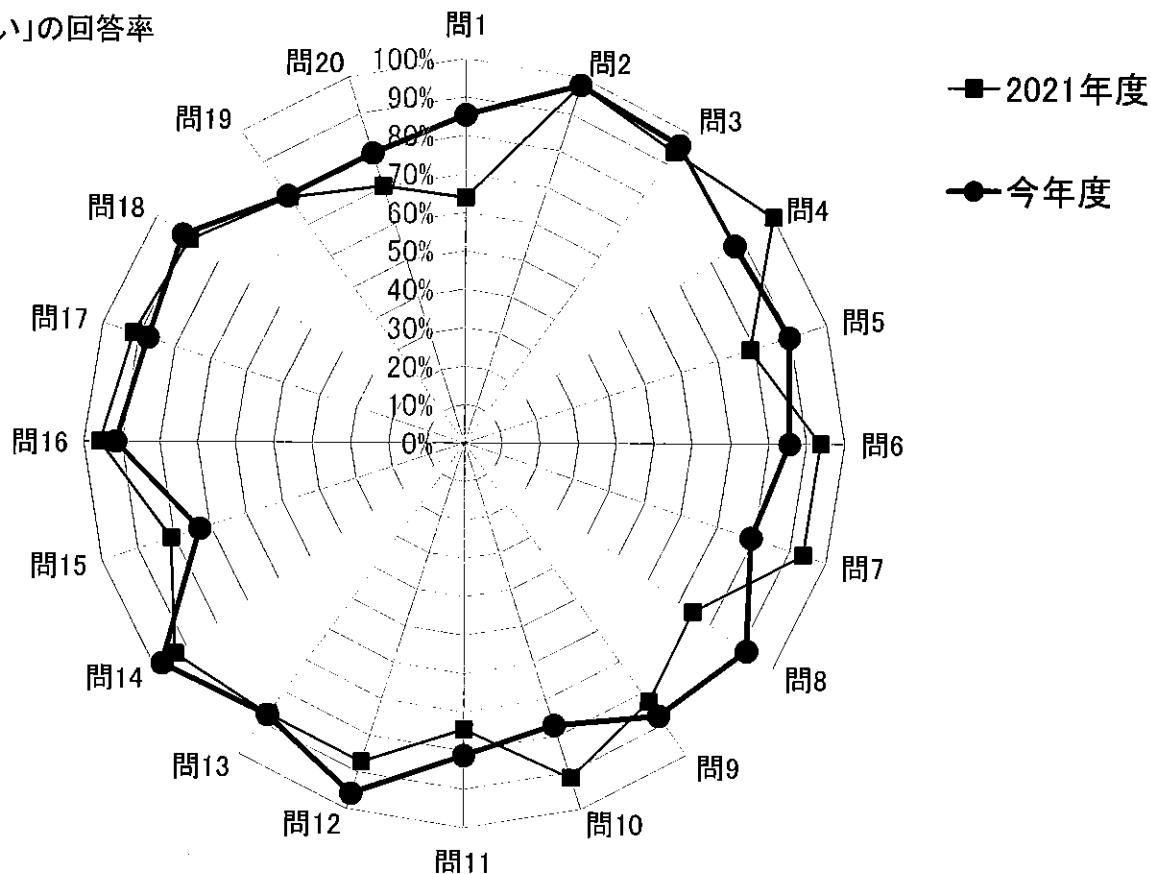
## ■ 総合満足度回答結果の過去対比グラフ

現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じいらっしゃいますか。(過去比)



## ■ 質問別回答結果の過去対比レーダーチャート

### ■ 「はい」の回答率



問1. 保育園運営の基本的な考え方（理念・方針）について

問2. 園での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか

問3. 園での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるものか

問4. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか

問5. 遊びや行事などで、子どもが自然や社会と関わる機会が十分確保されているか

問6. 保育時間の変更について

問7. 安全対策について

問8. 行事日程の設定について

問9. 職員との信頼関係について

問10. 登園時の声かけについて

問11. お迎え時の伝達について

問12. 施設内の清掃、整理整頓について

問13. 職員の対応について

問14. お子さんの体調変化への対応について

問15. 子ども同士のトラブルに関する対応について

問16. お子さんが保育園で大切にされているかについて

問17. プライバシー（秘密）について

問18. 保育内容に関する説明について

問19. 要望や不満などへの対応について

問20. 外部の苦情相談窓口について

### **3.職員自己評価結果**



# 福祉サービス第三者評価 職員自己評価結果 (東京都)

## － 認可保育所 －

かやの実保育園

### 調査期間と回答状況

実施期間	2024年7月12日 ~ 2024年7月26日				※8月1日到着分まで集計
職員数	48	回答数	48	回答率	100.0%

※職員数は、今回の職員自己評価実施対象者数です。

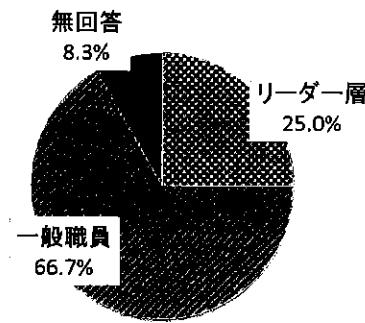
### 本書の構成

回答者属性について	回答者の属性を、リーダー層、一般職員に分けて集計しています。
組織マネジメント ①事業所と②個人についての項目における「そう思う」の割合の対比	組織マネジメント項目については、①②の番号が振ってある標準項目があります。 ①は「事業所は...」で始まり、事業所の取り組みについての項目です。 ②は「私は...」で始まり、個人の取り組みについての項目です。 それぞれの項目における「そう思う」の回答率を比較しています。
職員自己評価 標準項目別の回答数 内訳表及び回答比率の比較表	以下の項目について、回答数と回答比率をグラフで表示しています。 I. 組織マネジメント項目 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定 カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 カテゴリー3 経営における社会的責任 カテゴリー4 リスクマネジメント カテゴリー5 職員と組織の能力向上 II. サービス提供のプロセス項目 カテゴリー6 サービス提供のプロセス
職員自己評価 自由意見	以下の項目についての自由意見です。 ○前年度の取り組みにより、良くなつたと思う点 ○貴事業所の特に良いと思う点 ○特に改善したいと思う点

## ■回答者属性について

回答者の属性を、リーダー層、一般職員に分けて集計しています。

リーダー層	一般職員	無回答	合計
12	32	4	48
(単位:人)			
25.0%	66.7%	8.3%	100.0%



## ■組織マネジメント ①事業所と②個人についての項目における「そう思う」の割合の対比

組織マネジメント項目については、①②の番号が振ってある標準項目があります。

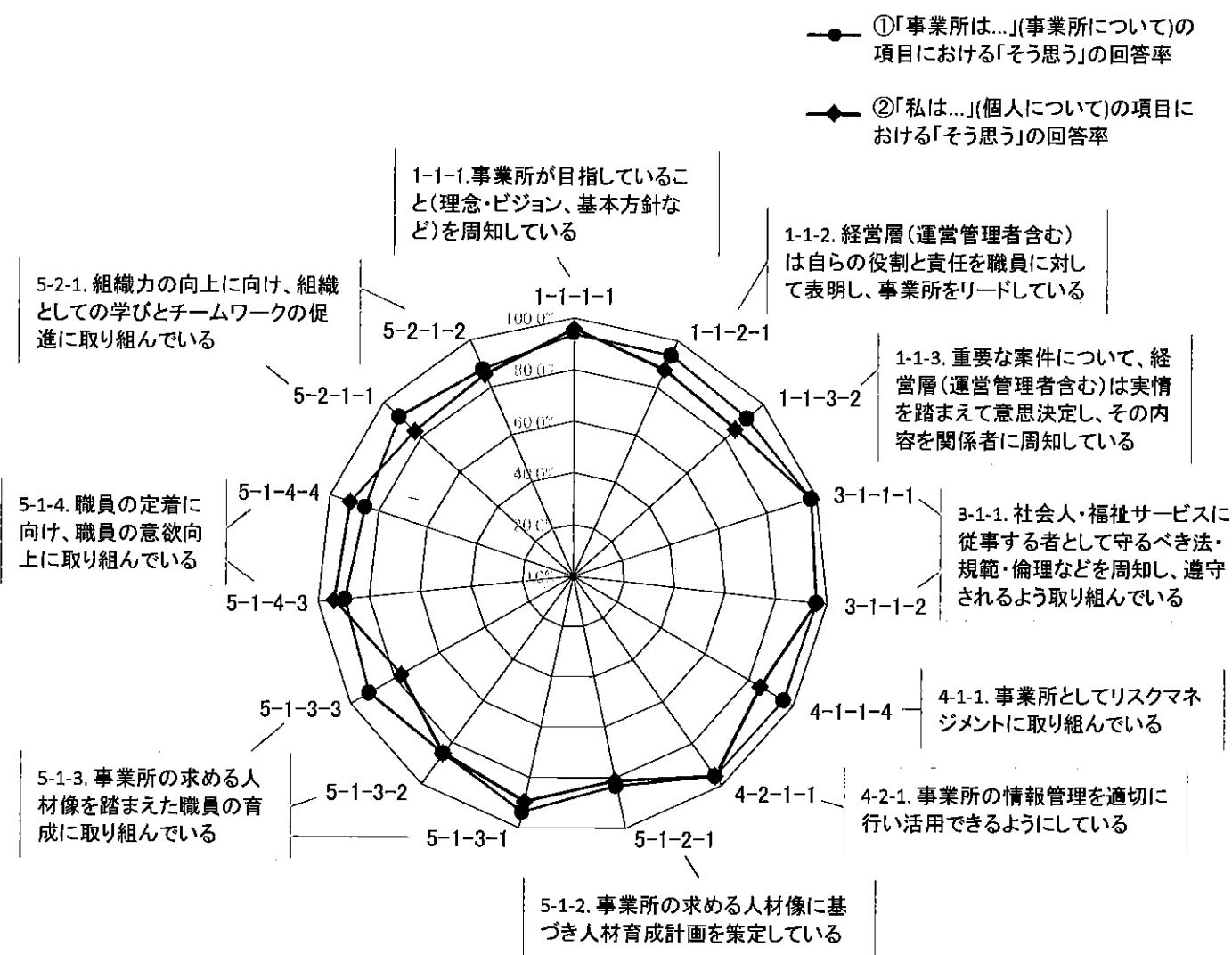
①は「事業所は...」で始まり、事業所の取り組みについての項目です。

②は「私は...」で始まり、個人の取り組みについての項目です。

本グラフでは、それぞれの項目における「そう思う」の回答率を比較しています。

職員自己評価において、「事業所(では)」から始まる質問と「私は」から始まる質問を行うことで、事業所が職員に向けて取り組んでいることが、実際に職員へ浸透し、有効な取り組みとなっているかをより重点的に確認します。

各項目の詳細については、「■標準項目別の回答数内訳表及び回答比率の比較表」(次ページ)以降をご参照ください。



## ■ 標準項目別の回答数内訳表及び回答比率の比較表

### I. 組織マネジメント項目

#### カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

##### サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

###### 1-1-1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している

(単位:人)

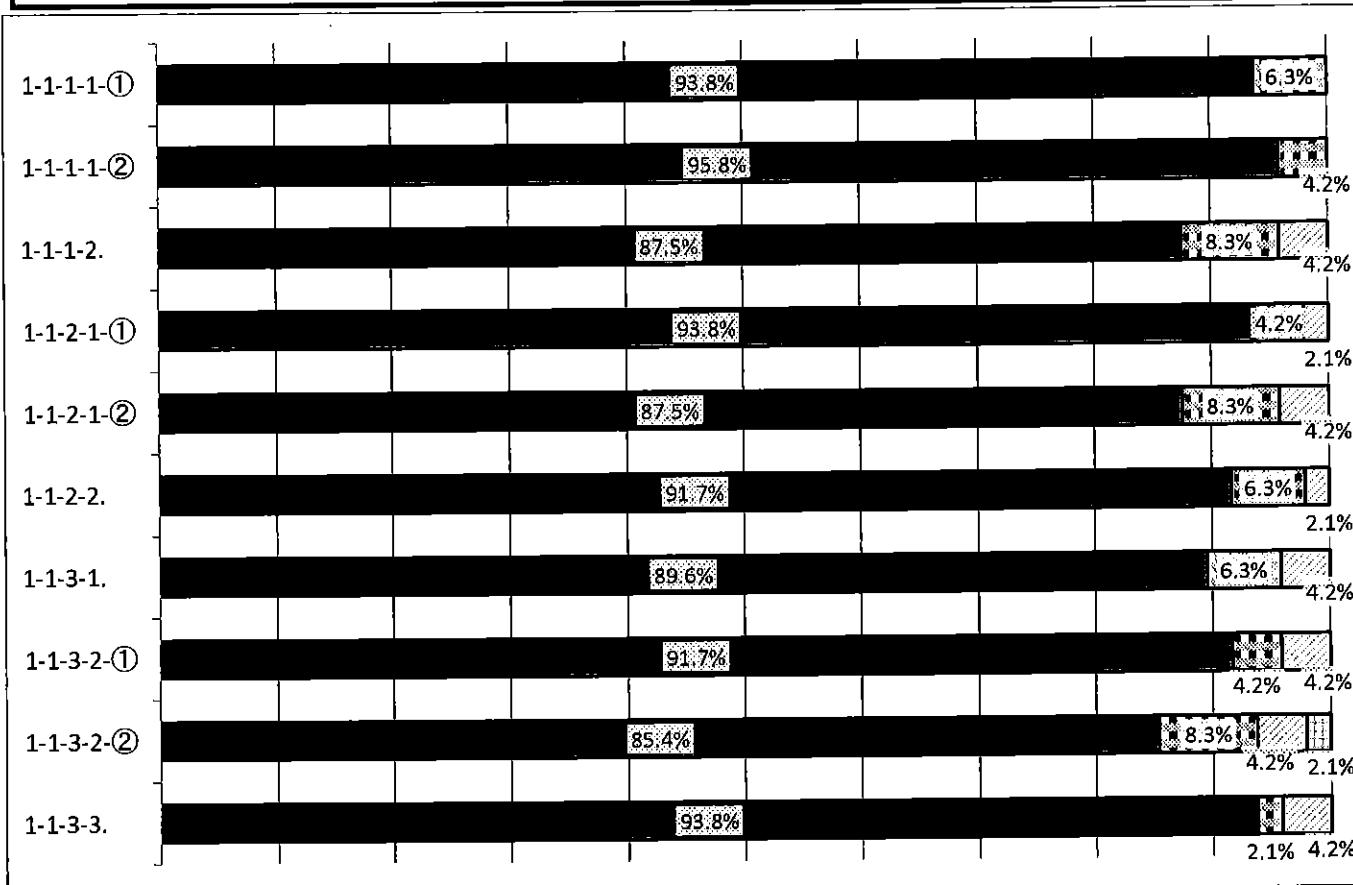
	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1-①. 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	45	3	0	0	48
	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	100.0%
1-②. 私は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を理解できている	46	2	0	0	48
	95.8%	4.2%	0.0%	0.0%	100.0%
2. 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	42	4	2	0	48
	87.5%	8.3%	4.2%	0.0%	100.0%

###### 1-1-2. 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

1-①. 事業所では、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、経営層が自らの役割と責任を職員に伝えている	45	2	1	0	48
	93.8%	4.2%	2.1%	0.0%	100.0%
1-②. 私は、経営層の役割と責任を理解できている	42	4	2	0	48
	87.5%	8.3%	4.2%	0.0%	100.0%
2. 事業所では、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、経営層が自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	44	3	1	0	48
	91.7%	6.3%	2.1%	0.0%	100.0%

###### 1-1-3. 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

1. 事業所では、重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	43	3	2	0	48
	89.6%	6.3%	4.2%	0.0%	100.0%
2-①. 事業所では、経営層が重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	44	2	2	0	48
	91.7%	4.2%	4.2%	0.0%	100.0%
2-②. 私は、経営層から、重要な意思決定に関して、その内容と決定経緯を知らされている	41	4	2	1	48
	85.4%	8.3%	4.2%	2.1%	100.0%
3. 事業所では、利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	45	1	2	0	48
	93.8%	2.1%	4.2%	0.0%	100.0%



■ そう思う □ そう思わない ■■■ わからない ▨▨▨ 無回答

## カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

### サブカテゴリー1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

#### 2-1-1. 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 事業所は、利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	46 95.8%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
2. 事業所は、事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	42 87.5%	4 8.3%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%
3. 事業所は、地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	42 87.5%	3 6.3%	3 6.3%	0 0.0%	48 100.0%
4. 事業所は、福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	43 89.6%	3 6.3%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%
5. 事業所は、事業所の経営状況を把握・検討している	44 91.7%	2 4.2%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%
6. 事業所は、把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	43 89.6%	2 4.2%	3 6.3%	0 0.0%	48 100.0%

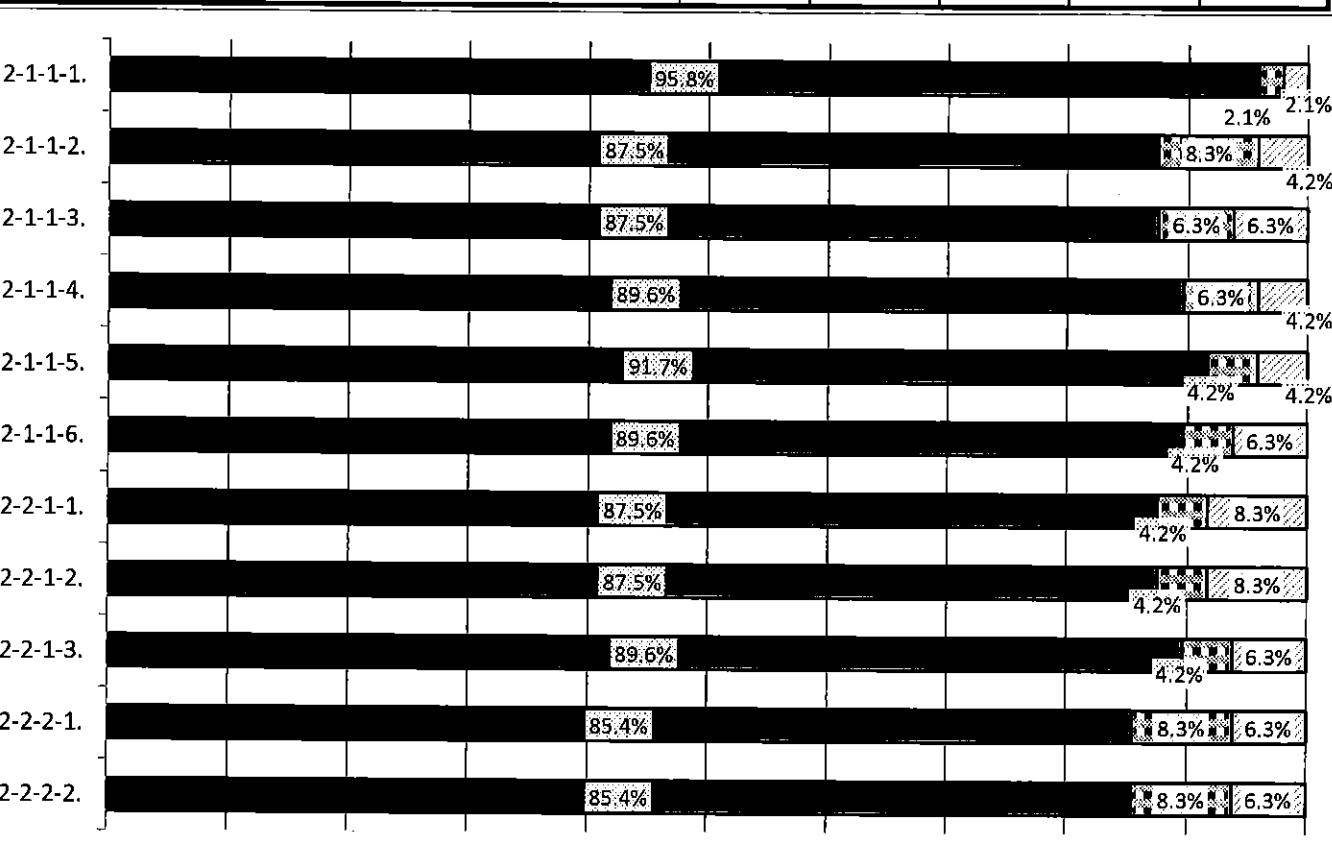
#### サブカテゴリー2 実践的な計画策定に取り組んでいる

#### 2-2-1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 事業所は、課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	42 87.5%	2 4.2%	4 8.3%	0 0.0%	48 100.0%
2. 事業所は、中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	42 87.5%	2 4.2%	4 8.3%	0 0.0%	48 100.0%
3. 事業所は、策定している計画に合わせた予算編成を行っている	43 89.6%	2 4.2%	3 6.3%	0 0.0%	48 100.0%

#### 2-2-2. 着実な計画の実行に取り組んでいる

1. 事業所は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	41 85.4%	4 8.3%	3 6.3%	0 0.0%	48 100.0%
2. 事業所は、計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	41 85.4%	4 8.3%	3 6.3%	0 0.0%	48 100.0%



■ そう思う □ そう思わない ■■■ わからない □□□ 無回答

### カテゴリー3 経営における社会的責任

#### サブカテゴリー1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

##### 3-1-1. 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1-①. 事業所は、全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	47	1	0	0	48
	97.9%	2.1%	0.0%	0.0%	100.0%
1-②. 私は、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを理解できている	47	1	0	0	48
	97.9%	2.1%	0.0%	0.0%	100.0%
2-①. 事業所は、全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している	46	2	0	0	48
	95.8%	4.2%	0.0%	0.0%	100.0%
2-②. 私は、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを遵守している	46	1	1	0	48
	95.8%	2.1%	2.1%	0.0%	100.0%

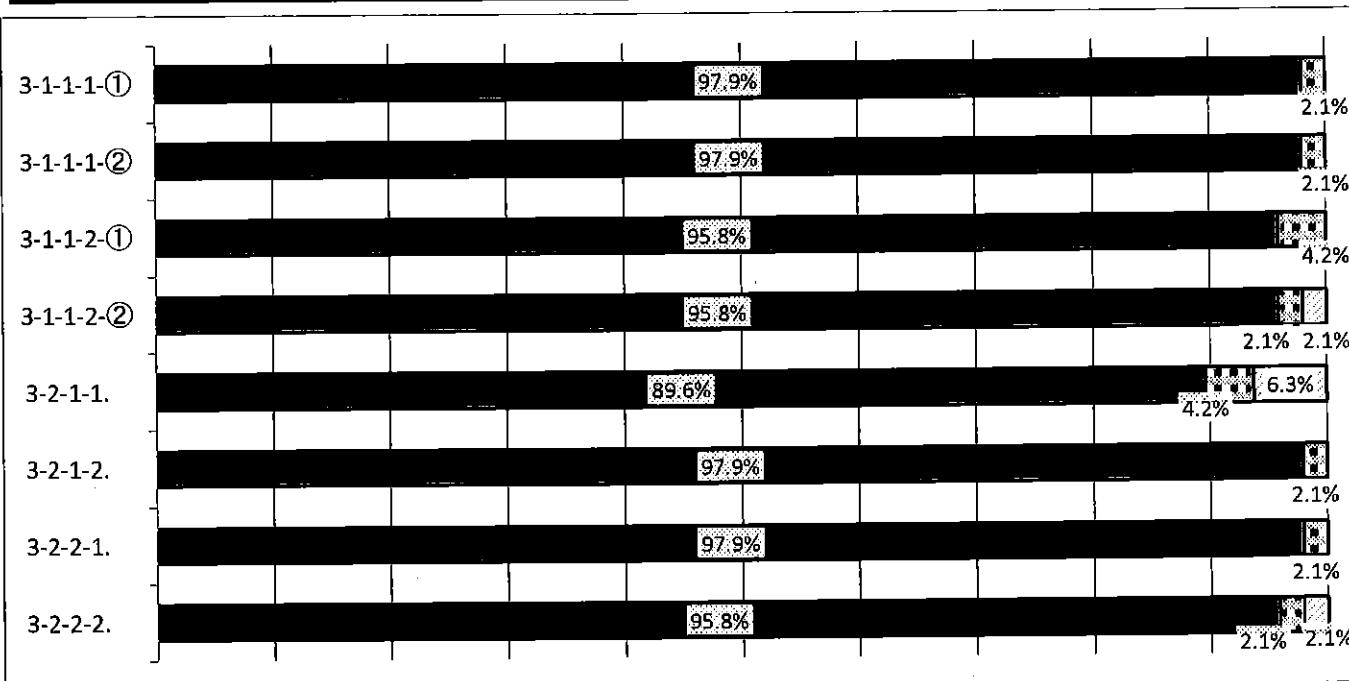
#### サブカテゴリー2 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

##### 3-2-1. 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 事業所は、苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	43	2	3	0	48
	89.6%	4.2%	6.3%	0.0%	100.0%
2. 事業所には、利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	47	1	0	0	48
	97.9%	2.1%	0.0%	0.0%	100.0%

##### 3-2-2. 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 事業所は、利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	47	1	0	0	48
	97.9%	2.1%	0.0%	0.0%	100.0%
2. 事業所は、虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	46	1	1	0	48
	95.8%	2.1%	2.1%	0.0%	100.0%



■ そう思う □ そう思わない ■■■ わからない □□□ 無回答

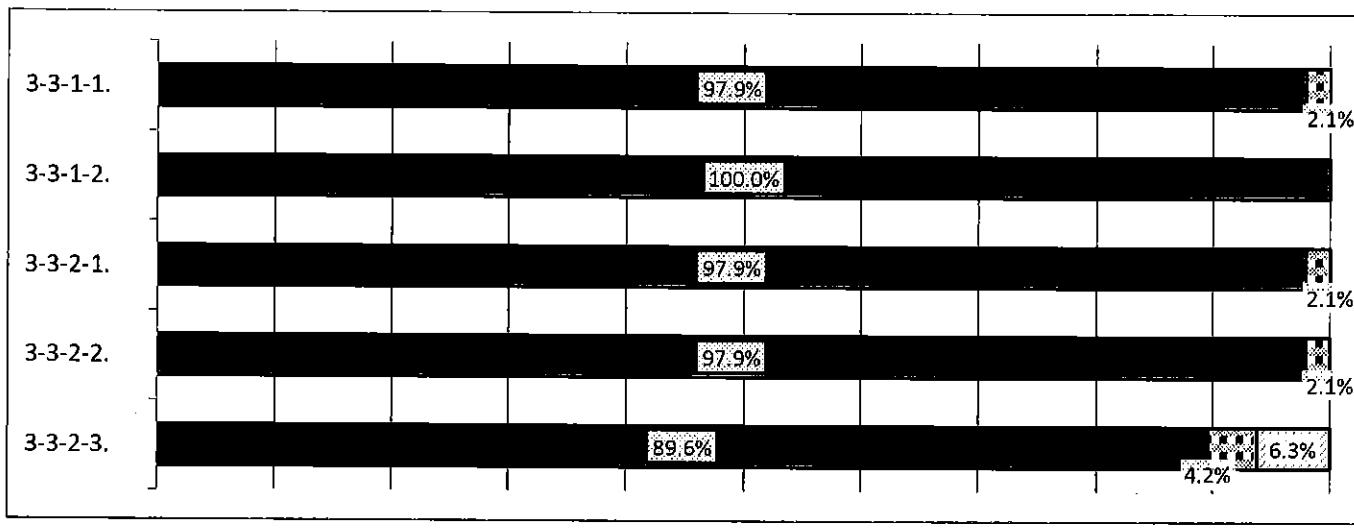
### サブカテゴリー3 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

#### 3-3-1. 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 事業所は、透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	47	1	0	0	48
	97.9%	2.1%	0.0%	0.0%	100.0%
2. 事業所は、ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	48	0	0	0	48
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

#### 3-3-2. 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

	47	1	0	0	48
1. 事業所は、地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	47	1	0	0	48
	97.9%	2.1%	0.0%	0.0%	100.0%
2. 事業所は、事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	47	1	0	0	48
	97.9%	2.1%	0.0%	0.0%	100.0%
3. 事業所は、地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	43	2	3	0	48
	89.6%	4.2%	6.3%	0.0%	100.0%



■ そう思う ■ わからない

## カテゴリー4 リスクマネジメント

### サブカテゴリー1 リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

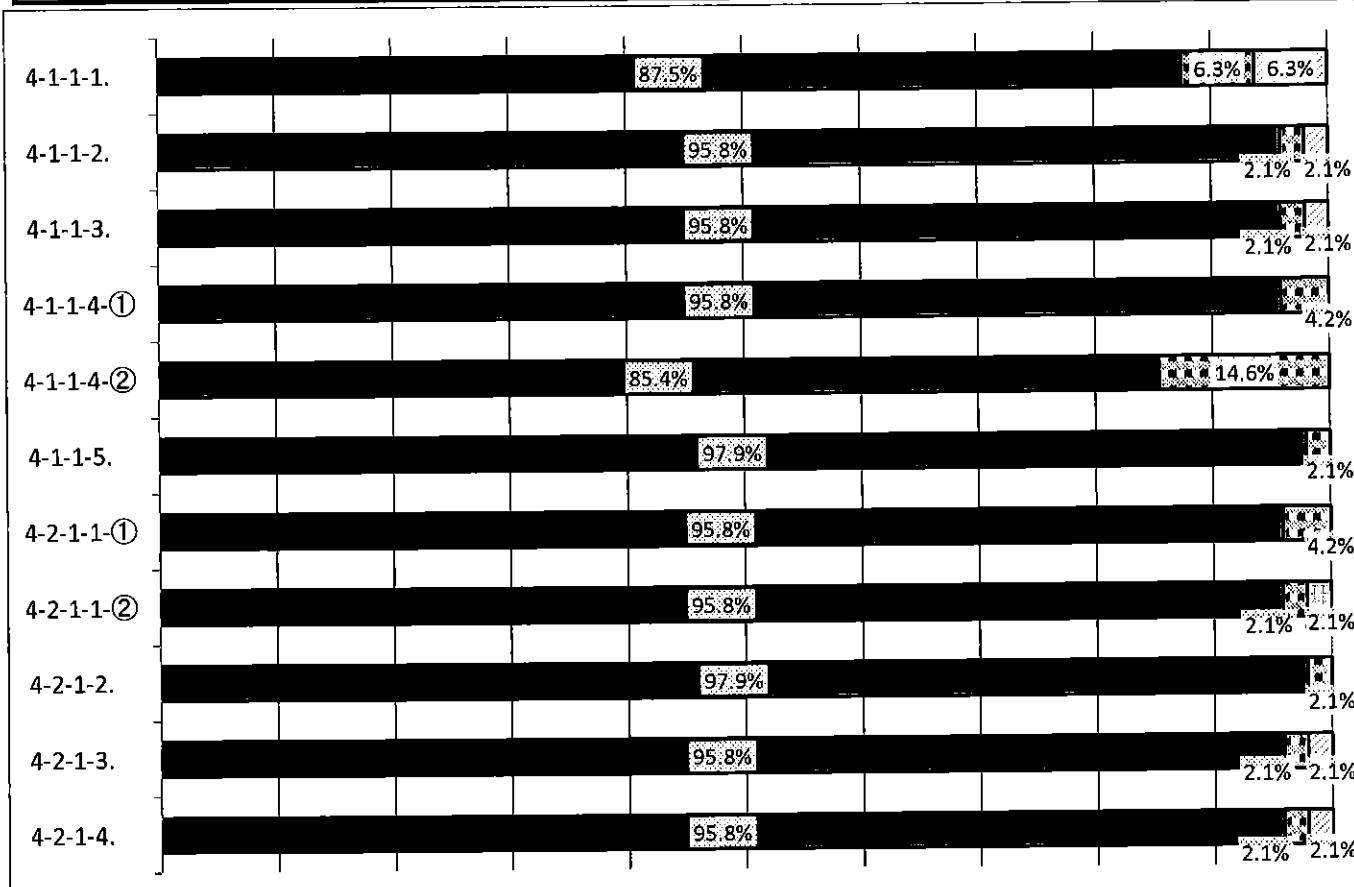
#### 4-1-1. 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 事業所は、事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	42 87.5%	3 6.3%	3 6.3%	0 0.0%	48 100.0%
2. 事業所は、優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	46 95.8%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
3. 事業所は、災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	46 95.8%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
4-①. 事業所は、リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	46 95.8%	2 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%
4-②. 私は、リスクに対する必要な対策や事業継続計画について理解できており、自分の役割に応じて対応できる	41 85.4%	7 14.6%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%
5. 事業所は、事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	47 97.9%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%

### サブカテゴリー2 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

#### 4-2-1. 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1-①. 事業所は、情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	46 95.8%	2 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%
1-②. 私は、情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを理解し遵守している	46 95.8%	1 2.1%	0 0.0%	1 2.1%	48 100.0%
2. 事業所は、収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	47 97.9%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%
3. 事業所は、情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	46 95.8%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
4. 事業所は、事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	46 95.8%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%



■ そう思う ■ そう思わない ■ わからない ■ 無回答

## カテゴリー5 職員と組織の能力向上

### サブカテゴリー1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

#### 5-1-1. 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 事業所は、事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	44 91.7%	2 4.2%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%
2. 事業所は、事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	44 91.7%	3 6.3%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%

#### 5-1-2. 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

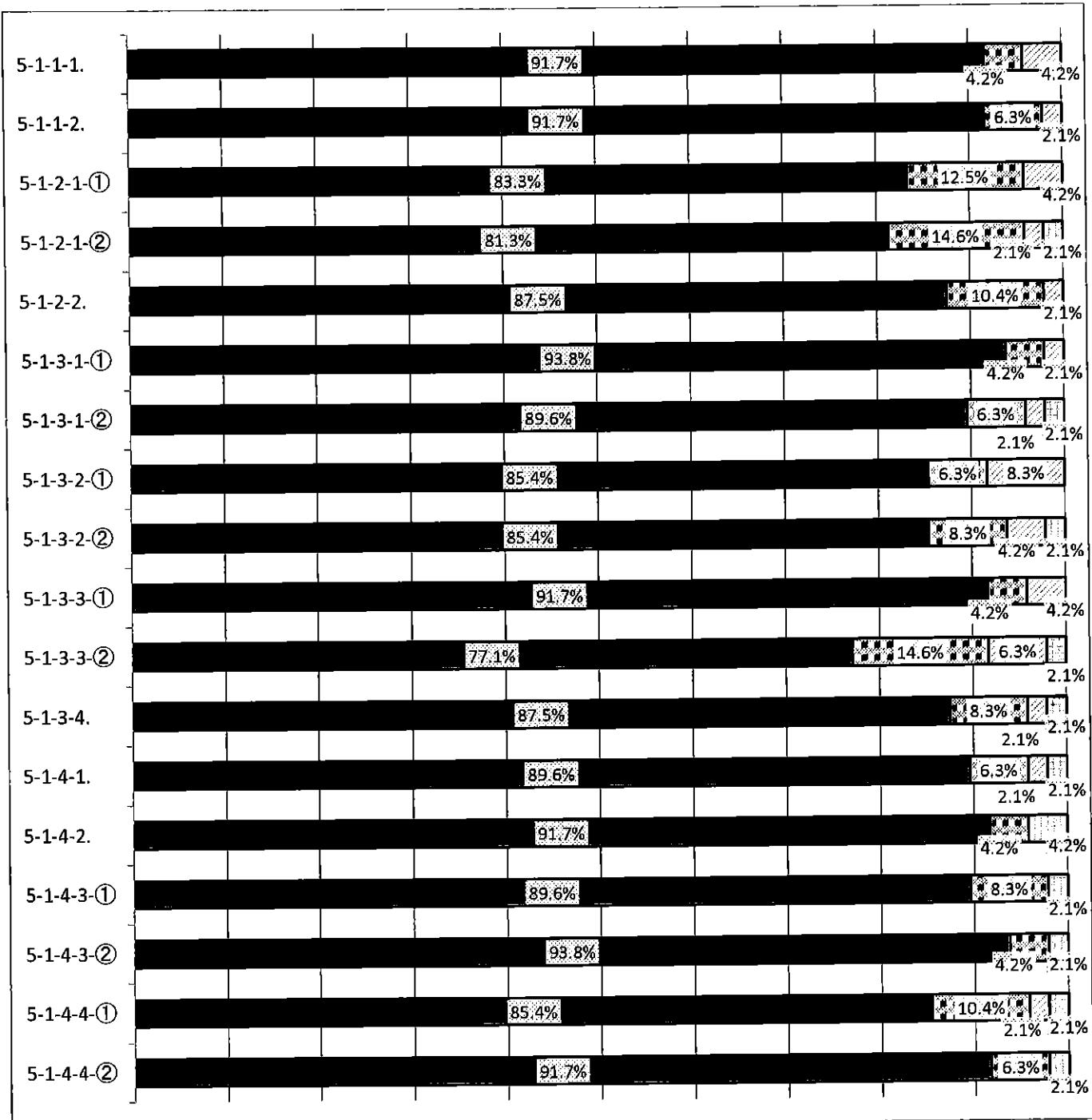
1-①. 事業所では、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	40 83.3%	6 12.5%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%
1-②. 私は、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)を理解できている	39 81.3%	7 14.6%	1 2.1%	1 2.1%	48 100.0%
2. 事業所は、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	42 87.5%	5 10.4%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%

#### 5-1-3. 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

1-①. 事業所は、勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	45 93.8%	2 4.2%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
1-②. 私には、事業所から様々な研修等の機会が与えられている	43 89.6%	3 6.3%	1 2.1%	1 2.1%	48 100.0%
2-①. 事業所は、職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	41 85.4%	3 6.3%	4 8.3%	0 0.0%	48 100.0%
2-②. 私の育成(研修)計画は、私の意向や経験等に基づいて策定されている	41 85.4%	4 8.3%	2 4.2%	1 2.1%	48 100.0%
3-①. 事業所は、職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	44 91.7%	2 4.2%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%
3-②. 私の育成(研修)計画には、事業所が私の育成の成果を確認した内容が反映されている	37 77.1%	7 14.6%	3 6.3%	1 2.1%	48 100.0%
4. 事業所では、指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	42 87.5%	4 8.3%	1 2.1%	1 2.1%	48 100.0%

#### 5-1-4. 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

1. 事業所は、事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と待遇(賞金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	43 89.6%	3 6.3%	1 2.1%	1 2.1%	48 100.0%
2. 事業所は、就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	44 91.7%	2 4.2%	0 0.0%	2 4.2%	48 100.0%
3-①. 事業所は、職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	43 89.6%	4 8.3%	0 0.0%	1 2.1%	48 100.0%
3-②. 私はこの事業所の仕事について、意欲と働きがいを持つことができている	45 93.8%	2 4.2%	0 0.0%	1 2.1%	48 100.0%
4-①. 事業所は、職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	41 85.4%	5 10.4%	1 2.1%	1 2.1%	48 100.0%
4-②. 私の職場では、良好な人間関係が構築されている	44 91.7%	3 6.3%	0 0.0%	1 2.1%	48 100.0%

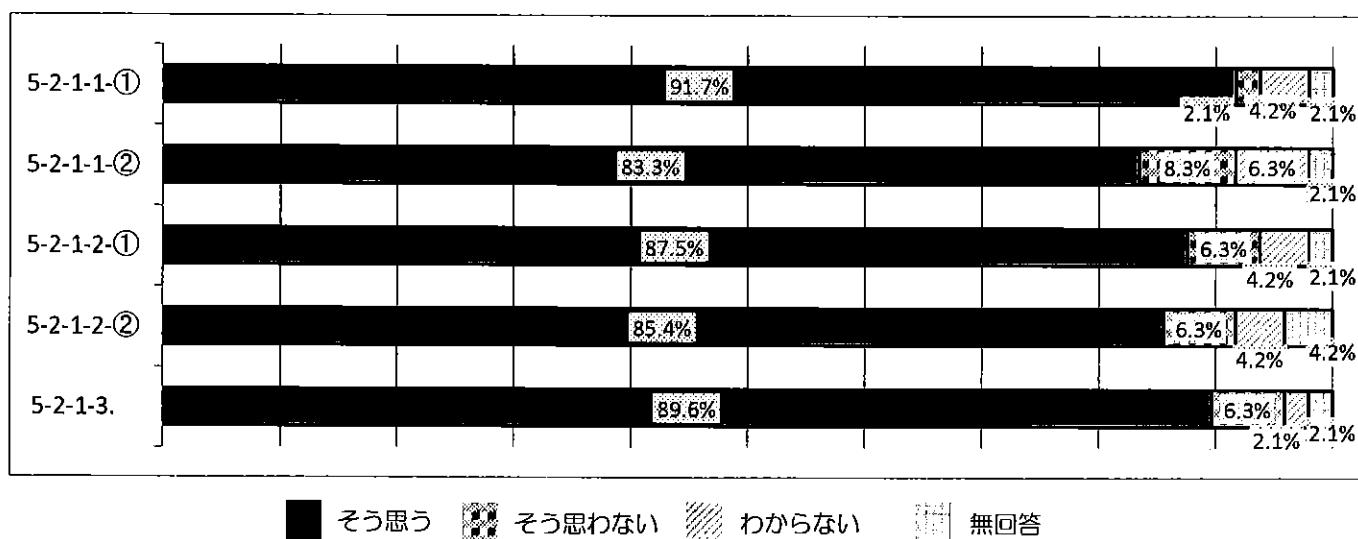


■ そう思う ▨ そう思わない ▨ わからない ▨ 無回答

## サブカテゴリー2 組織力の向上に取り組んでいる

### 5-2-1. 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1-①. 事業所は、職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	44 91.7%	1 2.1%	2 4.2%	1 2.1%	48 100.0%
1-②. 私が学んだ研修内容は、レポートや発表等で報告し、職員間で共有化している	40 83.3%	4 8.3%	3 6.3%	1 2.1%	48 100.0%
2-①. 事業所は、職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	42 87.5%	3 6.3%	2 4.2%	1 2.1%	48 100.0%
2-②. 私の日頃の気づきや工夫について、他の職員と互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす機会がある	41 85.4%	3 6.3%	2 4.2%	2 4.2%	48 100.0%
3. 事業所は、目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	43 89.6%	3 6.3%	1 2.1%	1 2.1%	48 100.0%



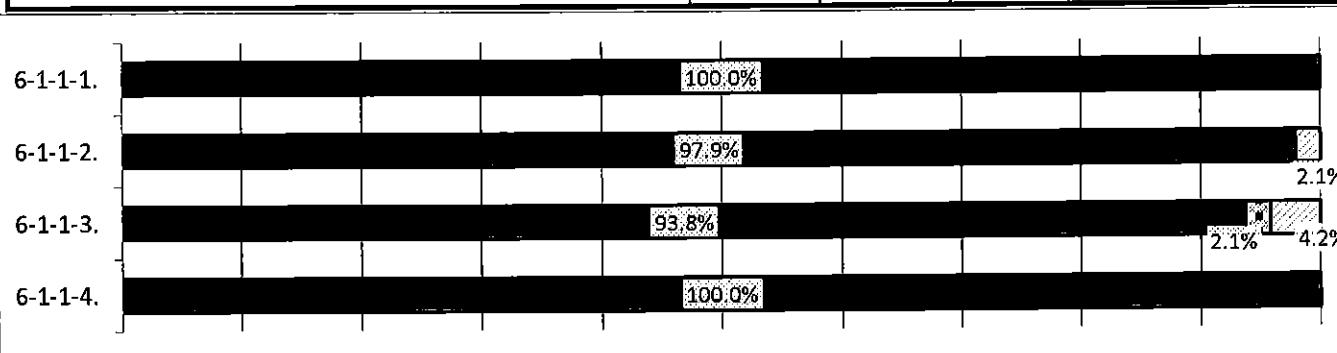
## II. サービス提供のプロセス項目

### カテゴリー6 サービス提供のプロセス

#### サブカテゴリー1 サービス情報の提供

##### 6-1-1. 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	48	0	0	0	48
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	47	0	1	0	48
	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	100.0%
3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	45	1	2	0	48
	93.8%	2.1%	4.2%	0.0%	100.0%
4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	48	0	0	0	48
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



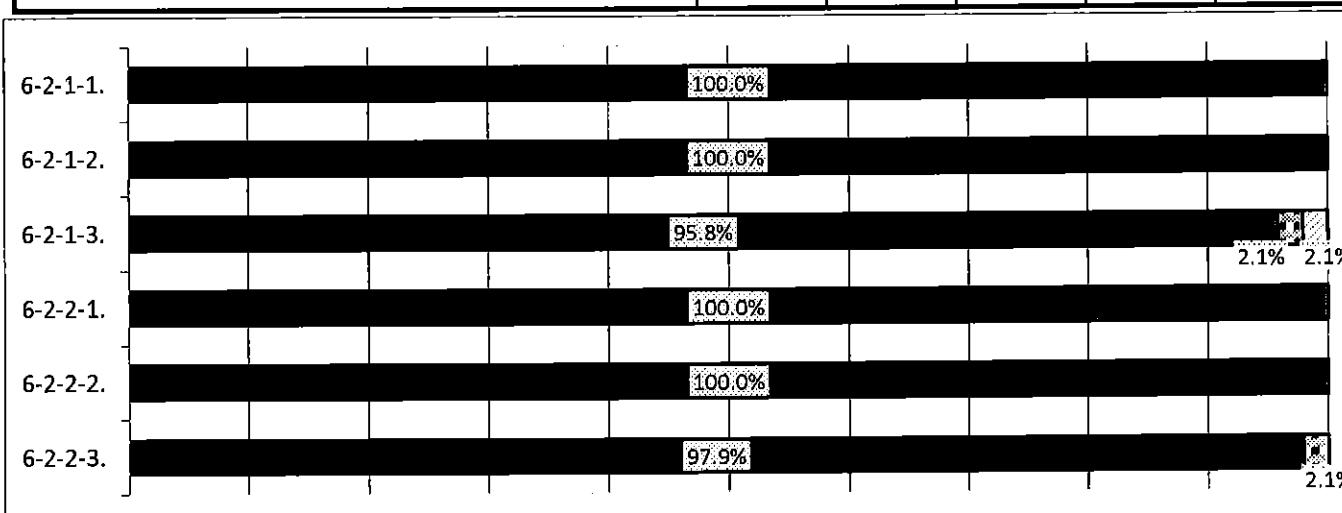
#### サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

##### 6-2-1. サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	48	0	0	0	48
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	48	0	0	0	48
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	46	1	1	0	48
	95.8%	2.1%	2.1%	0.0%	100.0%

##### 6-2-2. サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	48	0	0	0	48
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	48	0	0	0	48
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	47	1	0	0	48
	97.9%	2.1%	0.0%	0.0%	100.0%



■ そう思う □ そう思わない ■■■ わからない □□□ 無回答

### サブカテゴリー3 個別状況の記録と計画策定

6-3-1. 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	47 97.9%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%
2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	46 95.8%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	43 89.6%	2 4.2%	3 6.3%	0 0.0%	48 100.0%

6-3-2. 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

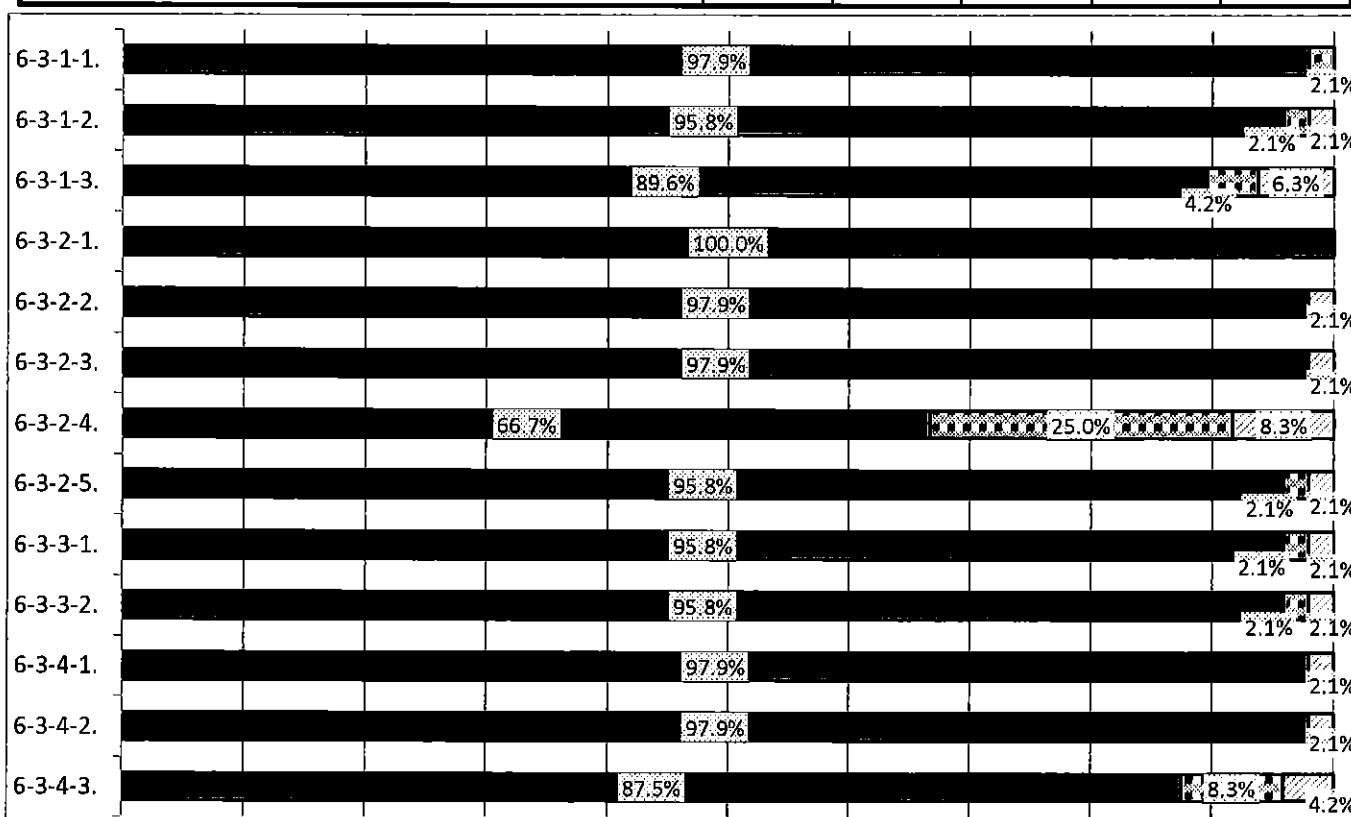
1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%
2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	47 97.9%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	47 97.9%	0 0.0%	2.1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	32 66.7%	12 25.0%	4 8.3%	0 0.0%	48 100.0%
5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	46 95.8%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%

6-3-3. 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしきみがある	46 95.8%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	46 95.8%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%

6-3-4. 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	47 97.9%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	47 97.9%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	42 87.5%	4 8.3%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%



■ そう思う ■ そう思わない ■ わからない

■ 無回答

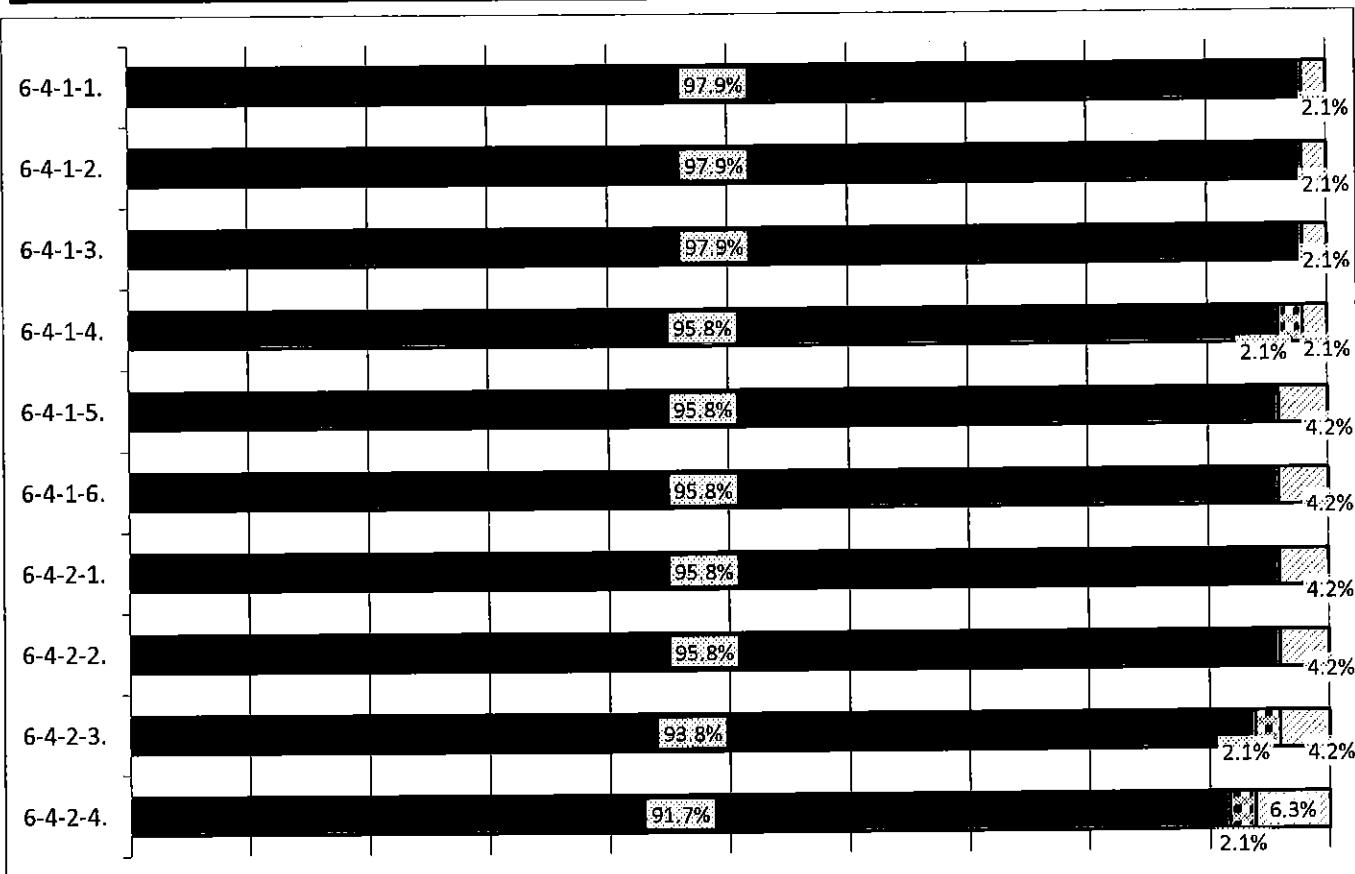
## サブカテゴリー4 サービスの実施

### 6-4-1. 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	47 97.9%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	47 97.9%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	47 97.9%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	46 95.8%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	46 95.8%	0 0.0%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%
6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	46 95.8%	0 0.0%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%

### 6-4-2. 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

	46 95.8%	0 0.0%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%
1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	46 95.8%	0 0.0%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%
2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	46 95.8%	0 0.0%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%
3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	45 93.8%	1 2.1%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%
4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	44 91.7%	1 2.1%	3 6.3%	0 0.0%	48 100.0%



■ そう思う □ そう思わない ■■■ わからない ■■■■ 無回答

### 6-4-3. 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

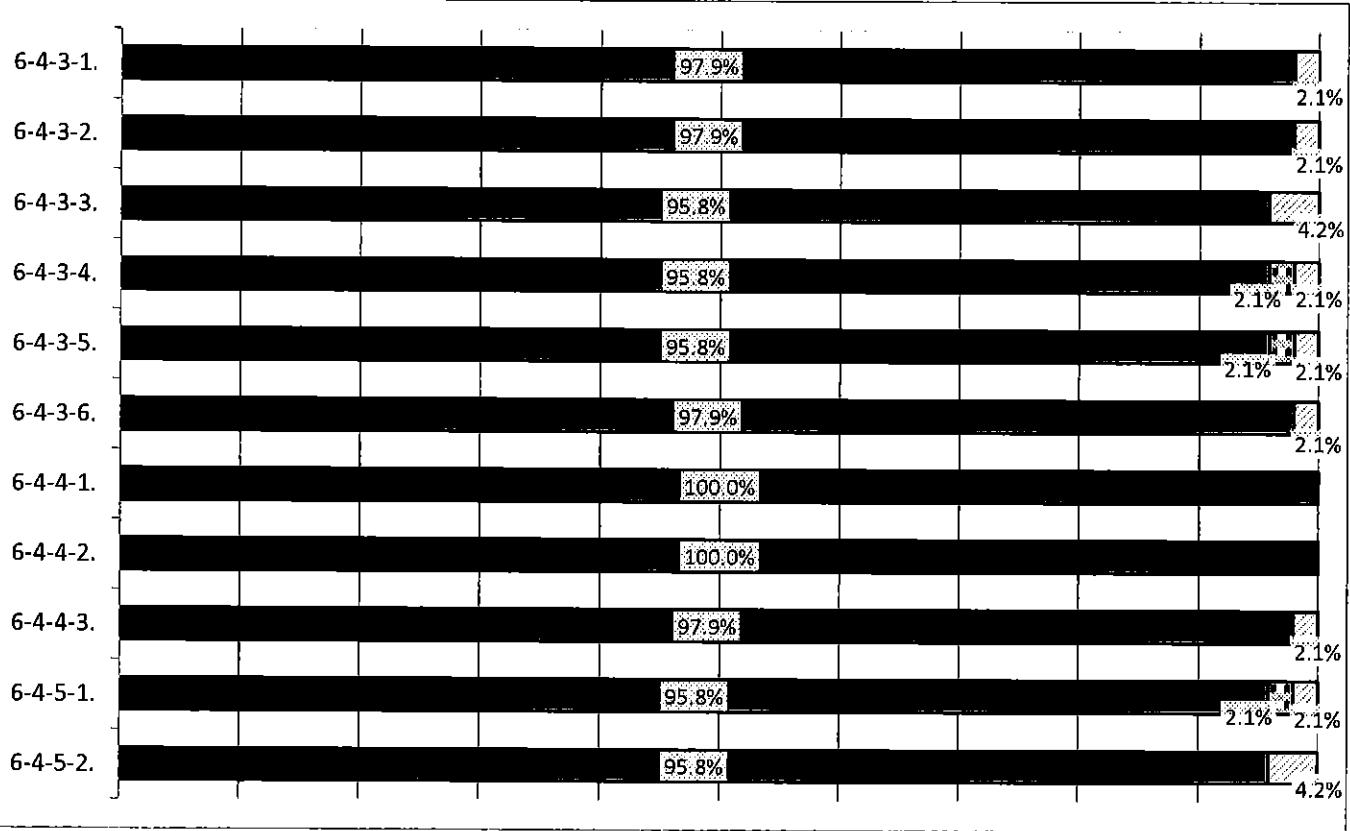
	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	47	0	1	0	48
	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	100.0%
2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	47	0	1	0	48
	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	100.0%
3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や囁きを含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	46	0	2	0	48
	95.8%	0.0%	4.2%	0.0%	100.0%
4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	46	1	1	0	48
	95.8%	2.1%	2.1%	0.0%	100.0%
5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるように視点を取り入れている	46	1	1	0	48
	95.8%	2.1%	2.1%	0.0%	100.0%
6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	47	0	1	0	48
	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	100.0%

### 6-4-4. 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	48	0	0	0	48
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	48	0	0	0	48
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	47	0	1	0	48
	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	100.0%

### 6-4-5. 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	46	1	1	0	48
	95.8%	2.1%	2.1%	0.0%	100.0%
2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	46	0	2	0	48
	95.8%	0.0%	4.2%	0.0%	100.0%



■ そう思う □ そう思わない ■ わからない □ 無回答

6-4-6. 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	47 97.9%	0 0.0%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
2. メニュー や味付けなどに工夫を凝らしている	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%
3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	47 97.9%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%
4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	48 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%
5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	46 95.8%	2 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	48 100.0%

6-4-7. 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

	46 95.8%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	46 95.8%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	46 95.8%	0 0.0%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%
3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	46 95.8%	0 0.0%	2 4.2%	0 0.0%	48 100.0%



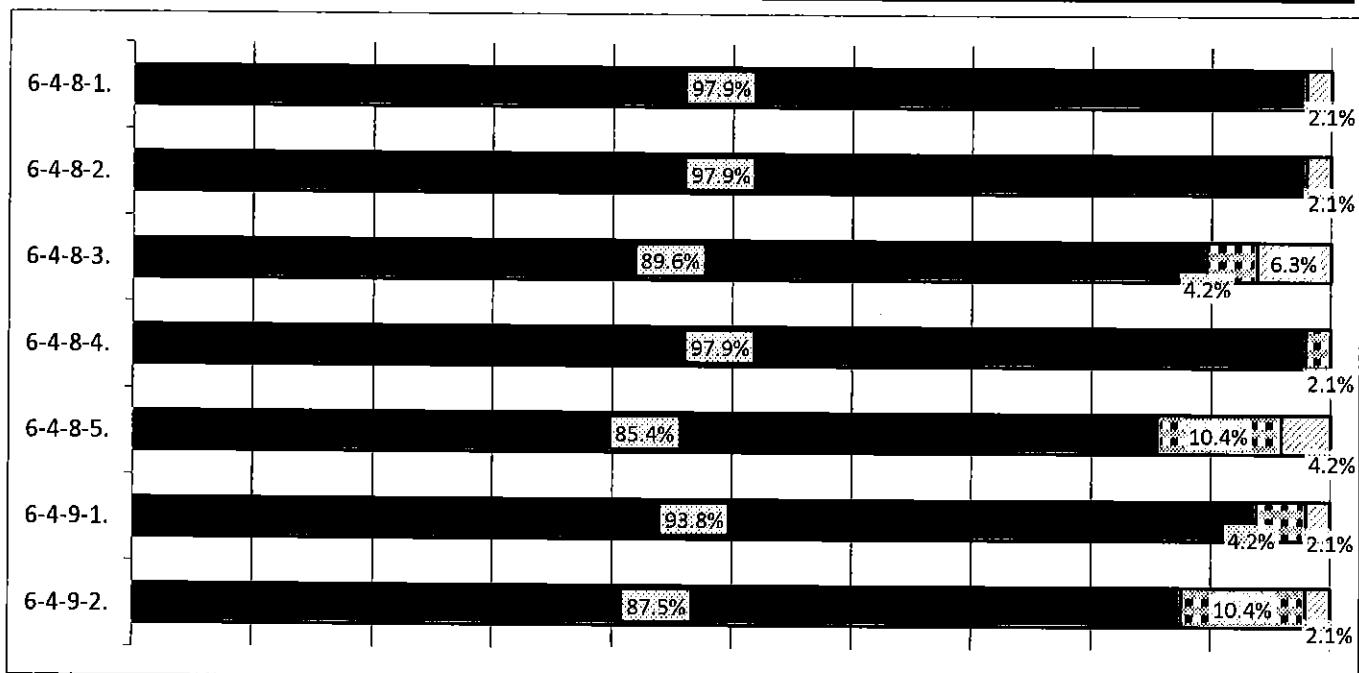
■ そう思う ▨ そう思わない ▨ わからない ▨ 無回答

6-4-8. 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	47	0	1	0	48
	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	100.0%
2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	47	0	1	0	48
	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	100.0%
3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	43	2	3	0	48
	89.6%	4.2%	6.3%	0.0%	100.0%
4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	47	1	0	0	48
	97.9%	2.1%	0.0%	0.0%	100.0%
5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	41	5	2	0	48
	85.4%	10.4%	4.2%	0.0%	100.0%

6-4-9. 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	45 93.8%	2 4.2%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%
2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	42 87.5%	5 10.4%	1 2.1%	0 0.0%	48 100.0%



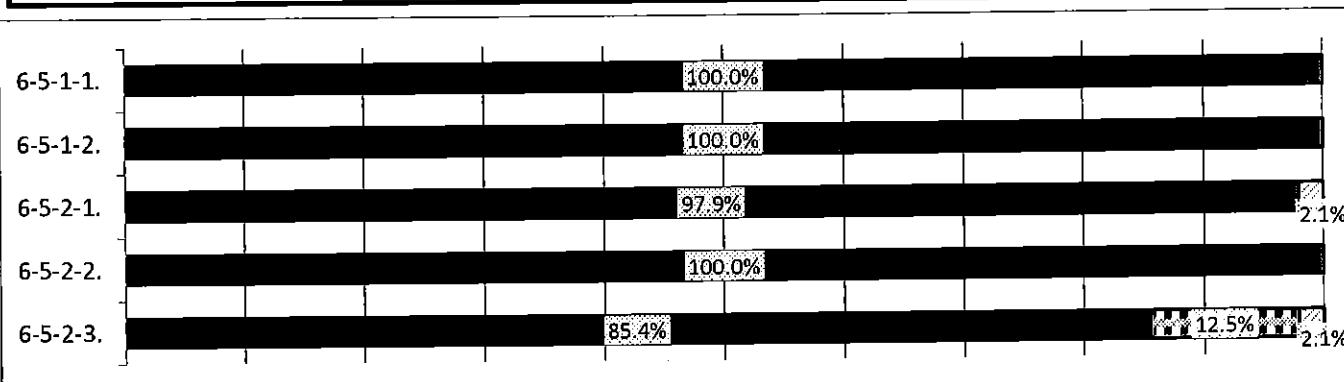
## サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

### 6-5-1. 子どものプライバシー保護を徹底している

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	48	0	0	0	48
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	48	0	0	0	48
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

### 6-5-2. サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	47	0	1	0	48
	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%	100.0%
2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	48	0	0	0	48
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	41	6	1	0	48
	85.4%	12.5%	2.1%	0.0%	100.0%



■ そう思う ▨ そう思わない ▢ わからない □ 無回答

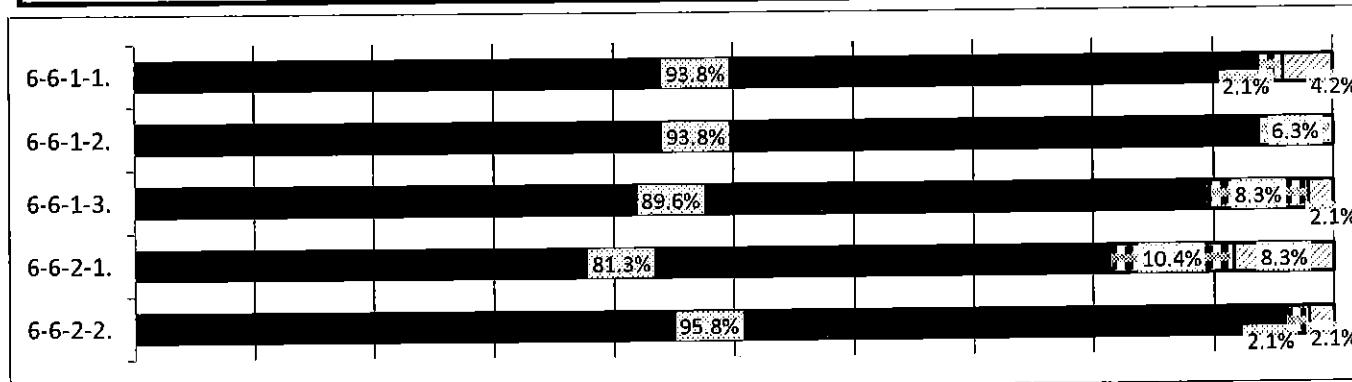
## サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

### 6-6-1. 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答	合計
1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	45	1	2	0	48
	93.8%	2.1%	4.2%	0.0%	100.0%
2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っていきかどうか定期的に点検・見直しをしている	45	3	0	0	48
	93.8%	6.3%	0.0%	0.0%	100.0%
3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	43	4	1	0	48
	89.6%	8.3%	2.1%	0.0%	100.0%

### 6-6-2. サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	39	5	4	0	48
	81.3%	10.4%	8.3%	0.0%	100.0%
2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	46	1	1	0	48
	95.8%	2.1%	2.1%	0.0%	100.0%



■ そう思う ▨ そう思わない ▢ わからない □ 無回答

## ■ 職員自己評価 自由意見

自由記述については、基本的に原文そのままにしていますが、読みやすさに配慮して誤字・脱字などの修正を行っています。また、個人が特定できそうな文章は削除し、主旨が伝わるように修正を加えている部分があります。

○前年度の取り組みにより、良くなつたと思う点をご記入ください

1	アプリを活用することで、スムーズに仕事が進むようになったところがある。
2	今年度よりフリーの保育士が増えたことにより、勤務時間の調整や有給休暇が取りやすくなったのではないかと思う。
3	なし。
4	連絡用アプリの導入により保護者への連絡事項の伝達が容易になった。
5	働き方改革が進み、保育士の事務時間が確保されるようになってきた。フリーの職員が増えたことで、園全体のことを考え、サポートする職員が充実し、より円滑に業務が進むようになった。園全体で、コミュニケーションを取りながら、助け合って業務を行うことが、一層増えたと感じる。
6	HPのリニューアル・アプリの導入など今の時代に合った方法により保護者や入園希望者に対して良いアピールとなつたと思う。
7	事業所は収集した情報は必要な人が必要な時に活用できるように整理・管理している点。
8	遅番が10:45出勤になり、事務時間を確保してもらえるようになった。本当にありがたい。
9	幼児クラスの屋上での水遊びが暑さ指数により中止になることが多かった昨年の途中から、スペースは限られていますが1階の屋根のあるデッキで、方法を工夫して行うようになりました。今年度はそれをさらに工夫することで、幼児全員が水遊びができる日が増えています。
10	労働時間が調整され、遅番職員はAMノンコンタクトタイムとして事務時間がとれるようになった。昨年度までは基本の労働時間が7h30分だったが、平日を7h40分とすることで土勤務の早番、遅番、平日の早番が5時間勤務になったこと。
11	働き方改革としての勤務時間の見直し。
12	グループラインができたことで、情報や伝達がスムーズになった。
13	長期計画の工程表が最新のデータに更新されて、長期目標の設定値が明確になった。
14	思いつかないです。すみません。
15	デジタル化がすすみ、良くなつてきてていると思う。
16	職員間での情報の共有が行われるようになり、分かりやすくなつた。
17	・コロナが5類へと移行したことから、普段の保育(受け入れ、マスク等)、各行事の進行や保護者の参加人数など様々な見直しがあった。コロナ禍での経験を元に密になりすぎない環境を維持するなど良い点は残しながら、コロナ禍以前の保育、行事の実施に少しずつ戻していくように、様々な観点に留意しながら、一つひとつ取り組んだ点。 ・働き方改革に対する取り組み(特に事務時間の保障に取り組み、実施してくださった点。家庭と仕事との両立において非常に助かっている)。
18	アクシデント報告書の内容が充実して、しっかり報告されるようになったと思う。
19	・園の様子を保護者を含め、より多くの人が目にする機会を作っている(ホームページ、X(twitter)、キッズノート等)。 ・保護者のアンケートや反省をもとに改善し、行事、保育を行っている。
20	本園で大切にしている絵本の取り組みを全体会議で共有、日々の保育で生かしている。卒園児、保護者の協力もあり、年長児はアニメーションを体験した。また、ここ数年、助産師さんの協力により、性教育に取り組んでいる。男女の違いだけでなく、相手の思いや体、自分自身を大切にし、自己肯定感を育むことにも役立っている。
21	ノンコンタクトタイムが設けられたこと(今年度より)。

22	Webや配信等の研修が増え、閲覧でき、学びが増えた。
23	職員の事務時間の確保が少しずつできるようになった。
24	法人内の情報共有がされたこと。保育や遊具の見直しと共に、保育者の意識についても考え直す機会となったこと。
25	勤務体制。
26	保育に関わるアプリケーションの利用は、良い方向に向かっていると感じています。
27	外部講師(助産師)を招いての性教育を行うことで、子どもへの伝えと共に職員・保護者も理解や意識を深められた。

○貴事業所の特に良いと思う点、特に改善したいと思う点を、それぞれ三つ以内でご自由にお答えください

#### 【特に良いと思う点】

1	保護者一人ひとりに合わせた対応を行っている。
2	職員関係がまとまっていて、上がうまく把握していると思う。
3	子どもファーストで一番その子に良い方法を常に模索しているところ。
4	特別な配慮が必要な子に対して、以前よりも手厚くなったように思う。
5	ていねいな保育。卒園児や退園児への対応がていねい。
6	人間関係が良く、相談しやすい雰囲気がある。
7	職員の関係が良い。
8	事業所は収集した情報は必要な人が、必要な時に活用できるように整理・管理している。
9	フリー保育士が充実したことにより、保育や時間内会議等の時のクラス補充がしっかりされている。
10	子どもの羞恥心に配慮した保育を行っていると感じる。幼児用トイレに個室になるように配慮していると感じた。
11	リーダー層がとても頼れる存在。信頼できる。優しすぎるくらい優しい。必要な事は率直に伝えてくれる。
12	子どもの心や体を大切にし、個性に合わせ、自由な発想を尊重して保育していると思います。
13	残業がなく、定時で帰れる。
14	体制などを、自分のクラスだけでなく、全体に視野を向けて、考えられている職員が多い。
15	休暇が取りやすい。人間関係が良好。
16	コロナ禍が明けて、戸外活動が活発化した。
17	アクシデントが起こった際、全職員に周知し、改善点などを確認している。
18	子どもを大切に思い保育している。
19	シフト管理が個人にそってもらい働きやすいと感じる。
20	リーダー層の人柄が良く、相談しやすい。
21	担任、職員の関わり。
22	休み等、希望が出しやすい所。
23	全職員が同じこころざしの元、職務にあたっている。正規、非常勤はもちろんのこと、事務、保育、調理、看護師と職種に関係なく、非常にまとまりがあるため働いていて心地よい。
24	職員の働き方を考え、実行している。
25	全ての職員が子どもにとっての最善を考え、保育にあたっている。経営層の方が同一賃金同一労働とうたっていることもあり、常勤、非常勤に関わらず、高い意識を持ち、日々の勤務にあたっている。
26	利用者の意向(意見、要望、苦情)に対応している。

27	クラスの雰囲気がよく、質問・相談・話し合いがしやすい。
28	福利厚生がしっかりしていて休みも取りやすい。
29	いろいろな事柄について、周知できるようにツールを使っているので、もれることもなく、また、見直すこともできる。
30	一人ひとりの子どもを大切にていねいに接し、遊びがとても充実して、楽しく遊べている。
31	熱中症予防(指數をはかる等)や戸外活動時の点呼等、安全にすごす工夫がされている。
32	移動水族館など、出来る範囲で様々な経験を取り入れようとしている。
33	給食が美味しい。
34	リーダー層以外の職員にとっては働きやすい環境だと思います。
35	絵本や子どもが興味のあるものなどをきっかけに、遊びを継続的に展開させる中で、子どもの主体性や協調性など色々な力を育んでいる。
36	時間帯によって職員の数に厚みをもたせているところ。
37	今までなかった行事が(移動水族館など)増えて楽しめていると思う。
38	伝統文化を大事にしている。
39	子どもたちが楽しめることや経験させてあげたいことを日々考え、実行している。職員も一緒に楽しんでいるのが伝わってくる。
40	福利厚生がしっかりとされている(賞与、昇給もあり、有休もとりやすい)。
41	性教育も、個人を大切にする教育が出来ていると思う。
42	長く勤めている職員が常勤・非常勤共に多い事。働きやすさの証だと思う。
43	職員同士、声をかけやすい雰囲気があるので、連携がとりやすいです。
44	ノンコンタクトタイムの工夫。
45	クラスでの困り事を全クラスで共有して園全体で改善したり、協力していこうとする意識。
46	事務時間の確保。
47	労働環境がハード、ソフト面で改善が進んでいる。
48	クラス、園での動きに変化が生じた際、非常勤職員にも伝えている。
49	食事がおいしく工夫されている。
50	職員一人ひとりの学ぶ姿勢が良いと思う。
51	常に子どもファーストで考える。
52	情報共有。
53	スキルアップや気になる分野を学びたいと思える環境。書類や同僚、保護者とのコミュニケーションなどのための国語力であったり、良い刺激がたくさんあるので、キャリアや年齢に関係なく、モチベーションが上がる職場環境。
54	子ども一人ひとりを大切にする保育。
55	車内置き去りなど、様々な事故を未然に防ぐために登園して来ない家庭への連絡を徹底。子どもに何らかの異変があった時にどうするかなど、安全対策をしっかり考え、記すようにしている。
56	良好な人間関係が構築されている。
57	行事後にアンケートをとり、来年度、改善してより良い行事にしようとしているところ。
58	人間関係が良く、働きやすい。
59	食育、木育などの働きも多く、子どもたちは貴重な体験ができている。
60	職員の人数配置が整っている。
61	クラスの体制について、園全体で支え合おうという姿勢が多く見られる。
62	保護者の方々にとって、利用しやすく頼りやすい場所だと思います。

63	実体験を大切にした取り組み(移動水族館、ポニーと遊ぼう、木育活動、調理保育など)。
64	フリー職員が大勢いて一人ひとりが守られているところ(長時間勤務等から)。
65	給食が美味しい。
66	何かを始める時や変更する時は、見切り発車はせず、様々な立場の職員で話し合い、検討してから実行に移している。
67	挑戦したいことに応援・支援してくれる。
68	子どもを大切にしている所。その子の背景まで考えて保育を行っている。また、それを職員でしっかりと共有している。
69	職員が提案したことがすぐに話し合われ、改善につながっていきやすいです。
70	非常勤の働きやすさ。
71	ヒヤリハットへの意識(=出した方が逆に向こうになっていくという理解)。
72	保育者と保護者の関係が良好に保たれている。
73	必要な研修を伝えてくれ、参加したら、賃金も発生したこと。
74	子ども同士が様々な理由からの違いを認め合えるような保育ができている。
75	主体的で落ちついた環境作り。
76	日本ならではの伝承文化や絵本を大切にした保育。わらべうた、和太鼓、七夕、芋煮会など、ずっと先の子どもたちにも伝えていきたい日本の良いところだったり、子どもが夢中になる好奇心を大切に絵本で感じたことをあそびで表現できる保育環境が本当自然な形でとり入れられている。また、あそびの中でも調理等と連携し、子どものために協力し合える環境が整っている。
77	より良くなるように、皆が考えて、今までの方法と変わっても、意固地にならず改善できる。
78	園児だけでなく保護者支援、地域支援にも力を入れ取り組んでいる。
79	助け合いながら働くことができていると思う。
80	職員全員、子どものことを第一に考えている。
81	職員同士が他クラスへも気を配ったり、協力しようとする意識を持っている。

#### 【特に改善したいと思う点】

1	保護者に寄り添いすぎている部分があるかもしれない。
2	子どもについての情報共有が以前よりできていると思うが、もっと細かくできるといいと思う。
3	決めごとに時間がかかる。
4	特定の職員に業務が集中しやすい(特にリーダー層)。
5	一般職員も発言・提案しやすい場があると良い。会議の時間短縮を目指し、せかせかしすぎて発言・意見がしづらい。記録も間に合わない。
6	子どもが様々な表現を楽しめるようにする。
7	全体のLINEがあることで、共有が早くでき、とても良い。その反面言葉ひとつで誤解を招いてしまう。嫌味のような内容にはとても傷つく。
8	業務を減らしてきてはいますが、細やかな配慮をして業務を行っていることもあります、忙しいです。
9	現在、年間休日が109日だが、110日にしたい。現在、年間労働時間で計算すると1週間の労働時間が37時間をきってしまっている。休日を1日増やす分、平日をさらに5分多くして7時間45分で調整したい。
10	体制など、全体に視野を向けられていない職員もいる。
11	保育の国際基準を研究し、近づける努力が必要。
12	職場間での情報の共有が難しい。
13	保護者への支援とサービスの区別がつきにくい。

14	会議(部会)の時間。
15	人数が多くて大変かと思いますが、非常勤職員も面談を取り入れて欲しいです(今は、希望があれば…なので)。
16	乳児(1階)と幼児(2階)の連携。仕方ない部分もあると思うが、生活リズムや空間が異なるため、一人ひとりが意識しないと子どもや大人の様子が分かりづらい。意識して気にかける大人とその人たち任せになってしまっている大人とがおり、(特に夕方)全体を気にかける意識を強化、育てていけたらと思う。
17	様々なマニュアルはあり、何かある度に話し合い改善、周知しているが、マニュアルの書き換えが間に合っていない。少しづつ取り組みたい。
18	会議などは口頭により伝わる事が多く、全員が理解できているかわからない。
19	保護者を巻き込んだ取り組みが出来ると良い。
20	与えられている時間と求められることが全くつりあっていません。
21	伝達・周知の重要性を皆理解しているが、多くの職員がいる中、また保育しながら実施することの難しさを感じる。
22	情報共有ができていないと感じることがある。
23	クラス単位ではなく、園全体の視点が持てるようになると、もっと良くなると思う。
24	時間や提出物がおろそか。
25	経験年数が長い職員が増えたので、クラスリーダーも色々な人に経験してほしい。より、責任感が強まり、園にとってプラスになるのでは。
26	過酷な気象条件や疾病、災害対策をさらに進める。
27	事業所が職員に求めることが何か分かりにくいと感じる。また、職員の意向の把握等、何がされているのか、よく分からないと感じる。
28	学びを次につなげるステップが園全体で見つからない。
29	少子化に伴い、0歳児の定員割れも考えられる。自園をアピールし、定員われに対応できるような、保育環境を考えていく。
30	すべきことを自分がやろうという気持ちのない職員が多すぎます。誰かがやってくれるという思い込みがある。
31	新しいことをなかなか始められない。検討の時間が長くなりがちである。
32	倉庫が狭い。片づけをしてもやはり狭い。
33	それぞれの個性を大切にしたいが、仕事なので、みんなで1つの事に向かっていける集団になりたい。自分の事ばかり主張していくはまとまらないので、折れる事も時には必要。
34	待機児解消を進めた結果、施設が手狭となった。少子化で定員割れが現実となった現在、定員の最適化を進める。
35	マニュアルを活用できていない。
36	勤務時間の変更など、事務時間を以前より確保できるようになったが、よりよい保育を行うために、話し合いが必要である。開所時間内は常に子どもがいるため、話し合いの時間を確保できない。そのための人員も必要。心のゆとりも、よい保育するためには、必要であると感じている。
37	思っていることをおだやかに伝え合える、聞きあえる関係を望んでいます。

株式会社 学研データサービス  
(福祉サービス第三者評価機関)

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-11-8  
TEL03-5436-8191 FAX03-5487-8810

- 評価機関認証
- 東京都福祉サービス第三者評価機関認証
- 埼玉県福祉サービス第三者評価機関認証
- 千葉県福祉サービス第三者評価機関認証
- 神奈川県福祉サービス第三者評価機関認証
- 社会的養護関係施設第三者評価機関認証

